USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

PU9530

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

PX9510 / PW9520 / PU9530
デジタル プロジェクタ
取扱説明書

2015/ 4/ 22

目次

安全上のご注意 4

概要 7
- パッケージ内容 7
- プロジェクタ外観ビュー 8
  - 前面 / 上面 8
  - 背面 8
  - 左面 8
  - 右上 9
  - 底面 9
  - コントロール パネルと機能 10
  - リモコンおよび機能 11
  - リモコン操作 12

設定と操作 13
- リモコンの電池の設定 13
- プロジェクタに繋ぐ 13
- 投映レンズの選択と取り付け 14
  - 光学レンズの取り付けまたは取り外し 14
  - 新しいレンズの取り付け 14
- 盗難防止用ネジを使う 14
- 既存のレンズを取り外す 15
- 設置場所の選択 16
- 投映距離とスクリーン サイズ 17
- レンズシフトの調整範囲 19
- プロジェクタを不正使用から保護する 20
  - プロジェクタをロックする 20
  - コントロール パネルをロックする 21
  - 物理的なロックを使う 22

接続する 23
- 準備 23
- DVI-D デバイスの接続 23
- コンポーネントビデオ機器との接続 24
- コンピュータの接続 25
- 外部 HDBaseT トランスミッターの接続 26
- モニタの接続 27

プロジェクタの使用方法 28
- 準備 28
- 装置の電源をオン / オフにする 29
- 入力ソースの選択 30
  - ビデオソースを選択するには 30
- メニューの使用方法 31
- 投写イメージの調整 32
  - 画像の位置調整 32
  - 画像サイズと明瞭さの微調整 32
  - 投写角度の調整 33
  - 画像の歪みの補正する 33

画像の自動調整 34
プロジェクタをオフにする 34
OSD の使用方法 35
メニューの使用方法 35
OSD をナビゲートする 35
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー 36
メニュー マップ 36
映像調整 40
アドバンス メニュー 41
信号 42
設定 44
アドバンス メニュー 46
インストール 47
ネットワーク設定 49
サービス 51

追加情報 53
プロジェクタのお手入れ 53
プロジェクタのお手入れ 53
レンズのクリーニング 53
プロジェクタ ケースのお手入れ 53
プロジェクタの保管 54
プロジェクタの移動 54
ランプの交換 54
使用済みランプを取り外す 55
カラーホイール（別売り）のインストール 57
フィルタのお手入れ 58
トラブルシューティング 60
インジケータのメッセージ 60
よくある問題とその対処法 61
トラブルシューティングのためのヒント 61
画像の問題 62
ランプの問題 62
リモコンの問題 63
仕様 64
外形寸法 65
タイミング表 66
PC タイミング 66
3D 対応タイミング 67
RS232 コマンド コントロール 68
ネットワークを介してプロジェクタを操作する 71
ネットワーク用にプロジェクタを設定する 71
ウェブブラウザでプロジェクタを操作する 72
プロジェクタの状態 72
Alert mail setup（通知メールの設定） 73
Crestron コントロールページ 74
BenQ ecoFACTS 76
著作権 76
おことわり 76
ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言 76

高性能 BenQ プロジェクタをお買い上げいただきありがとうございます。最高の結果をお楽しみいただくために、コントロールメニューや操作方法については本書をよくお読みください。

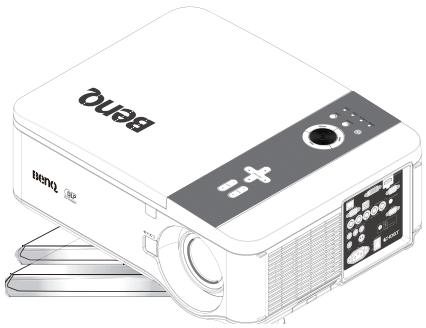
安全上のご注意

お使いのプロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

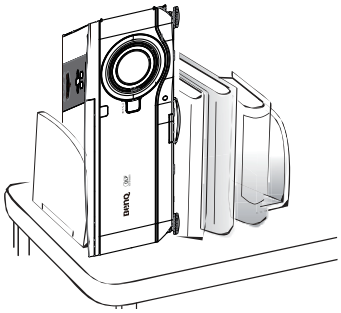
1. プロジェクタを操作する前に、このユーザーガイドをお読みください。本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。



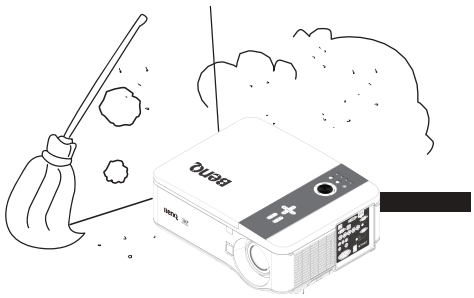
2. 使用時は必ず装置を水平な平面上に置いてください。
   - 本製品を不安定なカート、スタンド、テーブルに置かないでください。製品が落ちてケガをしたり、製品が故障したりする場合があります。
   - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。
   - 左右の傾きが 10° 、または前後の傾きが 15° を超える状態で使用しないでください。



3. 装置を縦向きにしないでください。縦向きにすると、プロジェクタが倒れ、けがをしたり損傷する恐れがあります。

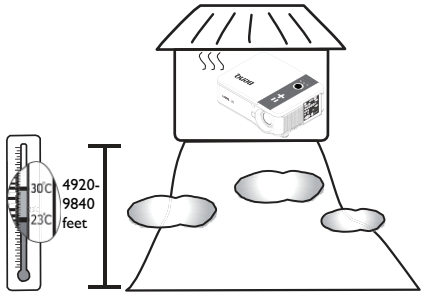


4. 次の場所に装置を置かないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
   - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
   - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。

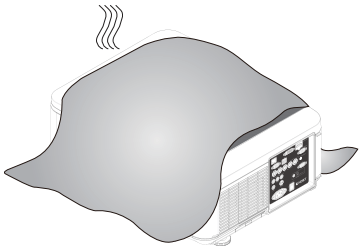


   - 火災報知器に近い場所。
   - 周辺温度が 35°C/95°F を超える場所。

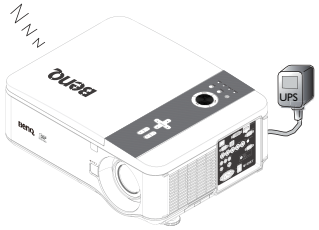
- 高度が海抜 1500 メートル / 4920 フィートを超える場所。



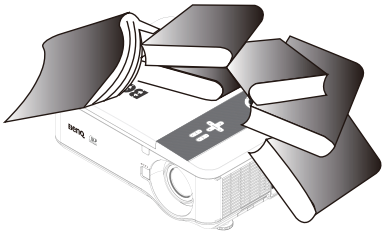
5. プロジェクタ動作中に通気孔をふさがないでください（待機モードでも同様）：
   - 本製品の上に布などをかぶせないでください。
   - 本製品を毛布などの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。



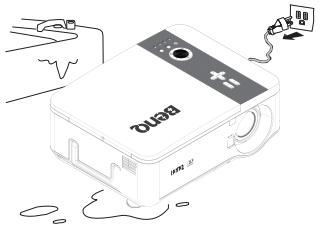
6. メインの電源電圧が ± 10 ボルト程度の変動がある場所では、プロジェクタを電源安定化装置、サージプロテクタ、あるいは UPS のいずれかに接続されるようお薦めします。



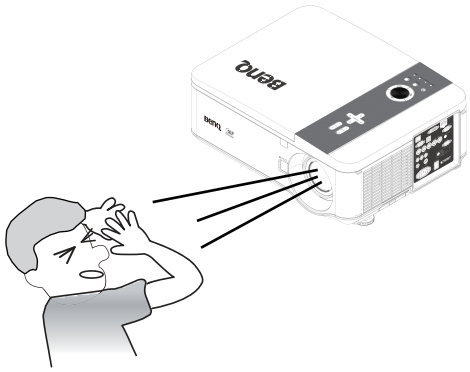
7. 装置の上に乗ったり、物を置いたりしないでください。



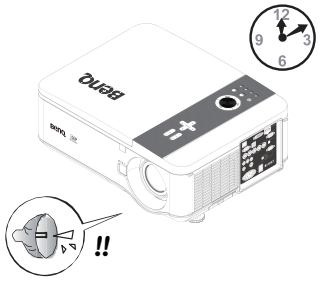
8. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタに液体が入った場合は、保証は適用されません。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを抜いて、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。



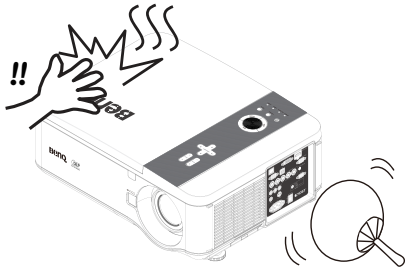
9. 動作中は、プロジェクタのレンズを覗き込まないでください。目を傷つける場合があります。



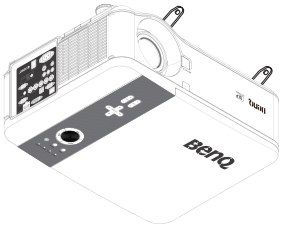
10. ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



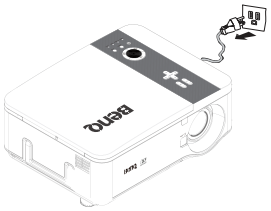
11. ランプは動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。



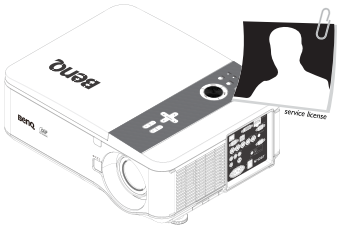
12. 本製品を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。BenQ の天井取り付けキットを使用してください。



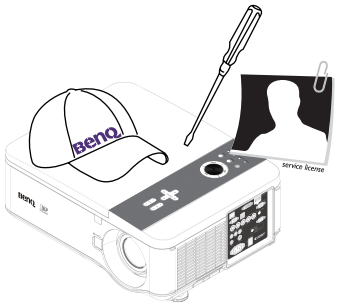
13. プロジェクタが完全に冷却され、電源からコードを外すまでは、絶対にランプ部品を交換しないでください。



14. 点検修理については、認定技術者にお問い合わせください。



15. 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。お客様ご自身で補修できるパーツは、専用の取り外し可能なカバーが付いたランプ部分だけです。いかなる状況においても、これ以外のカバーをご自身で取り外そうとしないでください修理は認定サービス担当者にお問い合わせください。



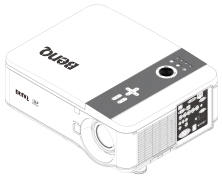
将来搬送が必要な場合に備えて、元の梱包材料は捨てずに保管しておいてください。

概要

パッケージ内容

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。本製品を購入された地域によっては、同梱されていないアイテムもあります。ご購入場所をご確認ください。

- 一部のアクセサリは、国によって異なる場合があります。
- 保証書は特定地域でしか提供しておりません詳細は、本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

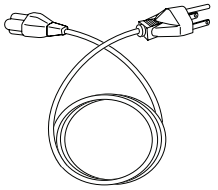

プロジェクタ
（レンズ含まず）

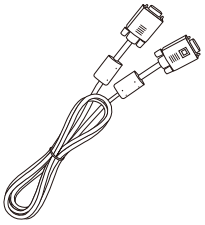

リモコン
（AA（単 3）電池含まず）

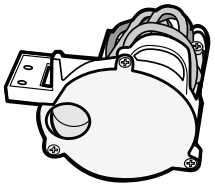

保証書

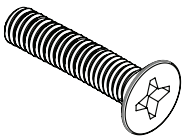

取扱説明書 CD

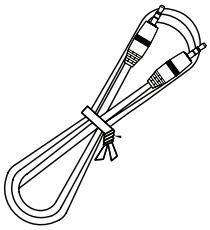

クイックスタートガイド

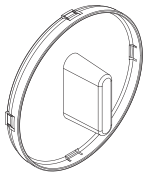

電源ケーブル


VGA ケーブル


カラータイプ カラーホイール

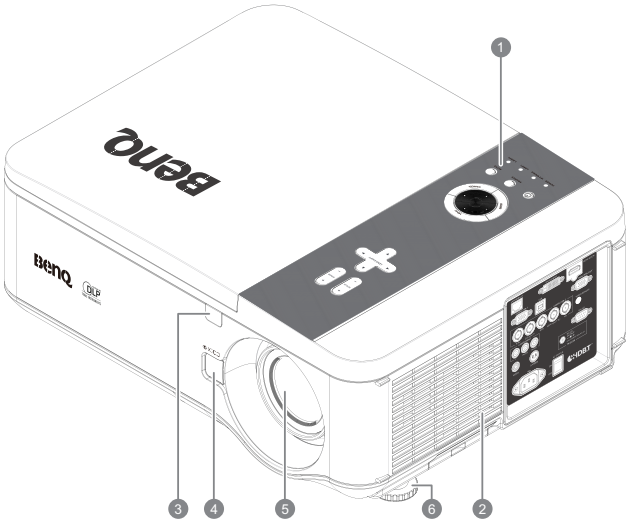

盗難防止用ネジ


有線リモートケーブル


レンズホールキャップ

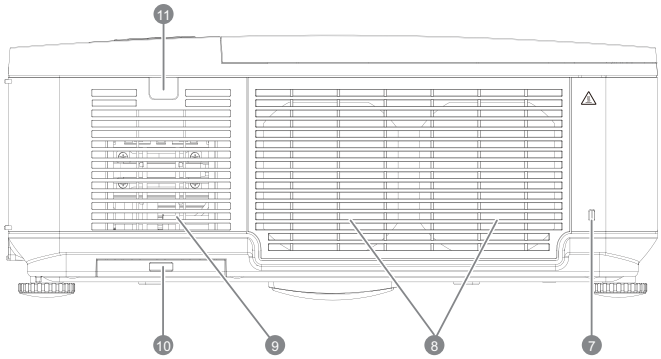
プロジェクタ外観ビュー

前面 / 上面



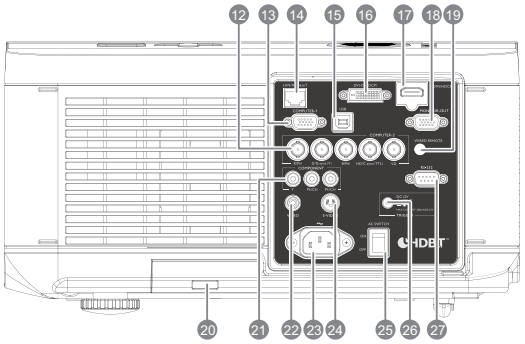
1. コントロール パネル
2. 通気口
3. 前面 IR センサー
4. レンズ交換ボタン
5. レンズ（ご使用前にレンズキャップを外してください）
6. レベル調整用脚

背面



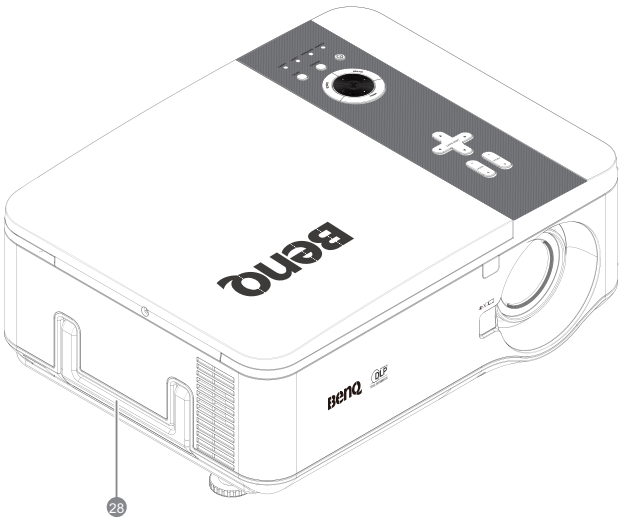
7. ケンジントンロック
8. 排気口
9. 通気口
10. エアフィルタ
11. 背面 IR センサー

左面



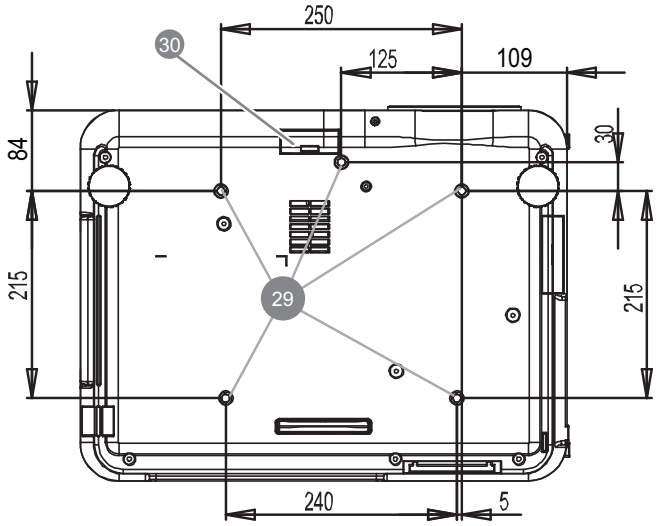
12. コンピュータ 2、RGBHV、Y/Pb(CB)/Pr(Cr) 入力
13. コンピュータ 1、VGA
14. LAN/HDBaseT
15. 補修用 USB ポート
16. DVI-D 入力
17. HDMI (HDCP)
18. モニタ出力、コンピュータ 1 専用
19. WIRED REMOTE
20. エアフィルタ
21. コンポーネント Y/Pb(Cb)/Pr(Cr) 入力
22. ビデオ入力
23. AC 電源コード差し込み口
24. S-VIDEO 入力
25. 電源スイッチ
26. スクリーン出力
27. RS-232 コントロール入力

右上



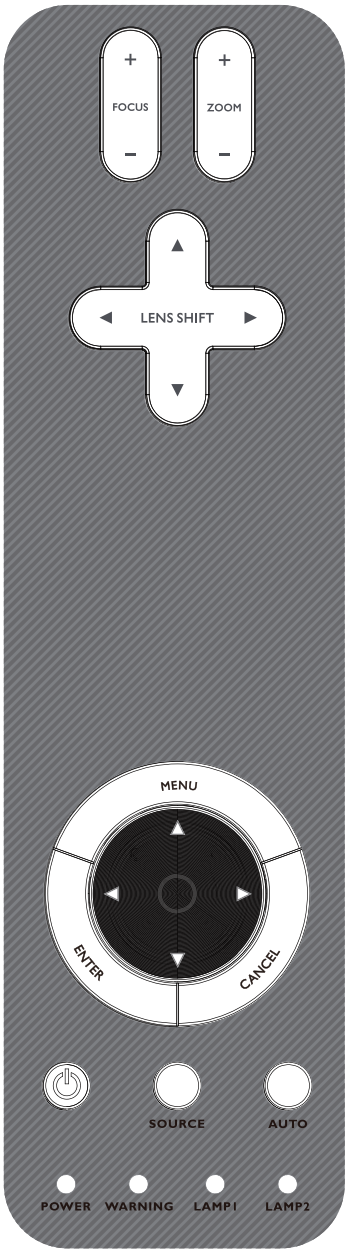
28. ハンドル

底面



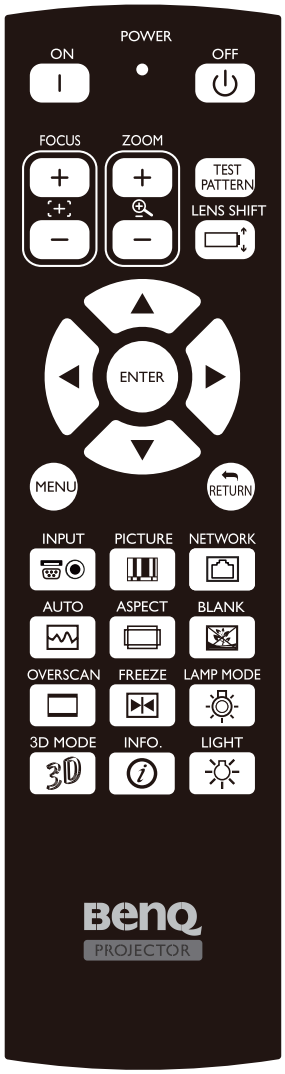
29. 天井取り付け用穴（取り付け用ネジ：M4*12mm）
30. エアフィルタ

コントロール パネルと機能



名前	機能
FOCUS+	投映画像のフォーカス調整
FOCUS-	
ZOOM+	投映画像のサイズを上げ / 下げます
ZOOM-	
上ボタン	レンズシフトを調整して、画像を左右上下に動かします
右ボタン	
下ボタン	
左ボタン	
MENU	OSD の表示 / 終了
上 / 下 / 左 / 右ボタン	OSD の設定をナビゲートして変更します
ENTER	OSD の設定を選択または変更します
CANCEL	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) を終了します
電源	プロジェクタをオン / オフにします（主要電源スイッチをオンにしておいてください）。プロジェクタが待機モードになります
SOURCE	入力ソースを選択します
AUTO	画像サイズ、位置、解像度を自動同期して最適化します
POWER (LED)	緑 / 赤 / オレンジ / 点滅 60 ページの「インジケータのメッセージ」を参照してください。
WARNING (LED)	緑 / 赤 / オレンジ / 点滅 60 ページの「インジケータのメッセージ」を参照してください。
LAMP 1 (LED)	緑 / 点滅、 60 ページの「インジケータのメッセージ」を参照してください。
LAMP 2 (LED)	

リモコンおよび機能



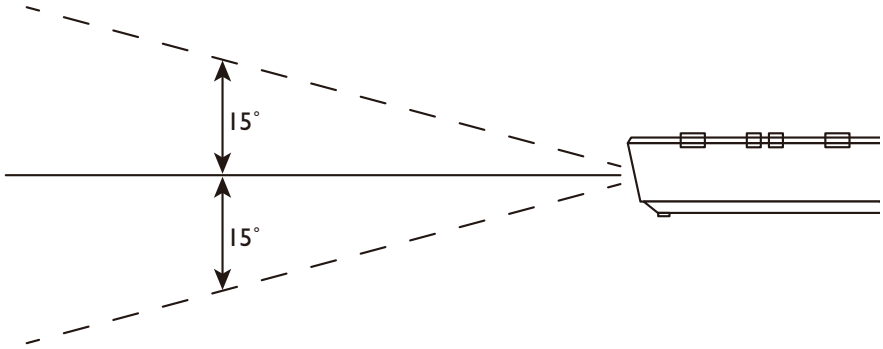


有線リモート ジャック

名前	機能
状態 LED	リモコン使用中は点灯します
ON	プロジェクタをオンにします
OFF	待機モードでプロジェクタをオフにします
FOCUS+	投映画像のフォーカス調整
FOCUS-	投映画像のフォーカス調整
ZOOM+	投映画像のサイズを上げます
ZOOM +/-	投映画像のサイズを下げます
TEST PATTERN	テストパターンを選択
LENS SHIFT	レンズのシフト範囲を調整
上	OSD のカーソルを上に移動
右	OSD のカーソルを右に移動またはサブメニューを開きます
下	OSD のカーソルを下に移動
左	OSD のカーソルを左に移動またはサブメニューを開きます
ENTER	OSD の設定を選択または変更
MENU	OSD メイン メニューを表示
RETURN	1 つ前の OSD ページに戻るまたはメニュー終了
INPUT	表示する入力ソースを選択
PICTURE	映像メニューを表示
NETWORK	ネットワーク設定メニューを表示します
AUTO	位相、トラッキング、サイズ、位置を自動調整
ASPECT	投映画像の縦横比を設定
OVERSCAN	オーバースキャンを有効 / 無効にします
FREEZE	画像を静止 / 解除します
3D MODE	3D モード メニューを開きます
INFO.	本体情報メニューを表示します
LIGHT	リモコンのボタンを 10 秒間点灯します
BLANK	ディスプレイ イメージ機能を有効 / 無効にします
LAMP MODE	ランプ設定メニューを表示します
有線リモート ジャック	リモート ケーブルを繋ぐためのジャックです

リモコン操作

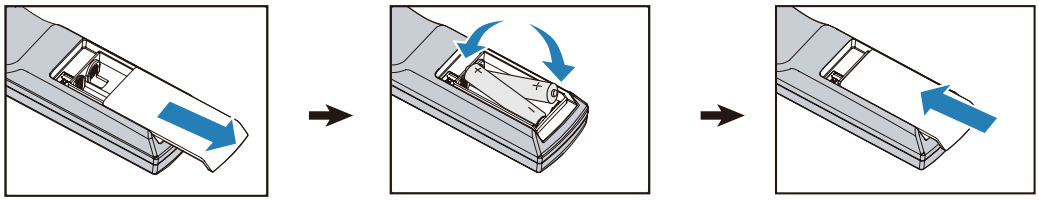
- リモコンとプロジェクタの赤外線 (IR) センサーの間には、IR 光線の障害となるような物を置かないでください。
- リモコンの有効範囲は最高 7 メートル、角度にして 30 度以内です。赤外線光線はスクリーンにも反射しますが、常にプロジェクタに向けて当てるようにしてください。



設定と操作

リモコンの電池の設定

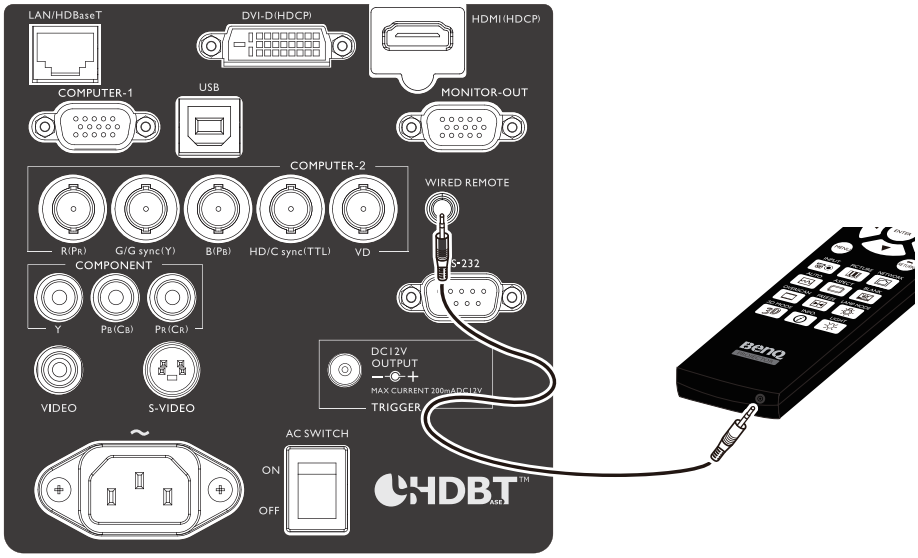
1. バッテリーカバーを開くには、リモコンを裏返してカバーのグリップを押し、図に示す方向にスライドさせてください。するとカバーが外れます。
2. 挿入されている電池を外し（必要な場合）、AA（単 3 ）電池 2 個を極性に注意しながら挿入してください。プラス極 (+) はプラスに、マイナス極 (-) はマイナスの方向に挿入してください。
3. 再びカバーを元に戻してください。カチッという音がしたらカバーが閉まったことを意味しています。



- 古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用したり、異なるタイプのバッテリーを混ぜて使用したりしないでください。
- リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- リモコンを長期間使用しないときには、漏電によりリモコンのコントロール部分が破損しないように電池は外しておいてください。

プロジェクタに繋ぐ

リモコンとプロジェクタの間に物が置いてあったり、高周波の蛍光灯があったりするなどしてリモコンを使用できない場合は、M3 ステレオ ミニ ジャック ケーブルでプロジェクタに繋ぎ操作することができます。



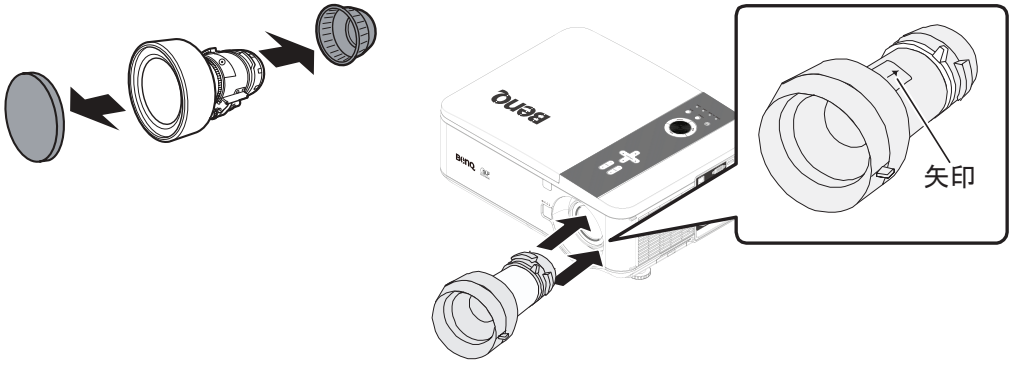
投映レンズの選択と取り付け

装置にレンズを取り付ける際は、光学レンズを取り付ける前に光学レンズの後ろにあるレンズキャップを外してください。レンズキャップを着けたままにしておくと、故障の原因となります。

光学レンズの取り付けまたは取り外し

新しいレンズの取り付け

1. レンズキャップを外します。
   矢印を上にして、レンズを挿入します。

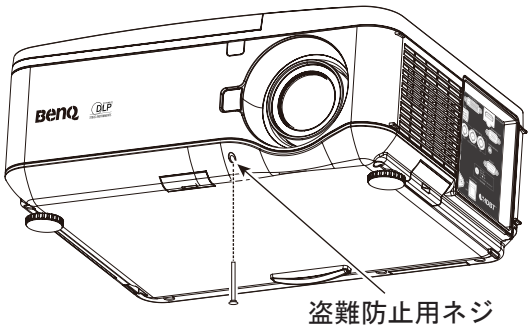


2. レンズがカチッと 2 回音がするまでを右に回転させます。



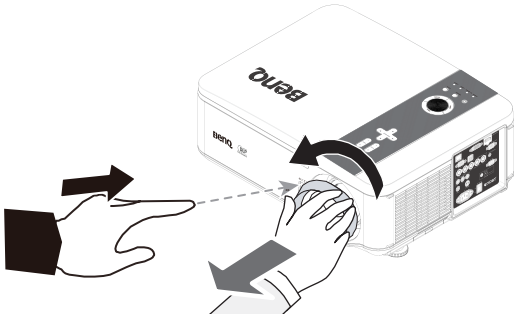
盗難防止用ネジを使う

盗難防止用のネジを使用することで、レンズの盗難を防止できます。正面下にある付属の盗難防止用ネジを締めてください。

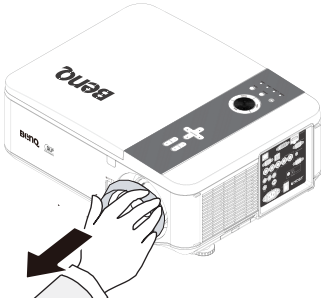


既存のレンズを取り外す

1. **レンズ変更**ボタンを全押しして、レンズを左に回転させます。
   既存のレンズが外れます。



2. 既存のレンズをゆっくりと外します。



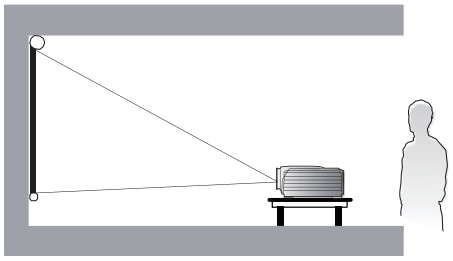
- プロジェクタやレンズには精密部品が使用されていますので、強く揺さぶったり、押したりしないでください。
- レンズを外したり、取り付けたりする前にプロジェクタの電源を切り、冷却ファンが停止するまで待ってから主要電源を切ってください。
- レンズを外したり、取り付けたりする際は、レンズの表面に手を触れないでください。
- レンズの表面に指紋、ホコリ、手垢などが付着しないようにしてください。レンズの表面に傷をつけないでください。
- レンズを取り外して保管する時には、プロジェクタにレンズキャップを付けてホコリやゴミが入らないようにしてください。

設置場所の選択

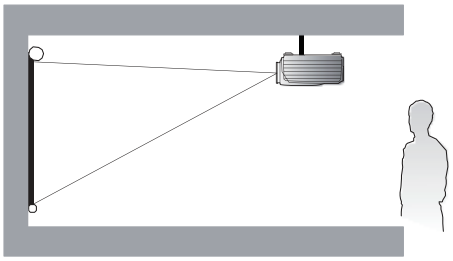
本機は次の 4 通りの設置状態で使うことができます。

部屋のレイアウトやお好みで、どの設定で設置するか決めてください。設置する際は、スクリーンのサイズや位置、電源コンセントがある場所、プロジェクタとその他の装置の距離や位置などを考慮してください。

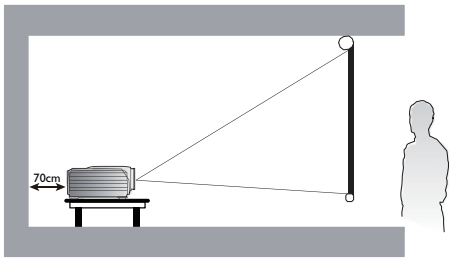
1. 前面投写：
   プロジェクタをスクリーンの正面に床面近くに設置します。これが最も一般的な設定です。



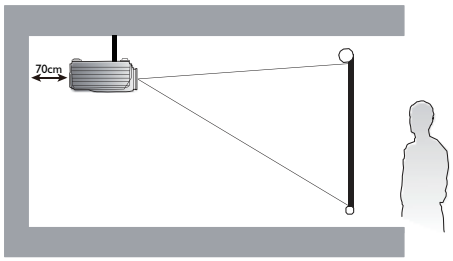
2. 天井前面投写：
   プロジェクタをスクリーン正面の天井に取り付けます。この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。



3. 背面投写：
   プロジェクタをスクリーン背面、床面近くに設置します。専用の背面スクリーン投写が必要です。



4. 天井背面投写：
   プロジェクタをスクリーン背面の天井に取り付けます。専用の背面投写スクリーンと BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。



* プロジェクタの位置を設定するには：

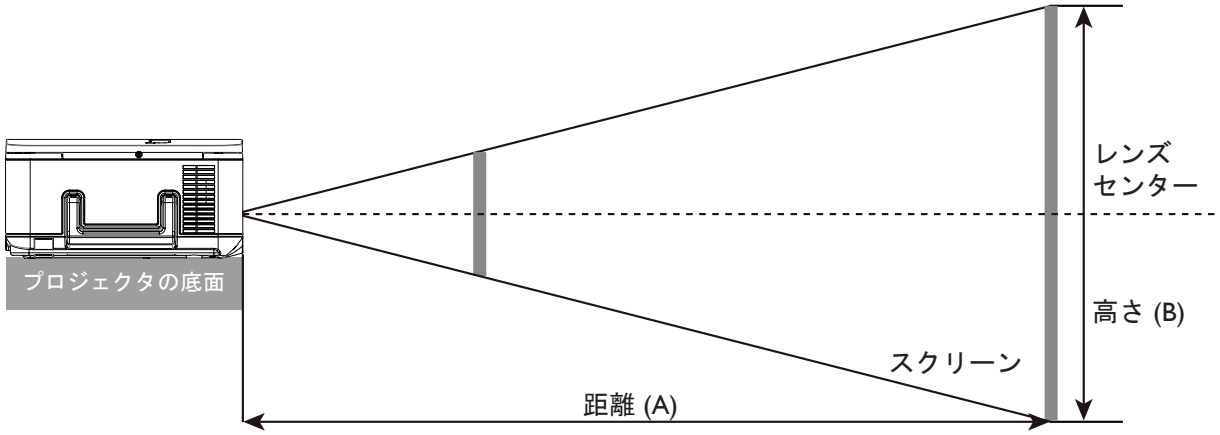
MENU を押して、◄/► を使って**インストール**メニューを選択します。
▲/▼ を使って**プロジェクタの設置**を選択し、◄/► を使って正しい位置を選択してください。

- 天井への取り付けは、必ず資格のある技術者が行ってください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。お客様ご自身でプロジェクタを取り付けることは、お勧めしません。
- プロジェクタは安定した、平坦な場所に設置してください。プロジェクタが落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 温度が高温になりすぎたり、低温になりすぎたりする場所では、プロジェクタをご使用にならないでください。このプロジェクタは、気温が 5 度（華氏 41 度）から 40 度（華氏 104 度）の環境でご使用ください。
- プロジェクタを濡らしたり、ゴミや煙が立ちやすい場所でご使用になると、スクリーンの故障の原因となります。
- プロジェクタの通気口を塞がないでください。熱を適切に排気するには、適度な通気を確保することが大切です。通気口を塞ぐと、プロジェクタの故障の原因となります。

投映距離とスクリーン サイズ

標準レンズ使用の PW9520 の例：

プロジェクタをスクリーンまたは壁から遠ざけるほど、画像は大きくなります。プロジェクタを壁またはスクリーンから 40 インチ（1 メートル）離したときの画像の最小サイズは、対角で約 79.8 インチ（2.03 メートル）となります。また、プロジェクタを壁またはスクリーンから 500 インチ（12.7 メートル）離したときの画像の最大サイズは、対角で 26.11 メートル（1028 インチ）となります。



PW9520

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021				5J.JAM37.001				5J.JAM37.051			
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ				標準レンズ				セミロング ズーム 1			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)													
						使用できません		ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	26.4	0.67	43.6	1.11	63.1	1.60	60.2	1.53	79.8	2.03	77.6	1.97	130.5	3.31
50	1.27	42	1.08	26	0.67	33.5	0.85	55.0	1.40	79.3	2.01	75.9	1.93	100.4	2.55	97.8	2.48	163.9	4.16
60	1.52	51	1.29	32	0.81	40.5	1.03	66.4	1.69	95.5	2.43	91.7	2.33	121.0	3.07	117.9	3.00	197.3	5.01
80	2.03	68	1.72	42	1.08	54.7	1.39	89.3	2.27	128.0	3.25	123.1	3.13	162.3	4.12	158.3	4.02	264.1	6.71
100	2.54	85	2.15	53	1.35	68.8	1.75	112.1	2.85	160.5	4.08	154.5	3.93	203.5	5.17	198.7	5.05	330.9	8.41
120	3.05	102	2.58	64	1.62	82.9	2.11	135.0	3.43	193.0	4.90	186.0	4.72	244.7	6.22	239.0	6.07	397.7	10.10
150	3.81	127	3.23	79	2.02	104.1	2.64	169.2	4.30	241.7	6.14	233.1	5.92	306.5	7.79	299.6	7.61	498.0	12.65
180	4.57	153	3.88	95	2.42	125.3	3.18	203.5	5.17	290.4	7.38	280.3	7.12	368.4	9.36	360.1	9.15	598.2	15.19
200	5.08	170	4.31	106	2.69	139.4	3.54	226.4	5.75	322.9	8.20	311.7	7.92	409.6	10.40	400.5	10.17	665.0	16.89
300	7.62	254	6.46	159	4.04	210.0	5.33	340.6	8.65	485.3	12.33	468.9	11.91	615.7	15.64	602.3	15.30	999.0	25.38
400	10.16	339	8.62	212	5.38	280.6	7.13	454.8	11.55	647.7	16.45	626.1	15.90	821.9	20.88	804.1	20.42	1333.1	33.86
500	12.70	424	10.77	265	6.73	351.2	8.92	569.0	14.45	810.1	20.58	783.3	19.90	1028.0	26.11	1005.9	25.55	1667.1	42.35

スクリーンサイズ						5J.JAM37.031				5J.JAM37.041				5J.JAM37.061			
						ロングズーム 1 レンズ				ロングズーム 2 レンズ				ウルトラワイド ズームレンズ			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	124.9	3.17	190.3	4.83	183.3	4.65	292.2	7.42	25.8	0.65	32.8	0.83
50	1.27	42	1.08	26	0.67	157.5	4.00	239.2	6.08	232.0	5.89	368.1	9.35	32.7	0.83	41.4	1.05
60	1.52	51	1.29	32	0.81	190.1	4.83	288.1	7.32	280.7	7.13	444.0	11.28	39.6	1.00	50.0	1.27
80	2.03	68	1.72	42	1.08	255.2	6.48	385.9	9.80	378.1	9.60	595.9	15.13	53.3	1.35	67.3	1.71
100	2.54	85	2.15	53	1.35	320.3	8.14	483.7	12.29	475.6	12.08	747.7	18.99	67.1	1.70	84.5	2.15
120	3.05	102	2.58	64	1.62	385.5	9.79	581.5	14.77	573.0	14.55	899.6	22.85	80.9	2.05	101.8	2.59
150	3.81	127	3.23	79	2.02	483.2	12.27	728.2	18.50	719.1	18.27	1127.3	28.63	101.6	2.58	127.6	3.24
180	4.57	153	3.88	95	2.42	580.9	14.75	874.9	22.22	865.3	21.98	1355.1	34.42	122.2	3.10	153.5	3.90
200	5.08	170	4.31	106	2.69	646.0	16.41	972.7	24.71	962.7	24.45	1506.9	38.28	136.0	3.45	170.8	4.34
300	7.62	254	6.46	159	4.04	971.7	24.68	1461.8	37.13	1449.9	36.83	2266.2	57.56	204.9	5.20	257.0	6.53
400	10.16	339	8.62	212	5.38	1297.3	32.95	1950.8	49.55	1937.1	49.20	3025.4	76.85	273.8	6.95	343.2	8.72
500	12.70	424	10.77	265	6.73	1623.0	41.22	2439.8	61.97	2424.2	61.58	3784.7	96.13	342.7	8.70	429.4	10.91

PX9510

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021				5J.JAM37.001				5J.JAM37.051			
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ				標準レンズ				セミロング ズーム I			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)													
						使用できません		ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	32	0.81	24	0.61	24.5	0.62	40.4	1.03	58.5	1.49	55.8	1.42	74.1	1.88	71.9	1.83	121.3	3.08
50	1.27	40	1.02	30	0.76	31.0	0.79	51.0	1.30	73.6	1.87	70.4	1.79	93.2	2.37	90.7	2.30	152.4	3.87
60	1.52	48	1.22	36	0.91	37.6	0.96	61.6	1.57	88.8	2.25	85.1	2.16	112.4	2.86	109.5	2.78	183.5	4.66
80	2.03	64	1.63	48	1.22	50.8	1.29	82.9	2.11	119.0	3.02	114.3	2.90	150.8	3.83	147.0	3.73	245.7	6.24
100	2.54	80	2.03	60	1.52	63.9	1.62	104.1	2.65	149.2	3.79	143.5	3.65	189.1	4.80	184.6	4.69	307.9	7.82
120	3.05	96	2.44	72	1.83	77.1	1.96	125.4	3.18	179.4	4.56	172.8	4.39	227.4	5.78	222.1	5.64	370.1	9.40
150	3.81	120	3.05	90	2.29	96.8	2.46	157.3	3.99	224.8	5.71	216.7	5.50	285.0	7.24	278.4	7.07	463.4	11.77
180	4.57	144	3.66	108	2.74	116.6	2.96	189.1	4.80	270.1	6.86	260.5	6.62	342.5	8.70	334.8	8.50	556.7	14.14
200	5.08	160	4.06	120	3.05	129.7	3.30	210.4	5.34	300.3	7.63	289.8	7.36	380.8	9.67	372.3	9.46	618.9	15.72
300	7.62	240	6.1	180	4.57	195.5	4.97	316.6	8.04	451.5	11.47	436.0	11.07	572.6	14.54	560.0	14.23	930.0	23.62
400	10.16	320	8.13	240	6.1	261.3	6.64	422.9	10.74	602.6	15.31	582.2	14.79	764.3	19.41	747.8	18.99	1241.0	31.52
500	12.70	400	10.16	300	7.62	327.1	8.31	529.1	13.44	753.7	19.14	728.5	18.50	956.1	24.28	935.5	23.76	1552.0	39.42

スクリーンサイズ						5J.JAM37.031				5J.JAM37.041				5J.JAM37.061			
						ロングズーム I レンズ				ロングズーム 2 レンズ				ウルトラワイド ズームレンズ			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	32	0.81	24	0.61	115.9	2.94	176.8	4.49	169.6	4.31	271.2	6.89	23.9	0.61	30.4	0.77
50	1.27	40	1.02	30	0.76	146.2	3.71	222.3	5.65	215.0	5.46	341.9	8.68	30.3	0.77	38.4	0.98
60	1.52	48	1.22	36	0.91	176.5	4.48	267.9	6.80	260.3	6.61	412.6	10.48	36.7	0.93	46.5	1.18
80	2.03	64	1.63	48	1.22	237.1	6.02	358.9	9.12	350.9	8.91	554.0	14.07	49.5	1.26	62.5	1.59
100	2.54	80	2.03	60	1.52	297.7	7.56	450.0	11.43	441.6	11.22	695.3	17.66	62.4	1.58	78.6	2.00
120	3.05	96	2.44	72	1.83	358.2	9.10	541.0	13.74	532.2	13.52	836.7	21.25	75.2	1.91	94.7	2.40
150	3.81	120	3.05	90	2.29	449.1	11.41	677.6	17.21	668.2	16.97	1048.8	26.64	94.4	2.40	118.8	3.02
180	4.57	144	3.66	108	2.74	540.0	13.72	814.2	20.68	804.1	20.42	1260.9	32.03	113.7	2.89	142.9	3.63
200	5.08	160	4.06	120	3.05	600.6	15.26	905.3	22.99	894.8	22.73	1402.2	35.62	126.5	3.21	158.9	4.04
300	7.62	240	6.1	180	4.57	903.6	22.95	1360.5	34.56	1348.0	34.24	2109.1	53.57	190.7	4.84	239.2	6.08
400	10.16	320	8.13	240	6.1	1206.6	30.65	1815.8	46.12	1801.2	45.75	2816.0	71.53	254.9	6.47	319.5	8.12
500	12.70	400	10.16	300	7.62	1509.5	38.34	2271.1	57.69	2254.3	57.26	3522.9	89.48	319.1	8.10	399.9	10.16

PU9530

スクリーンサイズ						5J.JAM37.011		5J.JAM37.021				5J.JAM37.001				5J.JAM37.051			
						ワイド固定レンズ		ワイド ズームレンズ				標準レンズ				セミロング ズーム I			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)													
						使用できません		ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	25.1	0.64	41.4	1.05	59.9	1.52	57.2	1.45	75.8	1.93	73.6	1.87	124.1	3.15
50	1.27	42	1.08	26	0.67	31.8	0.81	52.3	1.33	75.4	1.92	72.1	1.83	95.5	2.42	92.9	2.36	155.9	3.96
60	1.52	51	1.29	32	0.81	38.5	0.98	63.1	1.60	90.9	2.31	87.1	2.21	115.1	2.92	112.1	2.85	187.8	4.77
80	2.03	68	1.72	42	1.08	52.0	1.32	84.9	2.16	121.8	3.09	117.0	2.97	154.3	3.92	150.5	3.82	251.4	6.39
100	2.54	85	2.15	53	1.35	65.5	1.66	106.6	2.71	152.7	3.88	147.0	3.73	193.5	4.92	188.9	4.80	315.0	8.00
120	3.05	102	2.58	64	1.62	78.9	2.01	128.4	3.26	183.6	4.66	176.9	4.49	232.8	5.91	227.6	5.78	378.6	9.62
150	3.81	127	3.23	79	2.02	99.1	2.52	161.0	4.09	230.0	5.84	221.8	5.63	291.6	7.41	285.0	7.24	474.1	12.04
180	4.57	153	3.88	95	2.42	119.3	3.03	193.6	4.92	276.4	7.02	266.7	6.77	350.5	8.90	342.6	8.70	569.5	14.47
200	5.08	170	4.31	106	2.69	132.8	3.37	215.3	5.47	307.3	7.81	296.6	7.53	389.7	9.90	381.0	9.68	633.1	16.08
300	7.62	254	6.46	159	4.04	200.1	5.08	324.0	8.23	461.9	11.73	446.3	11.34	585.9	14.9	573.2	14.56	951.2	24.16
400	10.16	339	8.62	212	5.38	267.4	6.79	432.7	10.99	616.6	15.66	595.9	15.14	782.3	19.87	765.3	19.44	1269.7	32.25
500	12.70	424	10.77	265	6.73	334.8	8.50	541.5	13.75	771.2	19.59	745.6	18.94	978.3	24.85	957.4	24.32	1587.8	40.33

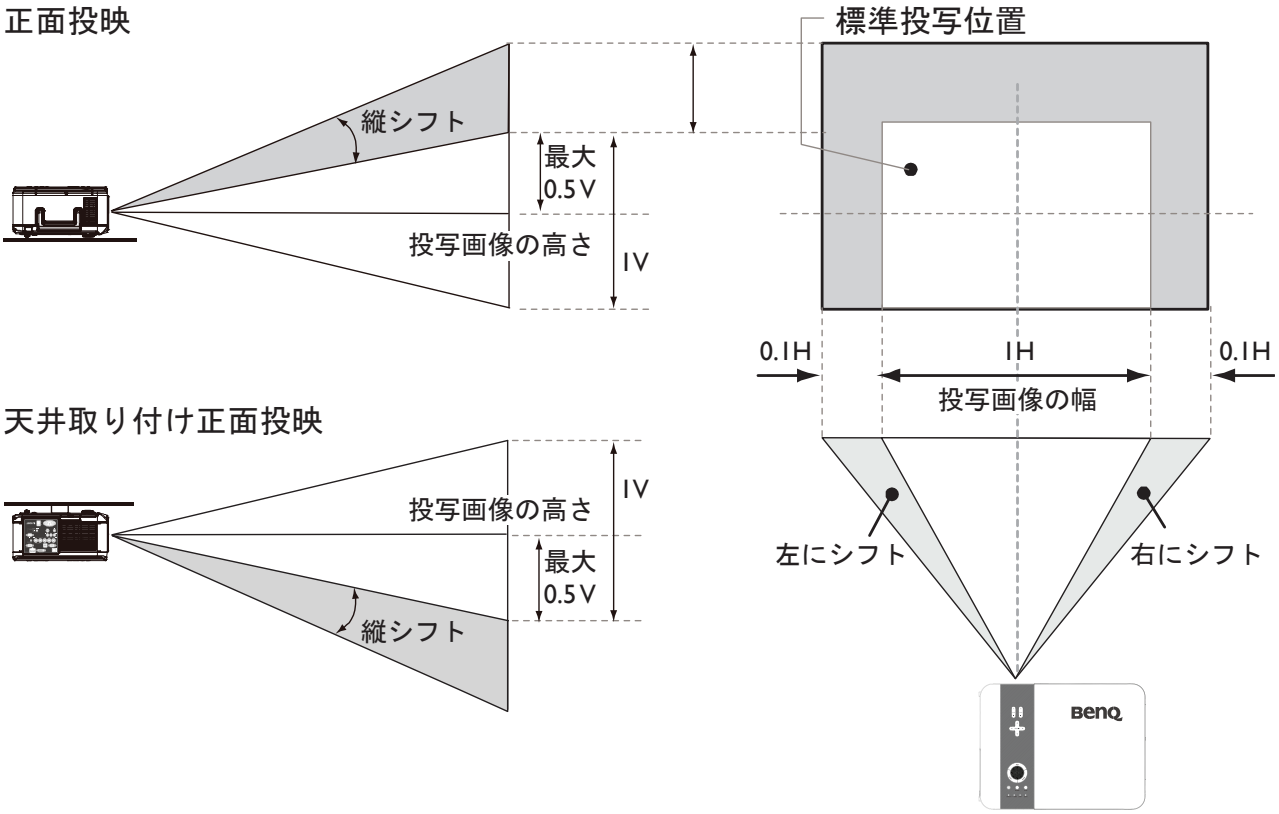
スクリーンサイズ						5J.JAM37.031				5J.JAM37.041				5J.JAM37.061			
						ロングズーム I レンズ				ロングズーム 2 レンズ				ウルトラワイド ズームレンズ			
対角		幅		高さ (B)		距離 (A)											
						ワイド		望遠		ワイド		望遠		ワイド		望遠	
（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）	（インチ）	（メートル）
40	1.02	34	0.86	21	0.54	118.7	3.01	181.0	4.60	173.9	4.42	277.7	7.05	24.5	0.62	31.1	0.79
50	1.27	42	1.08	26	0.67	149.7	3.80	227.6	5.78	220.2	5.59	350.0	8.89	31.1	0.79	39.2	1.00
60	1.52	51	1.29	32	0.81	180.7	4.59	274.1	6.96	266.6	6.77	422.3	10.73	37.6	0.96	47.4	1.20
80	2.03	68	1.72	42	1.08	242.7	6.16	367.3	9.33	359.4	9.13	567.0	14.40	50.8	1.29	63.8	1.62
100	2.54	85	2.15	53	1.35	304.3	7.73	460.4	11.70	452.1	11.48	711.6	18.07	63.9	1.62	80.2	2.04
120	3.05	102	2.58	64	1.62	366.7	9.31	553.6	14.06	544.9	13.84	856.2	21.75	77.1	1.96	96.6	2.45

150	3.81	127	3.23	79	2.02	459.4	11.67	693.3	17.61	684.0	17.37	1073.1	27.26	96.8	2.46	121.1	3.08
180	4.57	153	3.88	95	2.42	552.4	14.03	833.0	21.16	823.1	20.91	1290.1	32.77	116.5	2.96	145.7	3.70
200	5.08	170	4.31	106	2.69	614.7	15.6	926.4	23.53	915.9	23.26	1434.7	36.44	129.7	3.29	162.1	4.12
300	7.62	254	6.46	159	4.04	924.0	23.47	1392.1	35.36	1379.6	35.04	2157.8	54.81	195.4	4.96	244.0	6.20
400	10.16	339	8.62	212	5.38	1233.9	31.34	1857.9	47.19	1843.3	46.82	2880.9	73.18	261.2	6.63	325.9	8.28
500	12.70	424	10.77	265	6.73	1543.7	39.21	2323.6	59.02	2307.1	58.60	3604.0	91.54	326.9	8.30	407.7	10.36

レンズシフトの調整範囲

レンズシフトの調整範囲は下記の表のとおりですが、条件により異なります。

下記の図は標準レンズで使用した場合です。



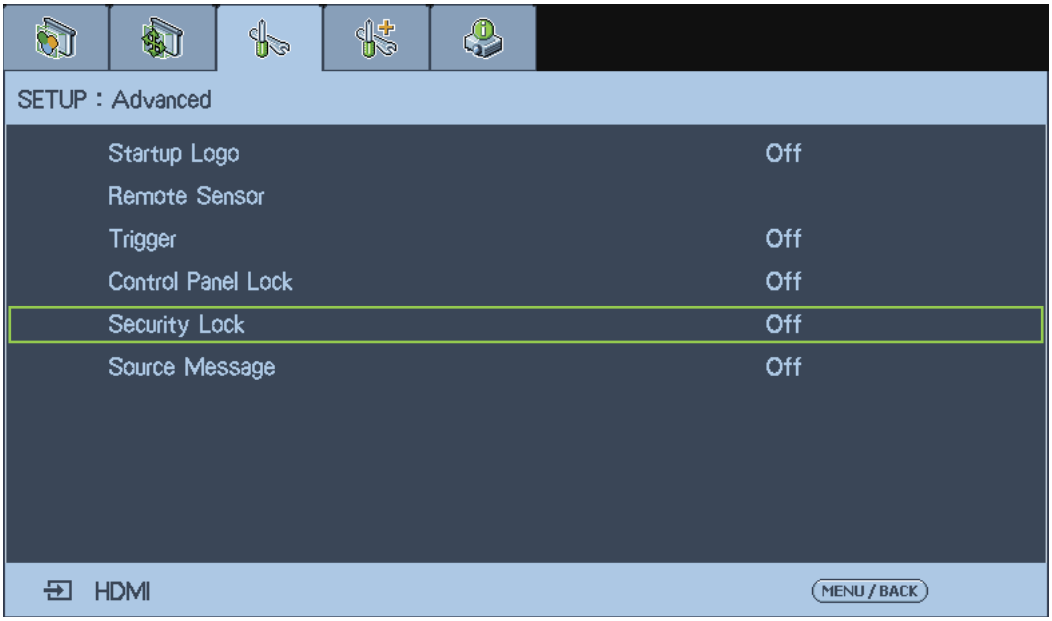
プロジェクタを不正使用から保護する

このプロジェクタには、OSD コントロール パネルをロックして、リモコン操作を拒否する内部セキュリティ機能が備わっています。セキュリティ機能にはデフォルトのキーワードはありません。初めてセキュリティ機能を有効にするときに、キーワードを設定してください。

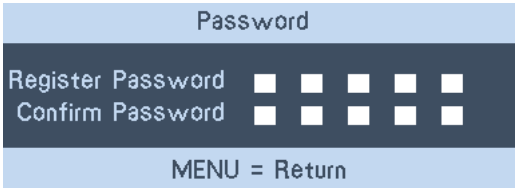
プロジェクタをロックする

セキュリティ キーワードを設定するには、次の手順に従ってください。

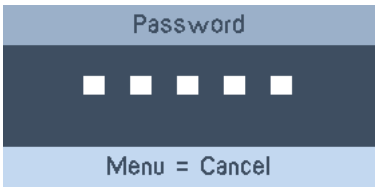
1. プロジェクタの OSD コントロール パネル、またはリモコンの **Menu** を押して、メニュー メニューを表示します。矢印キーを押して**設定** > **アドバンス メニュー** から**セキュリティロック**を選択し、この機能を有効にしてください。



2. 矢印キーを使ってパスワードを入力し、**セキュリティロック**機能の実行を確定します。



3. **セキュリティロック**機能を実行すると、操作ボタンをどれでも押すと PIN コード画面が表示されます。



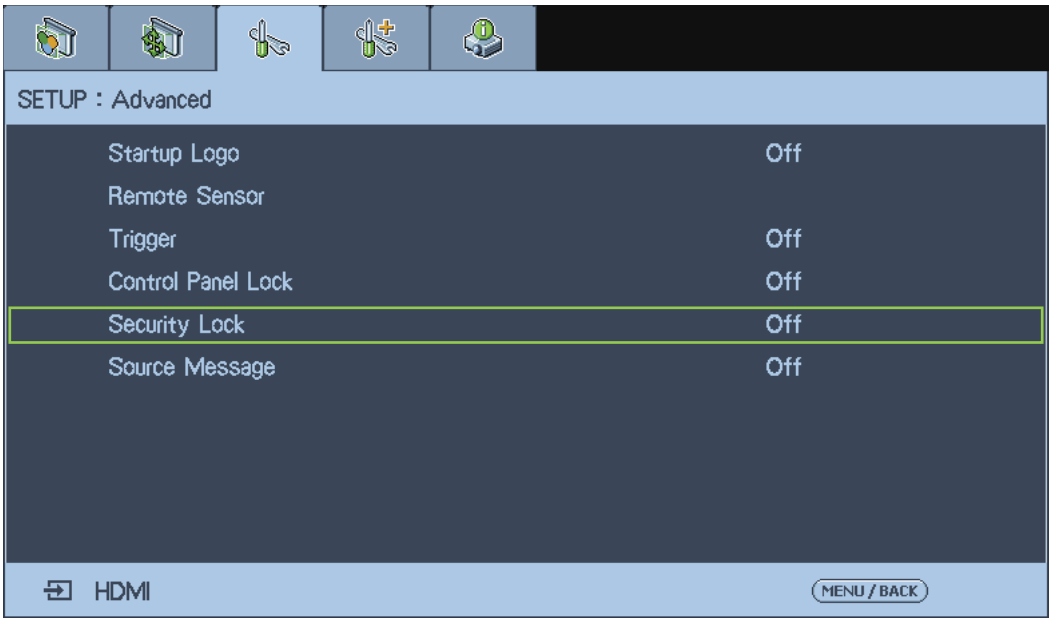
パスワードを設定したり、変更したりする時には、メモを取り安全な場所に保管してください。PIN コードを忘れると、プロジェクタを使用できなくなります。販売店かサービスセンターにお問い合わせください。

プロジェクタをロック解除する
プロジェクタをロック解除するには、次の手順に従ってください。

1. 稼働中またはスタートアップ時にプロジェクタをロックすると、ロック メッセージが表示されます。
2. プロジェクタのロックを解除するには、コントロールパネルかリモコンで **Menu** を押します。すると PIN コード入力画面が表示されます。あらかじめ設定しておいた PIN コードを入力して、プロジェクタをアクティベートしてください。

コントロール パネルをロックする

プロジェクタの OSD コントロール パネル、またはリモコンの **Menu** を押して、メインメニューを表示します。矢印キーを押して**設定** > **アドバンス メニュー**から**パネル キー ロック**を選択し、この機能を有効にしてください。



パネルキー ロックが行われた状態のときには、操作ボタンを押すと画面に数秒間ロックメッセージが表示されます。

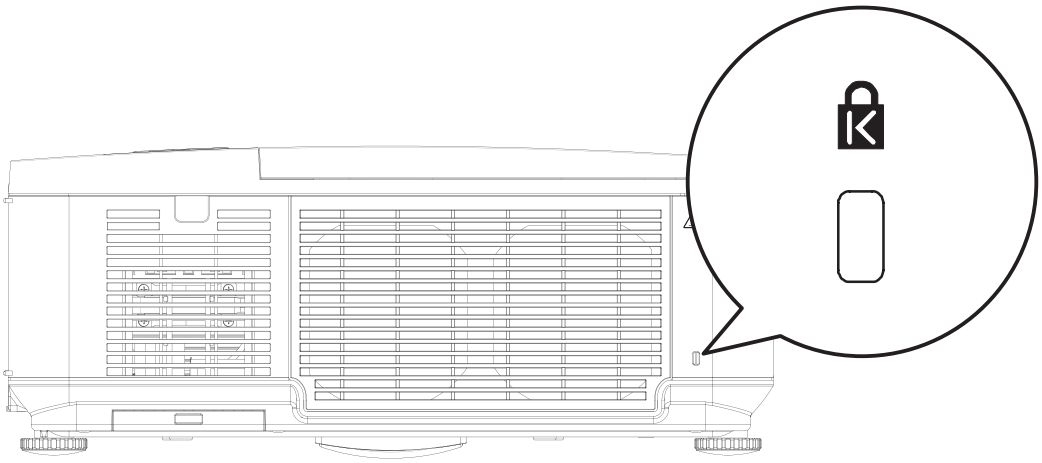


コントロール パネルをロック解除するには、リモコンの ◄ または ► ボタンを使い、**パネルキー ロック**機能を無効にします。すると、数秒間ロック解除メッセージが画面に表示されます。



物理的なロックを使う

セキュリティに不安がある場合は、ケンジントン スロットとセキュリティケーブルを使ってプロジェクタを固定された場所に繋いでください。



接続する

準備

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

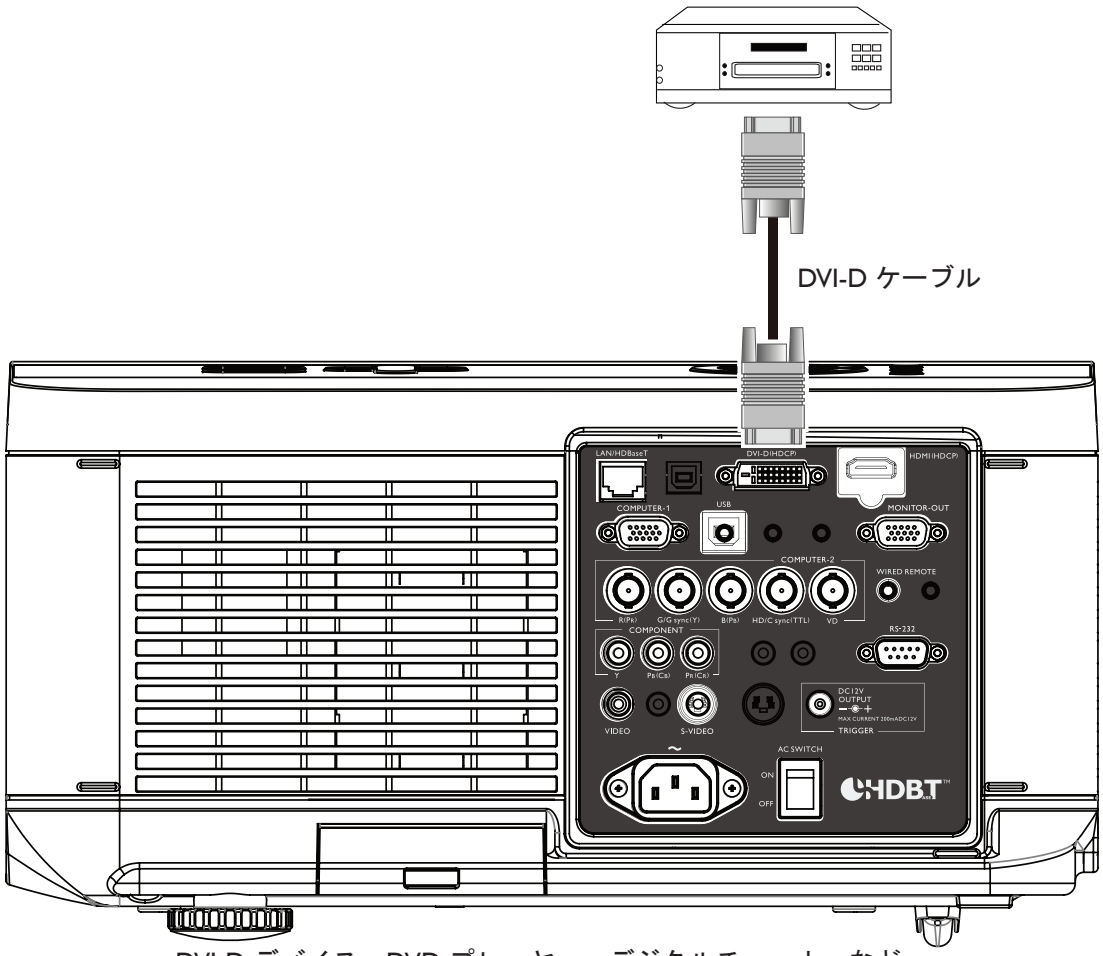
1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに合った、正しい種類のプラグが付いたケーブルのみご使用ください。
3. ケーブルのプラグがすべて装置のジャックにしっかりと接続されていることを確認してください。

プロジェクタによっては、次の接続図に示すすべてのケーブルが同梱されていない場合があります（パッケージ内容については、7 ページの「パッケージ内容」を参照してください）。ほとんどのケーブルは電気店でお買い求めいただけます。

DVI-D デバイスの接続

DVI-D (Digital Visual Interface) は DTV チューナー、DVD プレーヤー、ディスプレイなど、対応するデバイスとデバイスの間を 1 本のケーブルで未圧縮のビデオデータを転送することができます。この方式を使用すると、非常に優れたデジタル映像とオーディオをお楽しみいただけます。プロジェクタと DVI-D デバイスを接続するには、DVI-D ケーブルをお使いください。

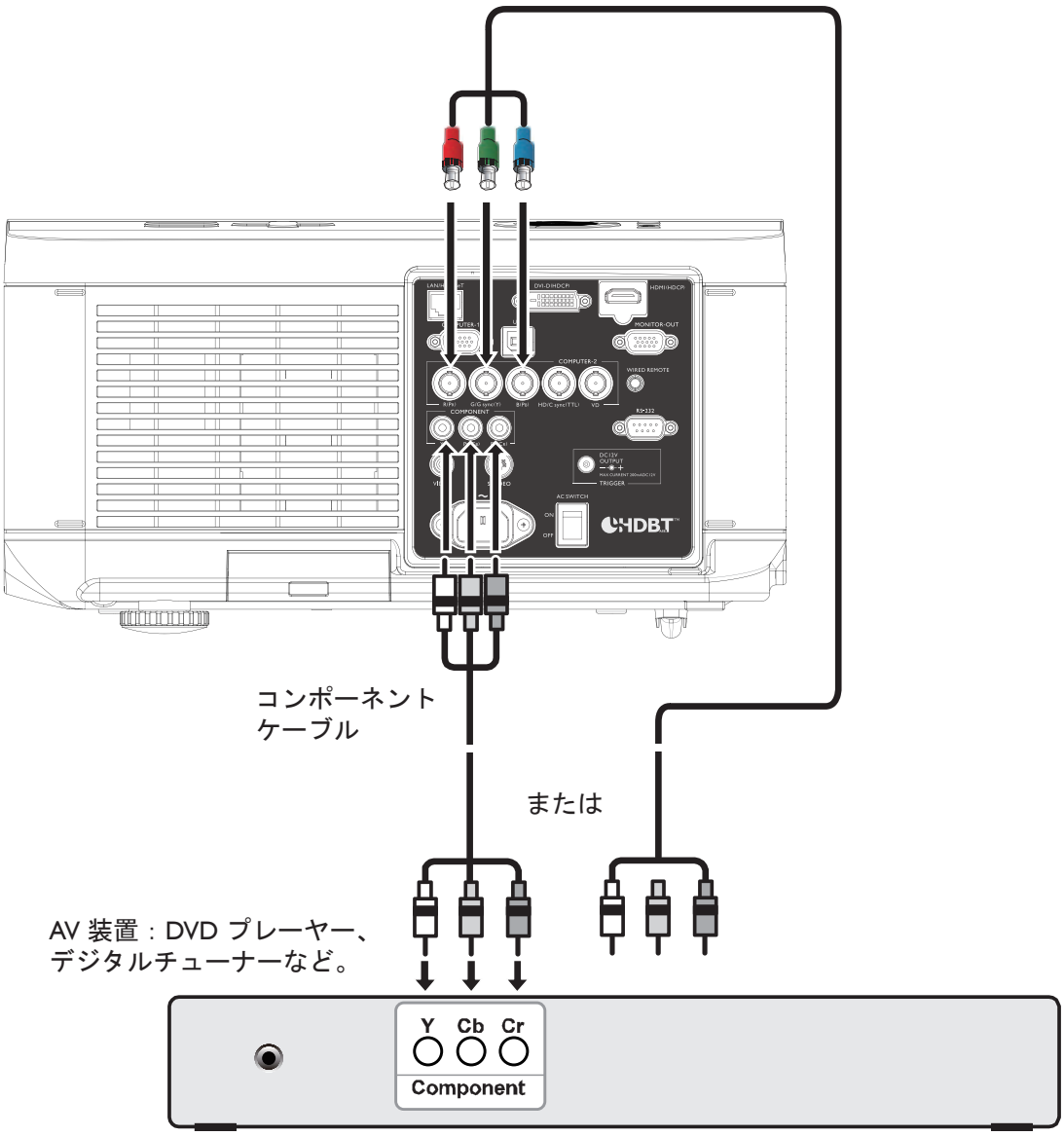
DVI-D 信号に合った正しい入力タイプの装置をお選びください。



DVI-D デバイス：DVD プレーヤー、デジタルチューナーなど。

コンポーネントビデオ機器との接続

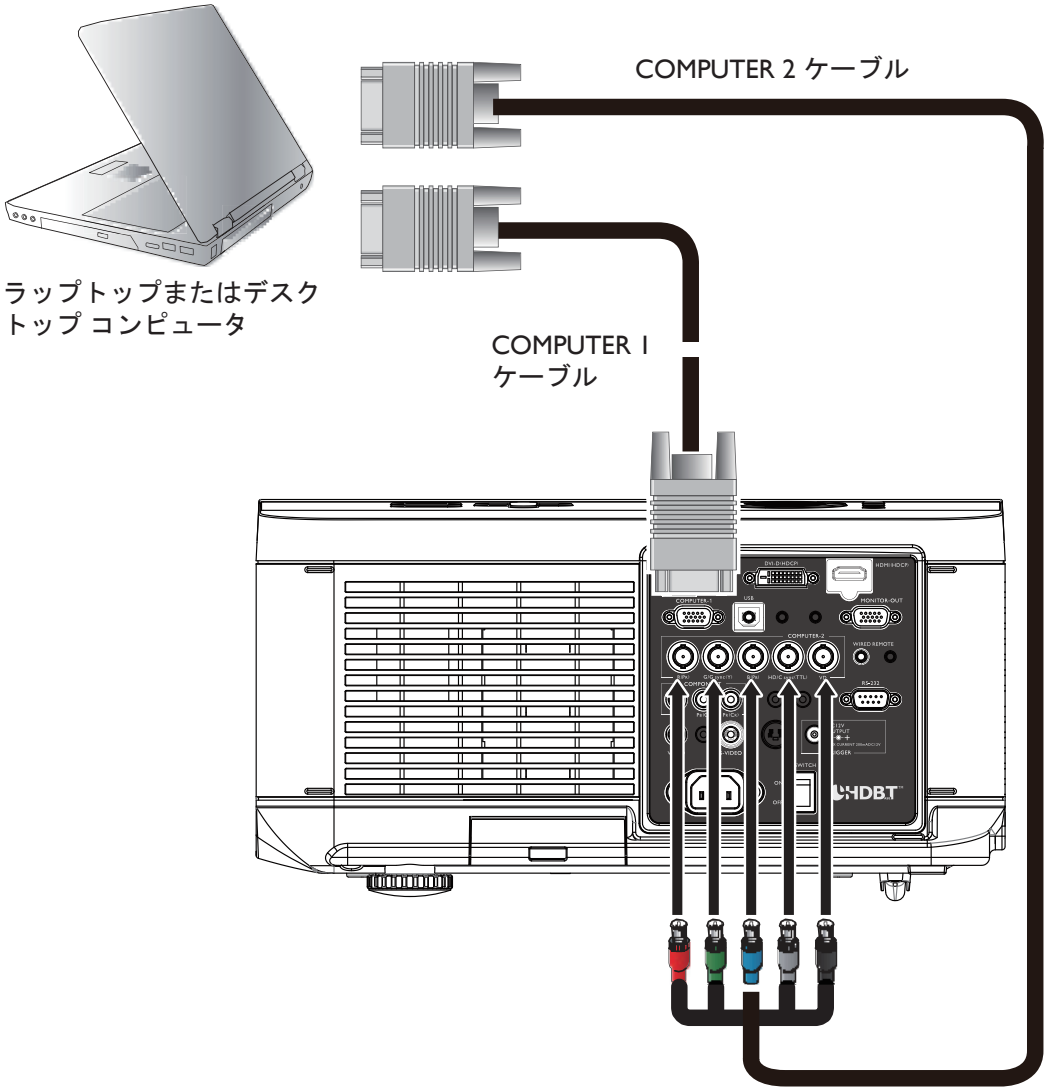
ケーブルと端末の色は必ず同じなければなりません。COMPUTER 2 と COMPONENT を繋ぎ、ビデオ出力機器と接続するために使用します。



- コンポーネントビデオ接続方式によりプロジェクタとビデオソース装置をすでに接続してある場合は、コンポジットビデオ接続方式でこの装置を接続すると不要に 2 つ目の接続が生じ、画質が悪くなるため、この装置を接続する必要はありません。
- 電源をオンにしても選択したビデオイメージが表示されず、正しいビデオソースが選択されている場合、ビデオソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

コンピュータの接続

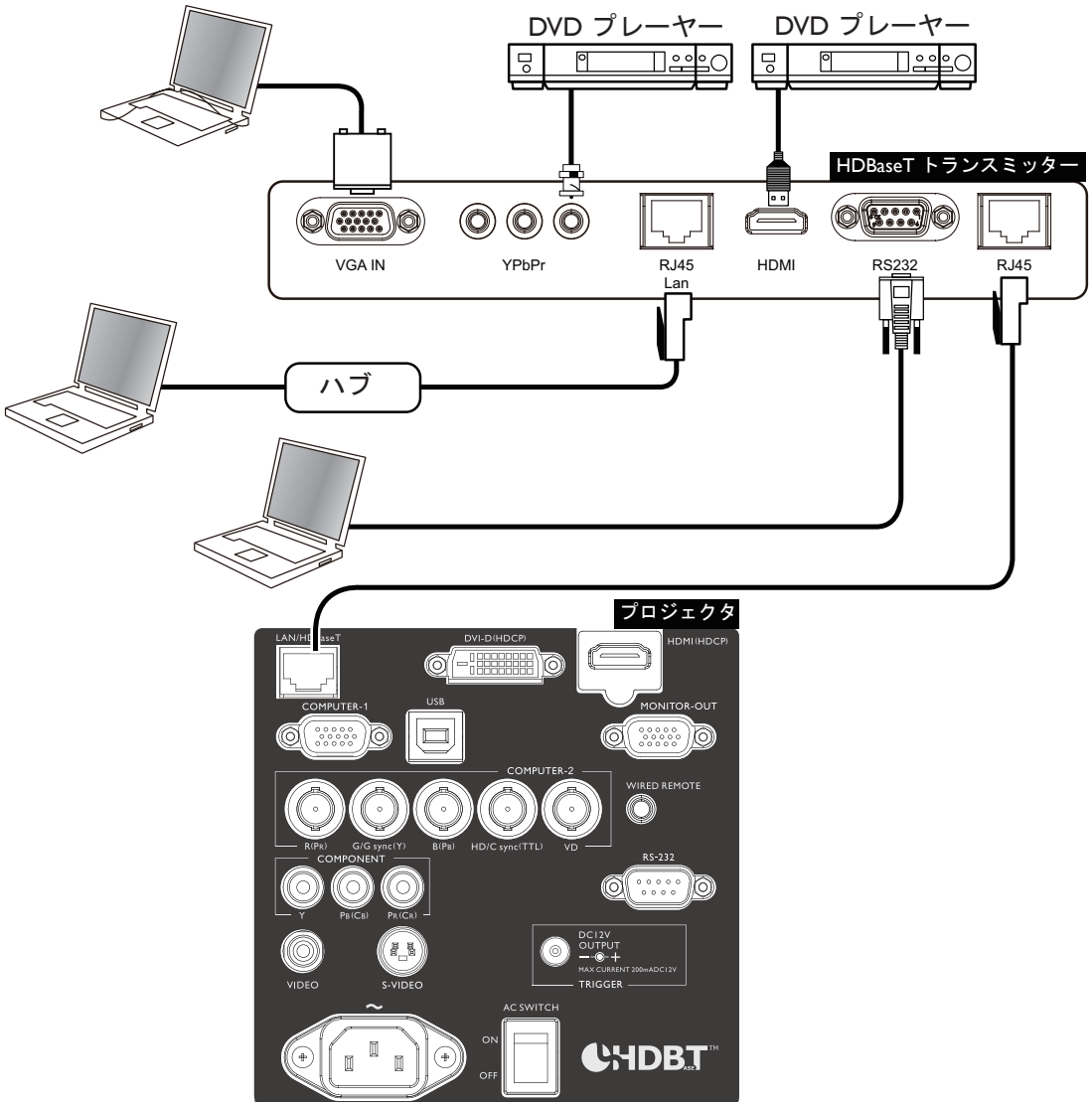
下図のとおり、COMPUTER 1 または COMPUTER 2 でプロジェクタとコンピュータを接続します。



多くのノートパソコンでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常 **Fn + F3** や **CRT/LCD** キーなどを使用すると、外部表示のオン / オフを切り替えることができます。ノートパソコン上で **CRT/LCD** と記された機能キーか、モニタの記号が表示された機能キーの位置を確認してください。**Fn** と記号が記された機能キーを同時に押します。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書をお読みください。

外部 HDBaseT トランスミッターの接続

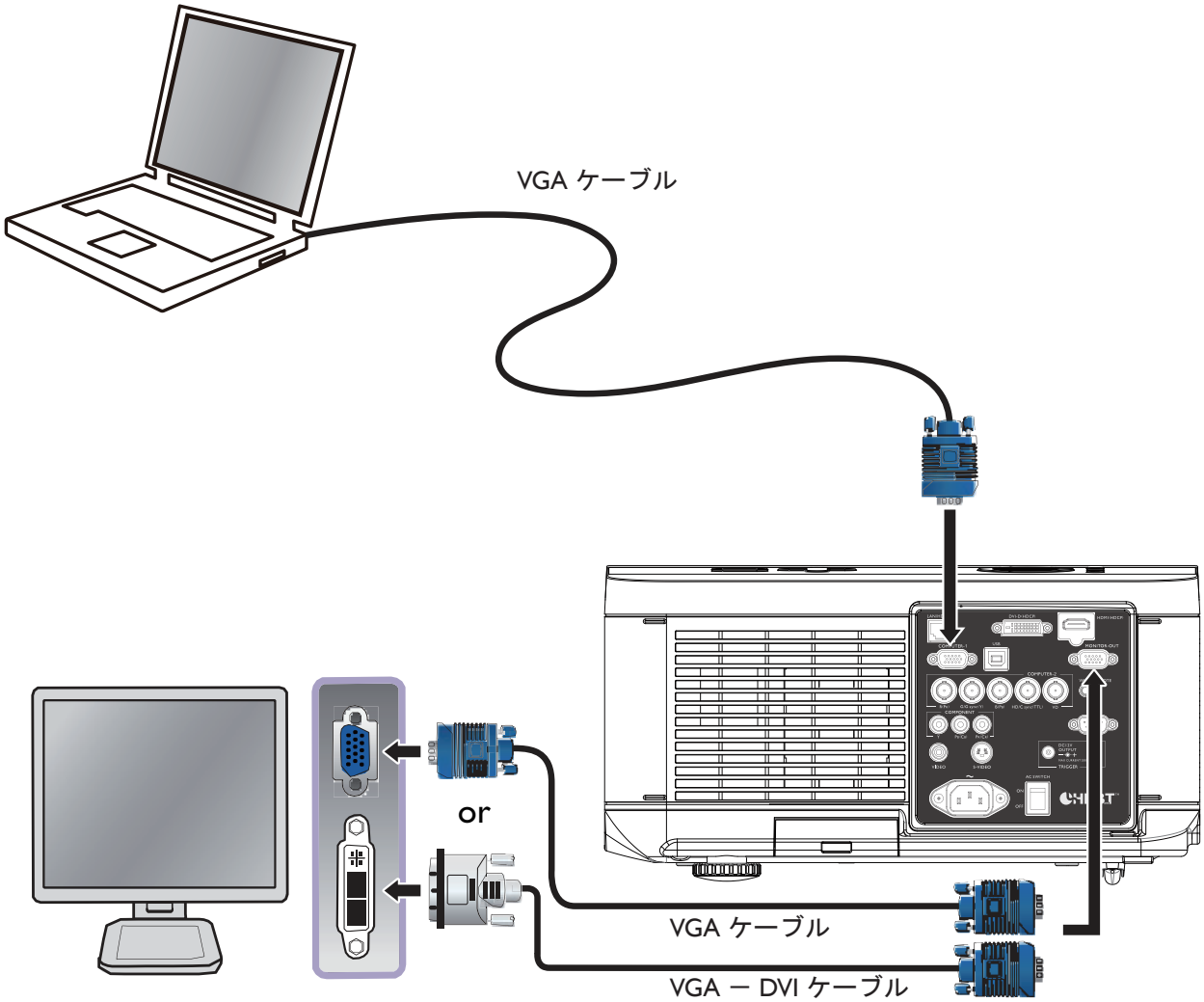
本機には、HDBaseT トランスミッター（別売り）とも使えるように、HD Connect が内蔵されています。これにより、1 本の RJ-45 ケーブルでビデオ、RS-232、LAN 信号を送信することができます。HDBaseT トランスミッター（別売り）が IR リモコンの I/O に対応している場合は、同じ RJ-45 ケーブルで IR リモコンの信号を PU9530/PW9520/PX9510 プロジェクタに送信することができます。



- このプロジェクタの **HDBaseT/LAN** はビデオ、**RS-232**、リモコン、ネットワーク コントロール信号の受信に対応していますが、Power over Ethernet (PoE) 送受信には対応していません。
- RJ45 ケーブルで外部デジタル トランスミッターに **RS232** コマンドを送信するには：OSD メニューで **インストール** > **RS232** > **チャンネル**を **HDBaseT** に設定すると、転送速度が自動的に 9600 に変更されます。
- デジタル トランスミッターの有効通信距離は、100 メートルです。100 メートルを超えた通信になると、投写が途切れたり、干渉を受けたり、信号を操作できなかったりします。
- ケーブルがねじれないように、Cat.5e RJ-45 以上のケーブルをお使いください。そうしなければケーブルが破損し、通信品質が悪くなり通信距離や画質が劣化します。

モニタの接続

プレゼンテーションをスクリーンとは別にモニタを使って近くで見たい場合は、プロジェクタに **MONITOR OUT** が付いている場合は、プロジェクタの **MONITOR OUT** 信号出力ジャックにモニタを繋いでください。



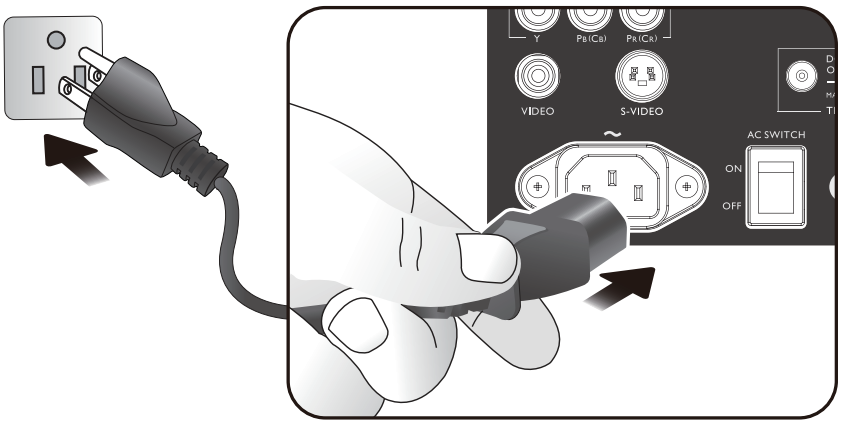
- **MONITOR OUT** は、PC ジャックに正しく D-Sub 入力信号が送られなければ機能しません。
- プロジェクタが待機モードのときには、**MONITOR OUT** 機能はご使用いただけません。

プロジェクタの使用方法

準備

1. プラグを電源に接続し、接続されている装置をすべてオンにしてください。
2. まだ電源に接続されていない場合は、同梱されている電源ケーブルをプロジェクタの背面にある AC 差し込み口に挿入します。
3. 電源コードをコンセントに差し込んで、壁のスイッチをオンにします。

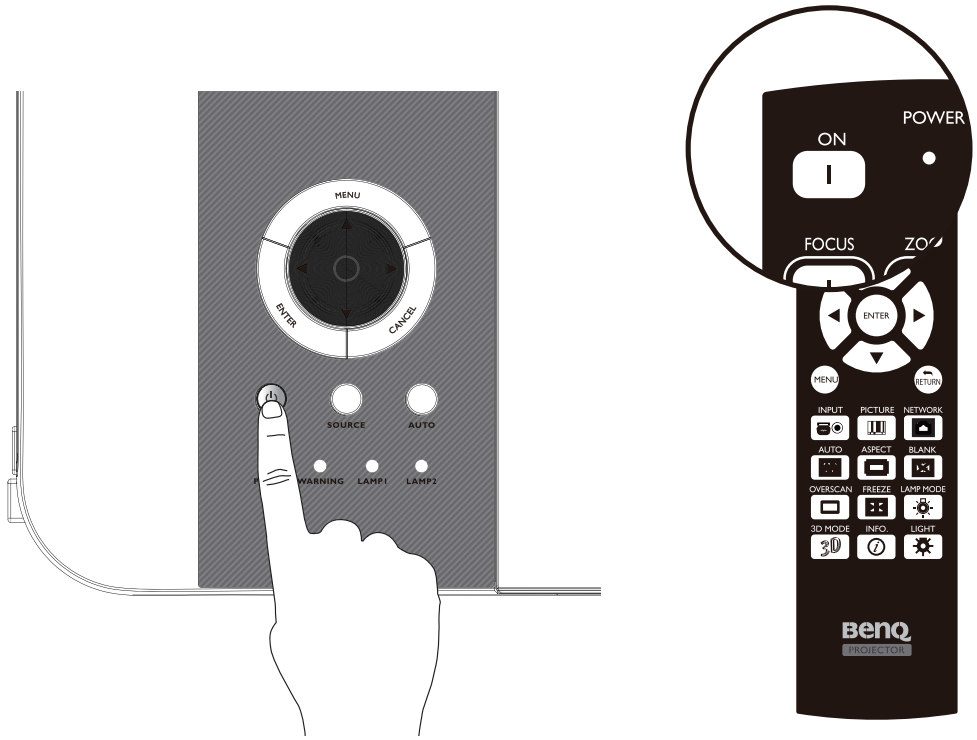
電気ショックや火災の原因となりますので、このデバイスでは付帯されていたアクセサリ（電源ケーブルなど）だけをご使用ください。



装置の電源をオン / オフにする

プロジェクタを正しく配置して、電源ケーブルとその他の接続を完了したら、電気ショックや火災の原因となりますので接続が正しくできているか、また正しく電源が入っているかを確認することが大切です。プロジェクタの電源を入れるには、次の説明をお読みください。

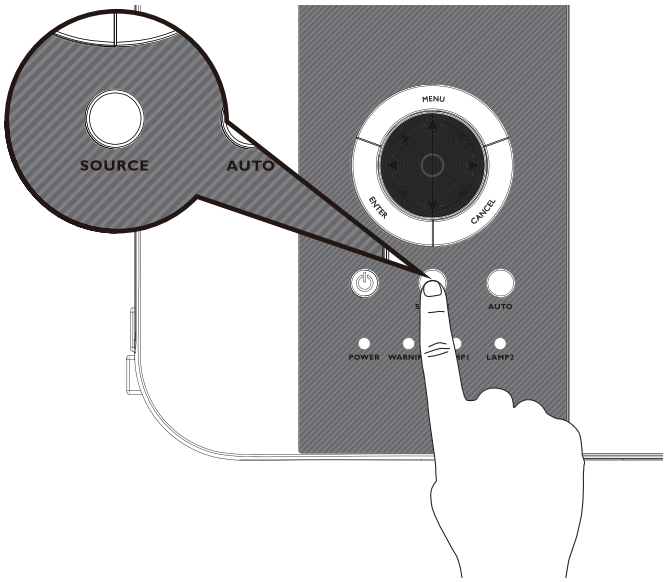
1. 主要電源を**オン**にして電源を入れると、電源ライトが赤く点灯します。
2. プロジェクタの **POWER** ボタンを押すか、リモコンの **ON** ボタンを押すとプロジェクタが起動します。電源とランプの LED が緑色に点滅して、冷却ファンが作動し始めます。
3. ウォームアップ中は、投映画像がスクリーンに数秒間映し出されます。
4. 電源 LED が緑色に点灯したら、プロジェクタを使用することができます。
5. LED が点滅したままの場合は、スタートアップで問題が生じた可能性があります。60 ページの「トラブルシューティング」をご参照ください。



シャットダウン後すぐにプロジェクタを再起動しようとすると、冷却のためにファンが数分間作動する場合があります。ファンが停止したら再び ⏻ **電源**を押してプロジェクタを起動してください。このとき電源インジケータがオレンジ色に点灯します。

入力ソースの選択

このプロジェクタは同時に複数の装置と接続することができます。プロジェクタをオンにすると、プロジェクタを最後にシャットダウンしたときに使用されていた入力ソースに接続しようとします。



ビデオソースを選択するには

入力ソースは、プロジェクタのコントロール パネルやリモコンから選択できます。入力ソースを選ぶ際は、次のガイドを参考にしてください。

1. リモコンかコントロール パネルの **INPUT** キーを押すと、**ソース**メニューが表示されます。
2. ▲/▼ キーを使って好きな入力ソースを選択してください。
3. **ENTER** キーを押して入力ソースを確定してください。入力信号が検出され、投映画像が表示されるまで数秒かかります。
   現在の入力ソースを維持するには、**RETURN** キーを押して投写画像に戻ってください。

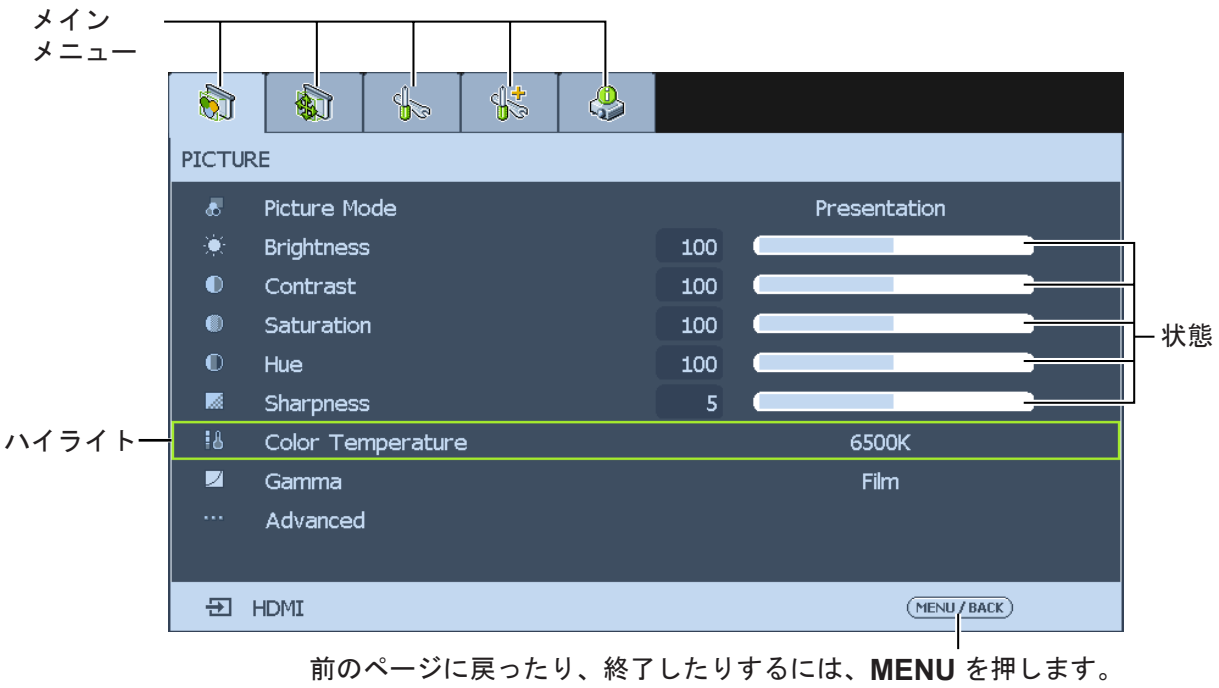


プロジェクタに信号を自動検出させたい場合は、**信号** > **自動検索**メニューで**オン**を選択します。

メニューの使用方法

このプロジェクタには多言語の OSD が用意されており、調整や設定を細かく行うことができます。以下に OSD メニューの概要を紹介します。

OSD メニューを使用するには、OSD メニューの言語を選択してください。



前のページに戻ったり、終了したりするには、**MENU** を押します。

投写イメージの調整

画像の位置調整

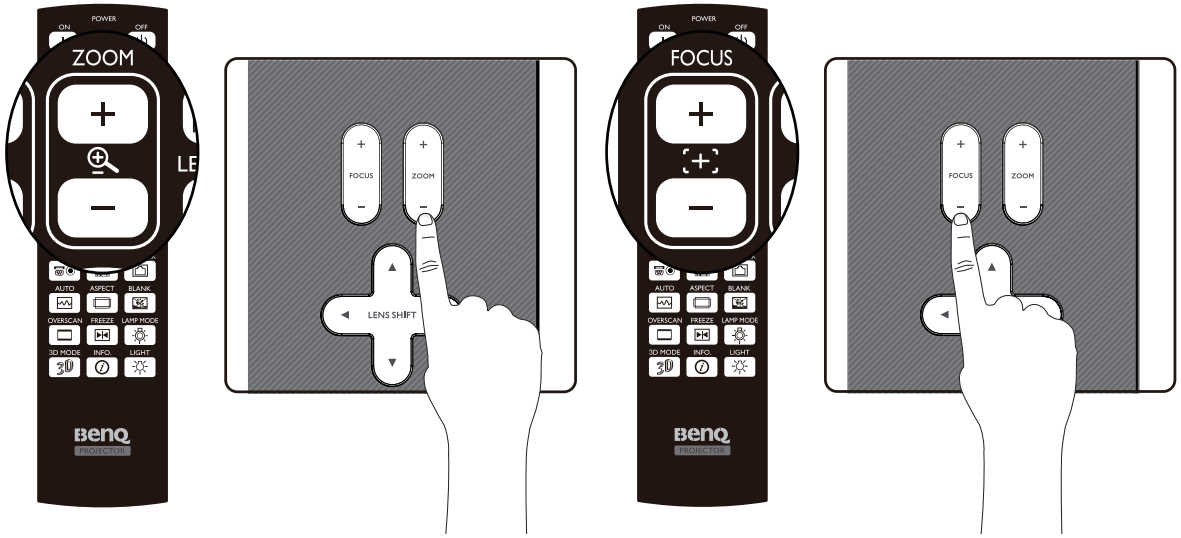
投映画像の位置とサイズは、コントロールパネルまたはリモコンを使って手動で調整できます。次の説明に従って、手動で画像の位置を調整してください。



1. リモコンの **LENS SHIFT** キーを押すと、レンズシフト画面が開きます。または、方向矢印キーを押すと、直接投写画像を出力できます。
2. リモコンからレンズシフトを行った場合は、**ENTER** ボタンでレンズシフトとズーム / フォーカス、矢印ボタンを切り換えてレンズシフトの設定を調整することができます。

画像サイズと明瞭さの微調整

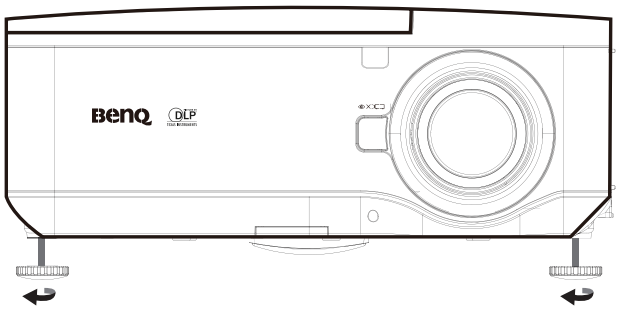
1. 投映画像を自在に調整するには、コントロールパネルかリモコンの **ZOOM +** ボタンまたは **ZOOM-** ボタンを押します。
2. 画像をシャープにするには、コントロールパネルかリモコンの **FOCUS+** ボタンまたは **FOCUS-** ボタンを押します。



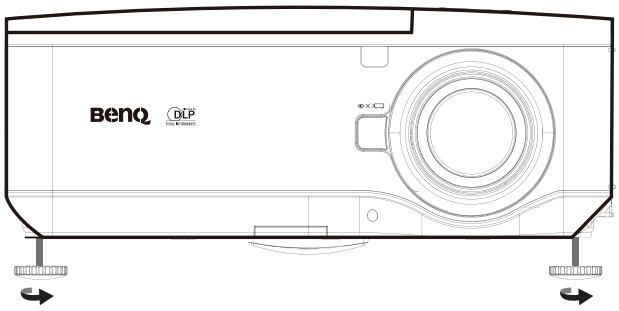
投写角度の調整

プロジェクタの底には、2 個の高さ調節脚があります。これらは投写角度を変えたいときに使います。適切な角度になるようにフットを調整してください。

1. アジャスタを右に回すと、プロジェクタの高さが上がります。

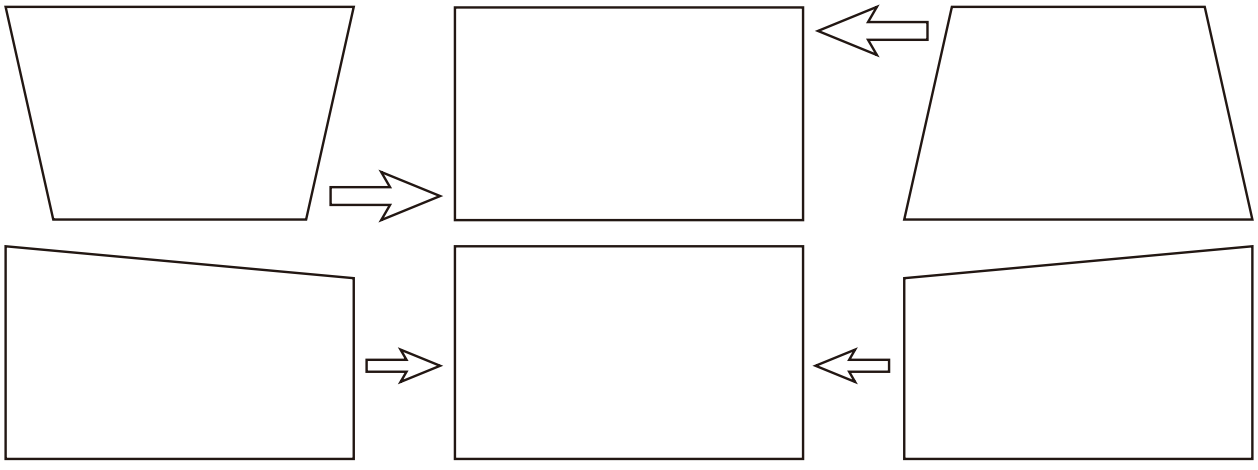


2. プロジェクタの高さを下げるには、プロジェクタを持ち上げてアジャスタを左回りに回します。



画像の歪みの補正する

画像を上から、または下から角度を付けてスクリーンに投写すると、画像が台形に歪みます。**設定** > **台形補正**の**台形補正**機能は、台形に歪んだ画像を補正するのに使用します。**V 台形補正**または **H 台形補正**を選択して、◄/► ボタンを押して正しく投写されるように補正してください。



キーを繰り返し押すうちに、その最高値または最低値に達すると、画像の形状が変化しなくなります。それ以上はその方向に変更を加えることはできません。

画像の自動調整

場合によっては、RGB 画質を最適化する必要が生じることもあります。これを行うには、リモコンの **AUTO** キーまたはパネルの AUTO を押すと、最も良い状態になるように、内蔵されたインテリジェント自動調整機能が周波数とクロック数を再調整します。

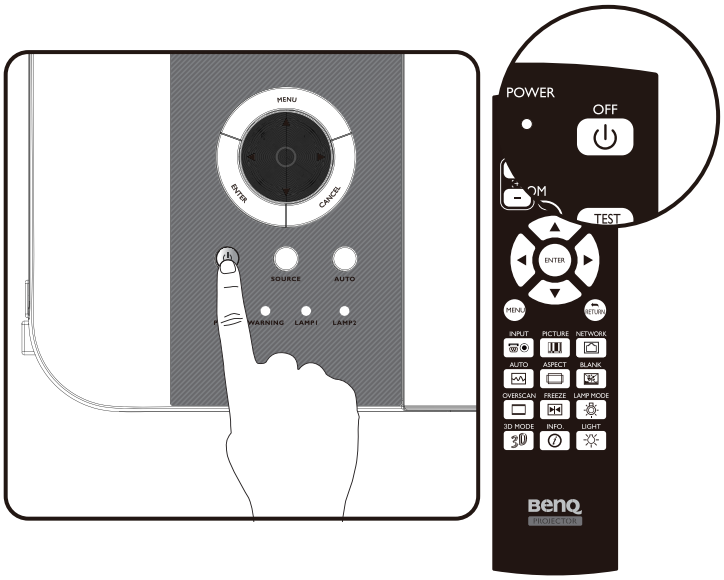
この機能は PC 信号（アナログ RGB）が選択されている場合にしか使用できません。

プロジェクタをオフにする

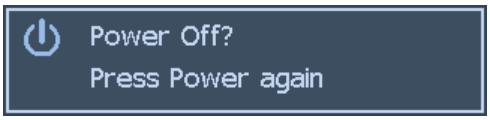
プロジェクタを使い終わったら、正しくシャットダウンしてください。そうしなければ、プロジェクタに不要な負担をかけてしまい故障の原因となります。プロジェクタの電源を切るには、次の説明をお読みください。

- プロジェクタの電源がまだ入っているときにコンセントから電源ケーブルを抜いたり、プロジェクタから電源ケーブルを外したりしないでください。プロジェクタの AC IN コネクタや電源ケーブルのプラグが破損する場合があります。
- 調整や設定変更を行った後メニューを閉じて 10 秒以内に、電源を切らないでください。調整内容や設定内容が無効になり、デフォルト値に戻ってしまう場合があります。

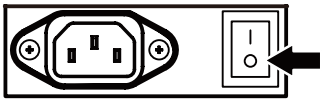
1. コントロール パネルの**電源**ボタンを押すか、リモコンの **OFF** ボタンを押します。



2. 電源を切ったのを確認するために、再度**電源**ボタンまたは **OFF** ボタンを押してください。冷却ファンが作動し続け（冷却期間）、電源 LED がオレンジ色に点滅します。その後、冷却ファンが停止します。



3. **主電源**スイッチを (O) の位置に合わせて電源を切ると、プロジェクタが止まります。



OSD の使用方法

メニューの使用方法

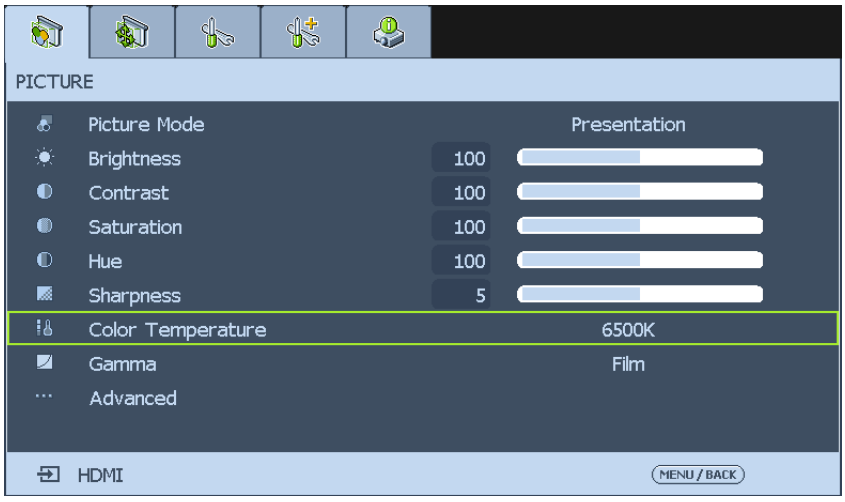
プロジェクタにはオンスクリーン ディスプレイ (OSD) があります。これは、画像を調整したり、設定を変更したりする時に使用します。

OSD をナビゲートする

OSD をナビゲートしたり、設定を変更したりするには、リモコンまたはプロジェクタの上パネルにあるボタンを使用します。次の図は、リモコンおよびプロジェクタのボタンの説明です。



1. OSD を開くには、OSD コントロール パネルかリモコンの **Menu** ボタンを押します。メニューには全部で 5 個のフォルダがあります。カーソル ◄ または ► ボタンを押すと、第二メニューに移動します。
2. ▲ または ▼ ボタンを押してメニュー アイテムを選択し、◄ または ► を押して設定値を変更します。**ENTER** を押して、新しい設定を確定してください。



3. サブメニューを終了するには **CANCEL/RETURN** を押します。メニューを閉じるには **MENU** を押します。

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニュー

次の図を参考にして、設定を探したり、設定範囲を決定したりしてください。
OSD メニューは、選択した信号のタイプにより異なります。

メニュー マップ

メニュー	サブメニューとコントロール		
映像調整	画像モード	明るく	
		プレゼンテーション	
		シネマ	
	輝度		
	コントラスト		
	色彩度		
	色調		
	シャープネス		
	色温度	Native	
		6500K	
		7800K	
		9300K	
	ガンマ	2.2	
		映画	
		画像	
		Video	
		PC	
	アドバンス	入力バランス	R オフセット、G オフセット、B オフセット、赤ゲイン、緑ゲイン、青ゲイン
		HSG	赤い、緑、青い、青緑色、マゼンタ、黄色、白
		ノイズ削減	
		ダイナミックブラック	
信号	SOURCE	COMPUTER 1、COMPUTER 2、DVI-D、Video、S-Video、HDMI、COMPONENT、HDBaseT	
	自動検索	オン、オフ	
	自動同期調整	常時、自動	
	カラースペース	自動、YPbPr、YCbCr、RGB-PC、RGB-Video	
	VGA 設定	水平総ドット、水平スタートドット、水平位相、垂直スタートドット	
	縦横比	5:4、4:3、16:10、16:9、1.88:1、2.35:1、自動、Native	
	オーバースキャン	オン、オフ	
	バックグラウンド	青い、黒、ロゴ	

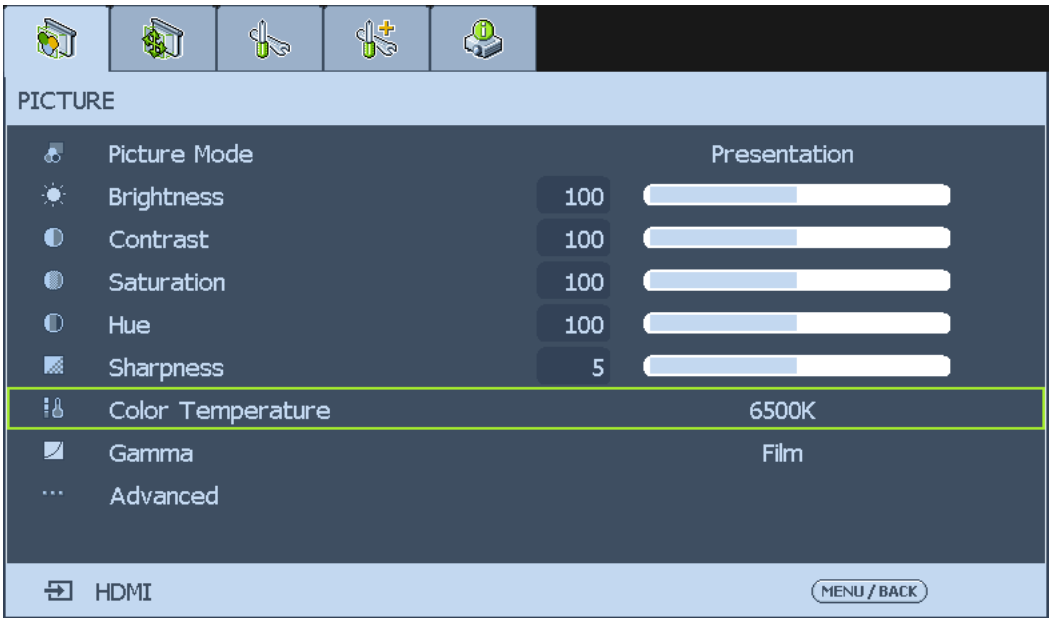
メニュー	サブメニューとコントロール		
設定	言語	English、Deutsch、Español、Français、Italiano、Svenska、Português、Русский、繁體中文、簡體中文、한국어、日本語	
	ランプ設定	デュアル、シングル、ランプ 1、ランプ 2	
	Lamp Power	ノーマルモード、エコモード、カスタムランプ電力	
	カスタムランプ電力		
	台形補正	H 台形補正 / V 台形補正	
	デジタル位置合わせ	デジタルズーム、デジタルパン、デジタルスキャン、リセット	
	水平 / 垂直位置合わせ	H ズーム、V ズーム、H シフト、V シフト、リセット	
	3D	3D 方式切換	切、自動、サイドバイサイド、トップ / ボトム、フレームシーケンシャル
		DLP-Link	オン、オフ
		3D Swap	ノーマルモード、リバース
		3D 24Hz 映像投写	96Hz、144Hz
	フィルター警告表示	オフ、100H、200H、500H、1000H	
	アドバンス メニュー	起動時ロゴ	オン、オフ
		リモート受信装置	正面 + 背面、正面、背面、HDBaseT
		トリガー	オン、オフ
		パネル キー ロック	オン、オフ
		セキュリティロック	オン、オフ
		元のメッセージ	オン、オフ

メニュー	サブメニューとコントロール		
インストール	プロジェクタの設置	前面投写、背面投写、天井前面投写、天井背面投写	
	待機設定	標準、エコモード、ネットワーク	
	高地モード	オン、オフ	
	自動電源オフ	オン、オフ	
	自動電源オン	オン、オフ	
	RS232	ボーレート	115200、57600、38400、19200、14400、9600
		チャンネル	ローカル、HDBaseT
	ネットワーク設定	IP アドレス	192.168.00.100
		サブネットマスク	255.255.255.0
		ゲートウェイ	192.168.00.254
		DNS	0.0.0.0
		DHCP	オン、オフ
		適用	適用、取り消し
		MAC Address	x:x:x:x:x:x:x:x
	レンズ制御	Enter	
		ズーム	
		焦点	Enter、垂直シフト、水平シフト
	内部テストパターン	カラーバー、グリッド、バースト、水平傾斜、赤い、緑、青い、白、黒、オフ	
	HDBaseT/ ネットワーク	自動、HDBaseT	

メニュー	サブメニューとコントロール		
サービス	モデル	BenQ プロジェクタ	
	シリアル番号	xxxxx xxxxx	
	ソフトウェアバージョン	xxxxx xxxxx	
	BenQ ファームウェアバージョン	xx-xxx	
	ランプ ステータス	ランプ 1 ステータス	
		ランプ 2 ステータス	
	Source 本体情報	入力ソース	VGA
		ピクセルクロック	13.50 MHZ
		信号形式	1080P
		水平 / 垂直の更新率	H：15.736 KHZ V：60 HZ
		同期タイプ	Separate Sync
		同期極性	H:() V:()
		スキャンタイプ	Non-Interlace
		ビデオタイプ	PAL
	使用時間	ランプ 1 残りの時間、ランプ 2 残りの時間、ランプ 1 点灯時間、ランプ 2 点灯時間、フィルター使用時間、プロジェクタ使用時間	
	フィルター使用時間初期化	初期化フィルター使用時間？	OK、取り消し
	工場出荷状態	すべてリセットしますか？	OK、取り消し

映像調整

あらかじめ設定された映像モードの設定は、映像モード、輝度、色温度など、**画像調整**モードメニューに表示されるアイテムを使って変更できます。



画像モード

◄ または ► 使ってリストからプリセット値を選択します。

明るく：投映画像の明るさを最大にして、プレゼンテーションの投映品質を高めます。

プレゼンテーション：普通の画像の場合、投映画像や画像で最高の効果が得られます。

シネマ：投映画像を自然な色合いにします。

輝度

◄ または ► を使って**輝度**の値を調整します。

コントラスト

◄ または ► を使って明るいエリアと暗いエリアの差、つまり**コントラスト**を際立たせます。

色彩度

◄ または ► を使って、主要色の**色彩度**を調整します。選択した色の濃淡を調整します。

色調

◄ または ► を使って、次の主要色の**色調**を調整します。

主要色	色調		
R	マゼンタ	⟷	黄色
G	黄色	⟷	青緑色
B	青緑色	⟷	マゼンタ
C	緑	⟷	青い
M	青い	⟷	赤い
Y	赤い	⟷	緑

シャープネス

◄ または ► を使って**シャープネス**値を調整し、色やオブジェクトの境目を目立たせたり、ぼかしたりします。

色温度

Native、**6500K**、**7800K**、**9300K** のいずれかに設定します。

色温度について：

用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに 「色温度」 があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

ガンマ

暗いエリアの詳細は、明るすぎる場所ではより見にくくなります。画像の色の違いを補正するには、次のガンマ補正オプションを使用します。

2.2：色の補正を 2.2 に設定します

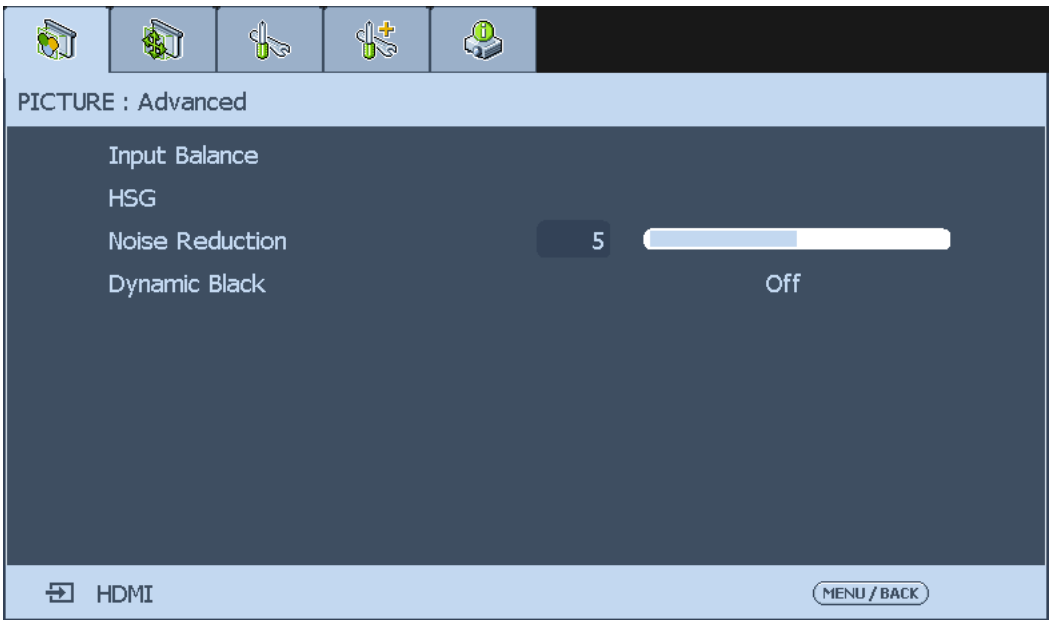
映画：色補正を約 ガンマ 2.2 に調整します。

画像：コンピュータ デモンストレーション用ドキュメントで、グレイスケールの詳細を犠牲にしても輝度の高さが求められる場合に選択します。

Video：フィルムカラーの差異補正に似ていますが、画像の暗いエリアに違いを持たせます。カメラが採用する画像作成機能を使用する時に選択します。

PC：PC を接続しているときのアプリケーションに最適です。

アドバンス メニュー



入力バランス

赤、緑、青を調整するために、2 つのオプションがあります。

Offset：画像全体のカラースペクトラムをシフトさせて、明るさを変更します。グレーのエリアに最小量の赤、緑、青がある場合は、相当する色のオフセットを調整できます。オフセット値を上げると、画像の明るさが低くなります。

ゲイン：画像全体の色入力範囲を調整します。グレーエリアに最小量の赤、緑、青がある場合は、相当する色のゲインを下げます。ゲインを上げると、画像のコントラストが低くなります。

HSG

色調、色彩度 、ゲインをそれぞれ個別に調整できます。指定した色をより直感的に調整できます。これは、エッジぼかしなど特定の用途で赤、緑、青、青緑色、マゼンタ、黄色、白の色調、彩度、ゲインを個別に調整したい時に便利です。

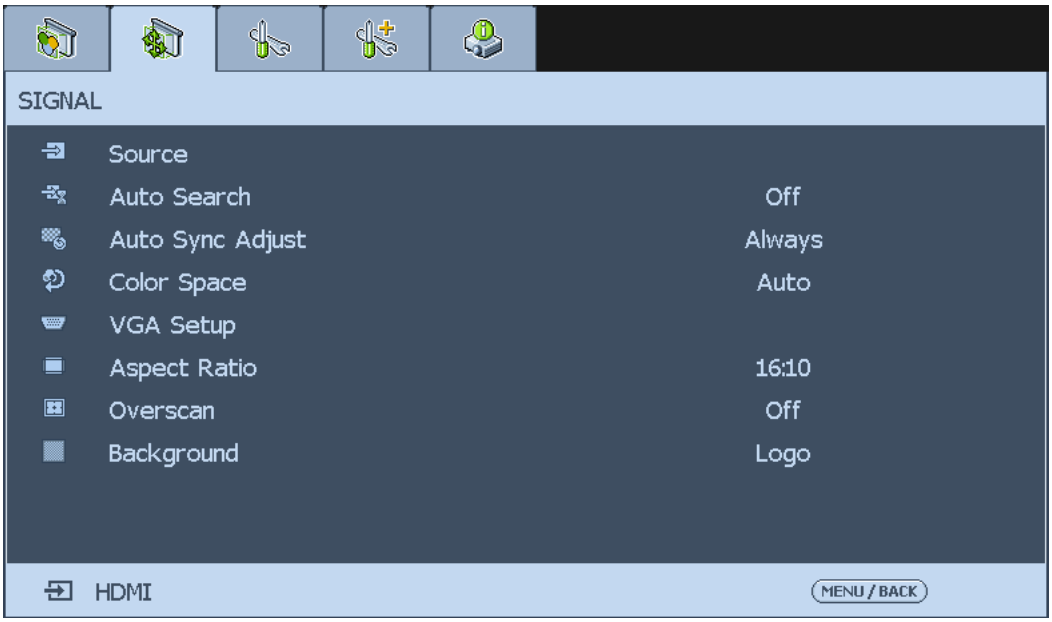
ノイズ削減

最小クロールとクロスカラーノイズで高画質な画像を表示します。0 から 15 までの段階で、画像がより鮮明に表示されるようにレベルを調整してください。

ダイナミックブラック

この設定を**オン**設定すると、投映画像の黒レベルを向上させます。

信号



ソース

リモコンのホットキーと同じです。リモコンまたはこの機能を使って、好きな入力ソースを選択してください。

HDMI：PC やメディア デバイスから HDMI 信号を入力するための端末です。

DVI-D：PC から DVI-D 信号を入力するための端末です。

COMPUTER 1：PC から RGB 信号を入力するための端末です。

COMPUTER 2：PC やメディアデバイスから YCbCr/YPbPr または RGB 信号 (RGBHV) を入力するための

HDBaseT/LAN：RJ-45 ケーブルで未圧縮高精細ビデオ (HD) を入力するための端末です。

自動検索

電源を入れたときに、プロジェクタが自動的に入力信号を検出し、その入力モードに切り替えます。**オン**に設定すると**自動検索**機能が有効になります。これを無効にするには**オフ**に設定してください。

カラースペース

入力信号のカラースペースを変更します。ほとんどの場合は、**自動**を選択するとプロジェクタが設定したカラースペースが自動的に適用されます。または、特定のカラースペースを使用するには次のオプションの中から選択してください。

自動：入力信号を検出することで、有効なカラースペースに切り換えます。

YCbCr：カラースペースを ITU-R BT.601 に設定します。

YPbPr：カラースペースを ITU-R BT.709 に設定します。

RGB-PC：黒を 0,0,0 に、白を 255, 255, 255（8 ビット画像）に設定すると、カラースペースが RGB に設定されます。

RGB-Video：黒を 16, 16, 16 に、白を 235, 235, 235（8 ビット画像）に設定してカラースペースを RGB にすると、デジタル コンポーネント規格で定義されたブリリアンス値に準拠します。

VGA 設定

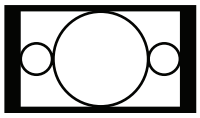
VGA 信号、ディスプレイの水平総ドット、水平スタートドット、水平位相、垂直スタートドットを設定します。

縦横比

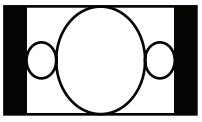
投写画像の縦横比を選択します。

16:10 の標準入力の場合、縦横比は次の画像のようになります。

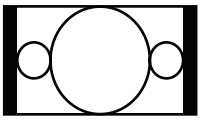
通常出力 16:10



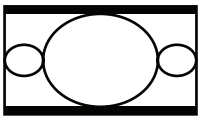
出力スクリーンの縦横比 5:4



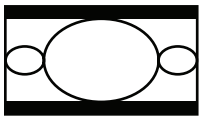
出力スクリーンの縦横比 4:3



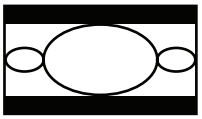
出力スクリーンの縦横比 16:9



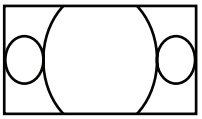
出力スクリーンの縦横比 1.88



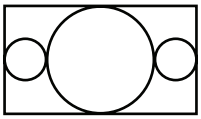
出力スクリーンの縦横比 2.35:1



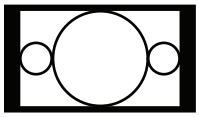
出力スクリーンの縦横比 Letter Box



出力スクリーンの縦横比自動

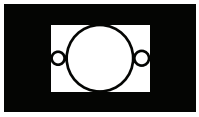


出力スクリーンの縦横比 Native

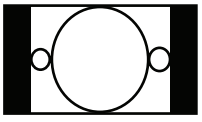


4:3 の標準入力の場合、縦横比は次の画像のようになります。

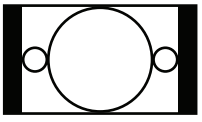
通常出力 4:3



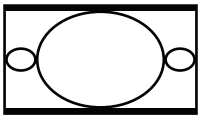
出力スクリーンの縦横比 5:4



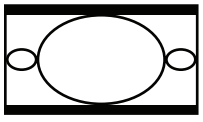
出力スクリーンの縦横比 4:3



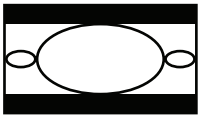
出力スクリーンの縦横比 16:9



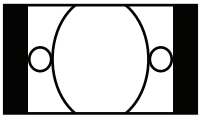
出力スクリーンの縦横比 1.88



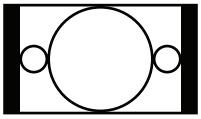
出力スクリーンの縦横比 2.35:1



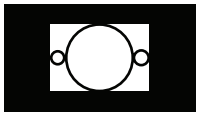
出力スクリーンの縦横比 Letter Box



出力スクリーンの縦横比自動



出力スクリーンの縦横比 Native



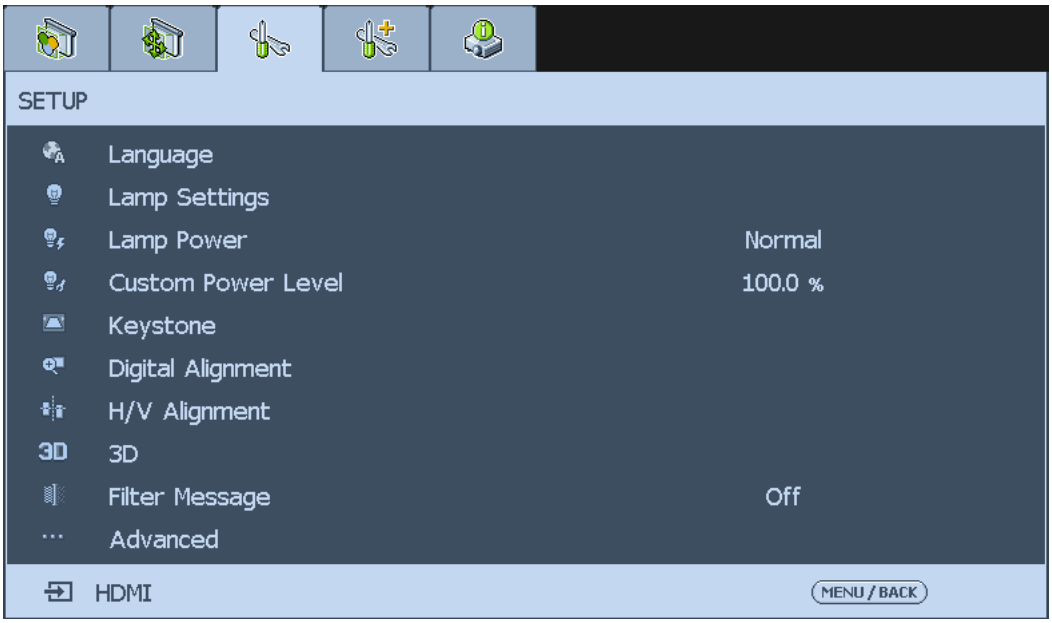
オーバースキャン

画像の端が正しく表示されない場合があります。**オーバースキャン**を**オン**にすると、画像の端を切り取ることができます。

バックグラウンド

入力信号がないときに、ディスプレイを青、黒、ロゴを表示します。

設定



言語

OSD 言語を次の選択肢 **English**、**Français**、**Español**、**Deutsch**、**Português**、**简体中文**、繁體中文、日本語、한국어、**Italiano**、**Svenska**、**Русский** の中から選択します。

ランプ設定

このプロジェクタは、デュアルランプ投映が可能であり、目的に応じて 4 つのランプモードから選択することができます。**ランプ設定**を選択し、**Enter** を押すと有効なオプションが表示されます。

デュアル：最大限に明るくするために、両方のランプを使用します。

シグナル：使用量がより少ない方のランプが選択されます。

ランプ 1：プロジェクタにランプ 1 を選択します。ランプ 1 が切れると、自動的にランプ 2 に切替わります。

ランプ 2：プロジェクタにランプ 2 を選択します。ランプ 2 が切れると、自動的にランプ 1 に切替わります。

Lamp Power

矢印キー ◄► を押すと、**エコモード**（省エネ）、**ノーマルモード**、**カスタムランプ電力**の順番で切替わります。

ノーマル：最高輝度で出力するために、標準のランプ電力で投写します。

エコモード：ランプ寿命を延長するために、省エネモードで投写します。

カスタムランプ電力：投写を微調整するために、ランプ電力を 75-100% でノーマルモードに設定します。複数のプロジェクタを設置し、通常のメンテナンスを行うときに便利な機能です。

カスタムランプ電力

矢印キー ◄► を押してランプ出力をノーマルモードの 75-100% の範囲にカスタマイズします。この機能は、**カスタムランプ電力**が**カスタムランプ電力**モードに設定されている場合にのみ有効です。**ノーマル**と**エコ**モードの 2 つのモードでは、この機能は無効です（薄く表示されます）。

デジタル位置合わせ

投写画像にズームします。

デジタルズーム：矢印キー ◄► で投写画像にズームインします。

デジタルパン：矢印キー ◄► で投写画像にパンします。これは、投写画像が拡大される場合にのみ有効です。

デジタルスキャン：矢印キー ◄► で投写画像が傾斜します。これは、投写画像が拡大される場合にのみ有効です。

リセット：**デジタル位置合わせ**の設定を初期値に戻します。

水平 / 垂直位置合わせ

H ズーム：矢印キー ◄► を使って、投写画像の水平サイズを狭くします。

V ズーム：矢印キー ◄► を使って、投写画像の垂直サイズを狭くします。

H シフト：矢印キー ◄► を使って、狭くした投写画像を横方向に移動させます。これは、投写画像が縮小される場合にのみ有効です。

V シフト：矢印キー ◄► を使って、狭くした投写画像を縦方向に移動させます。これは、投写画像が縮小される場合にのみ有効です。

リセット：**水平 / 垂直位置合わせ**の設定を初期値に戻します。

3D

3D フォーマットと同期方式を設定します。接続した入力信号のタイプによって、設定で使用できるオプションは表示され、設定できないオプションは薄く表示されます。3D 設定を行う前に、入力信号に接続されているか確認してください。

3D 方式切換

このオプションを選択して **Enter** ボタンを押すと、3D 再生が有効になり、3D オプションが設定されます。

オフ：3D 表示モードをオフにして、**Enter** ボタンを押します。

自動、**サイドバイサイド**、**トップ / ボトム**、**フレーム シーケンシャル**を選択すると、3D モードが自動的にオンになります。

自動：**サイドバイサイド**、**トップ / ボトム**、**フレーム シーケンシャル**などの 3D フォーマット検出を有効にします。この機能は、次の入力信号でしか使用できません。

- 入力信号が HDMI 1.4 3D です。
- HDMI 1.4 3D 信号が HDBaseT トランスミッターを介してプロジェクタに接続されています。

サイドバイサイド：3D フォーマットを手動でサイドバイサイドに切り換えます。このオプションは HDMI 入力信号にしか適用されません。信号はメディアデバイスか HDBaseT トランスミッターを介して HDMI 出力から送信されます。

トップ / ボトム：3D フォーマットを手動でトップ / ボトムに切り換えます。このオプションは HDMI 入力信号にしか適用されません。信号はメディアデバイスか HDBaseT トランスミッターを介して HDMI 出力から送信されます。

フレームシーケンシャル：フォーマットをフレームシーケンシャルに設定します。

DLP Link：DLP Link 同期を有効または無効にします。

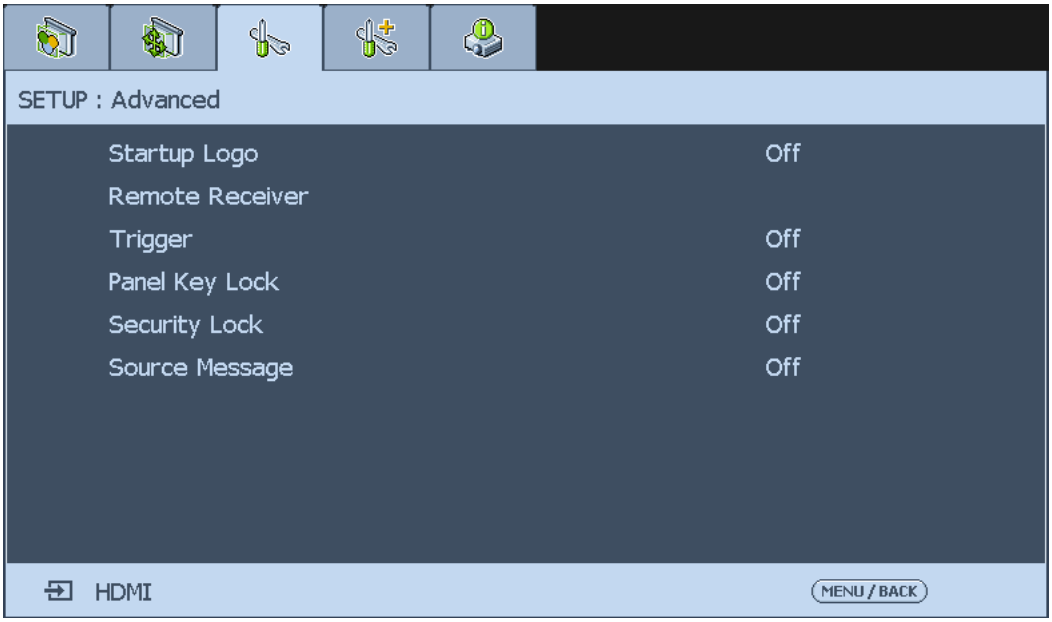
3D Swap：3D メガネによる左目と右目の 3D 画像の逆転が必要な場合、3D Swap をインバースに設定します。画像が正常に表示されている場合は、現在の設定のままに維持してください。

3D 24Hz 映像投写：入力信号が 24Hz のとき、フレームレートを 144fps または 96fps に設定します。

フィルター警告表示

内部タイマーがフィルタのお手入れ時を検出し、メッセージを表示します。選択肢は、**オフ**、**100H**、**200H**、**500H**、**1000H** です。

アドバンス メニュー



起動時ロゴ

矢印キー ◄► を使って、起動時ロゴ機能を有効 / 無効にします。

リモート受信装置

プロジェクタが受信する IR 制御信号を設定します。制御信号の受信オプションは 4 つあります。

正面 + 背面：正面 IR 受信装置と背面 IR 受信装置の両方をオンにします。

フロント：正面の IR 受信装置のみをオンにして、背面の IR 受信装置をオフにします。

背面：背面の IR 受信装置のみをオンにして、正面の IR 受信装置をオフにします。

HDBaseT：別売りの HDBaseT トランスミッターが IR 信号の受信と送信に対応している場合は、IR 制御信号のチャンネルとして HDBaseT を選択してください。このオプションを選択すると、正面 IR 受信機と背面 IR 受信機がオフになります。

トリガー

本機には 1 個のトリガー出力が備わっています。プロジェクタに自動スクリーンデバイスが付いている場合は、それをトリガーに繋ぐと、プロジェクタに電源が入ったときにスクリーンが表示されます。この機能を使用すると、電源が入るまで 2、3 秒かかります。

パネル キー ロック

不正使用を防止するために、コントロール パネルをロックします。

セキュリティロック

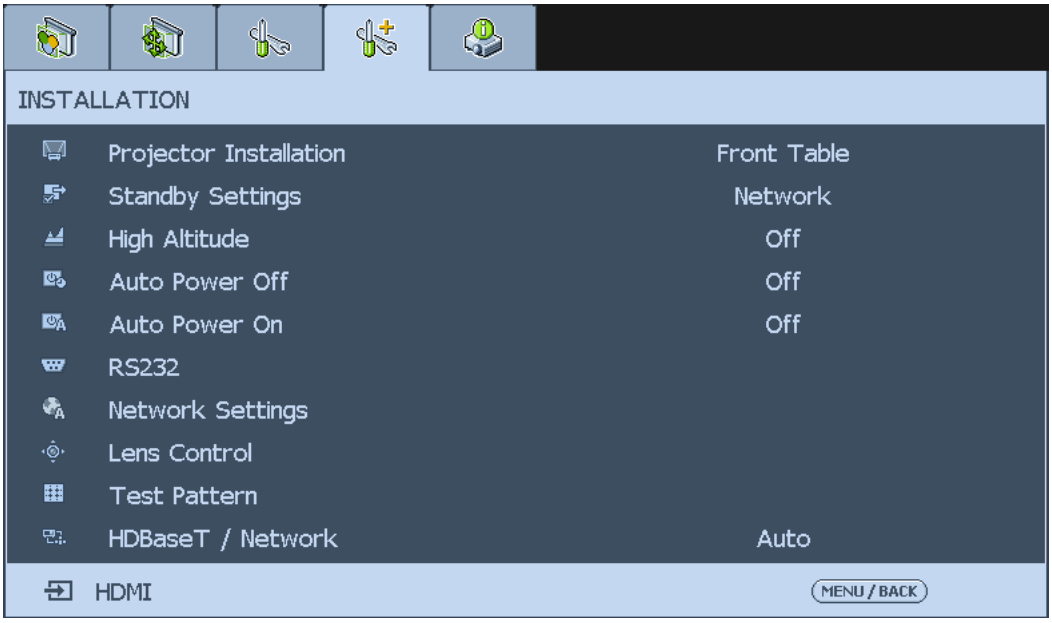
セキュリティロックを有効 / 無効にします。この機能は、不正使用を防止するのに便利です。OSD コントロールパネルをロックして、リモコン操作を禁止するには、**オン**に設定してください。操作するためにはパスワードを入力する必要があります。20 ページの「プロジェクタを不正使用から保護する」をご参照ください。

パスワードを設定したり、変更したりする時には、メモを取り安全な場所に保管してください。PIN コードを忘れると、プロジェクタを使用できなくなります。販売店かサービスセンターにお問い合わせください。

元のメッセージ

プロジェクタが入力ソースを検出している間、投写スクリーンへの「ソースを検索中。」メッセージを消します。**オン**を選択するとメッセージが表示されます。**オフ**を選択するとメッセージが消えます。

インストール



プロジェクタの設置

投映方式をどのように表示するかを選択できます。次のオプションから選択してください。

前面投写：標準の正面投映です (デフォルト設定)。

背面投写：標準の背面投写です。画像を反転させることで、スクリーンの背後から画像を投映できます。

天井前面投写：天井に正面から投映します。画像を逆にすることで、天井投映を可能にします。

天井背面投写：画像を反転させ、なおかつ逆転させることで、スクリーンの背後からの天井に取り付けることができます。

プロジェクタ内部の熱を適切に排出するために、冷却ファンの速度はプロジェクタの設置位置によって変わります。不適切に投映すると、プロジェクタが過熱したり、ランプの寿命が短くなったりします。プロジェクタを設置する際は、正しく設置するようにしてください。

待機設定

矢印キーを押すと、**標準**、**エコモード**、**ネットワーク**モードの順に切替わります。

標準：リモコン、RS-232 コマンド、ネットワーク制御でプロジェクタをオンにできます。

エコモード：プロジェクタは、最低電力 (<0.5W) でスタンバイ状態を維持します。このモードでは、プロジェクタはリモコンか本体の電源ボタンでしかオンになりません。

ネットワーク：プロジェクタは、6W 以下の低電力でスタンバイ状態を維持します。電源ボタンかネットワーク制御でしかプロジェクタはオンになりません。RS-232 コマンドと RJ45 ケーブルを使用した外部トランスミッターを介した有線リモコンは使用できません。

エコモードまたは**ネットワーク**モードに設定されていると、一部の通信ポートはオフになります。待機設定が適切に設定されているか確認してください。

高地モード

プロジェクタを高地に設置する場合、この機能を使ってオプションを**オン**にすると冷却設定が切り換わります。デフォルトでは**オフ**になっています。

ただし、気温が高すぎる場所や高地で使用すると、プロジェクタは自動的に電源が切れます。このような場合は、この機能を**オン**にすると、冷却ファンが内部温度を制御するために高速回転します。

1500 メートル（5000 フィート）以上の場所が高地とみなされます。

自動電源オフ

15 分以上入力信号が検出されなければ、自動的に待機モードに入ります。**オン**に設定すると**電源自動オフ**が有効になり、**切**に設定すると無効になります。

自動電源オン

電源コードをコンセントに繋ぐか、ブレーカーを上げると、自動的に電源が入ります。**入**に設定すると有効になります。

この機能は、次の条件でアクティベートできます

- メインの電源スイッチが 「入」 になっているとき。
- プロジェクタは電源コードを抜くか、ブレーカーを落とすかして、電源を切っておく必要があります。次回電源コードを繋ぐか、ブレーカーを上げたときに、**自動電源オン**が有効になります。

RS232

ボーレート：通信速度を **115200**、**57600**、**38400**、**19200**、**14400**、**9600** のいずれかに設定します。通信速度は RS-232 ケーブルの長さによって変わります (ケーブルが長くなるだけ速度も遅くなります)。RS-232 ケーブルを使用したとき信号が安定しなかったり、接続に不具合がある場合は、通信速度を遅くしてみてください。

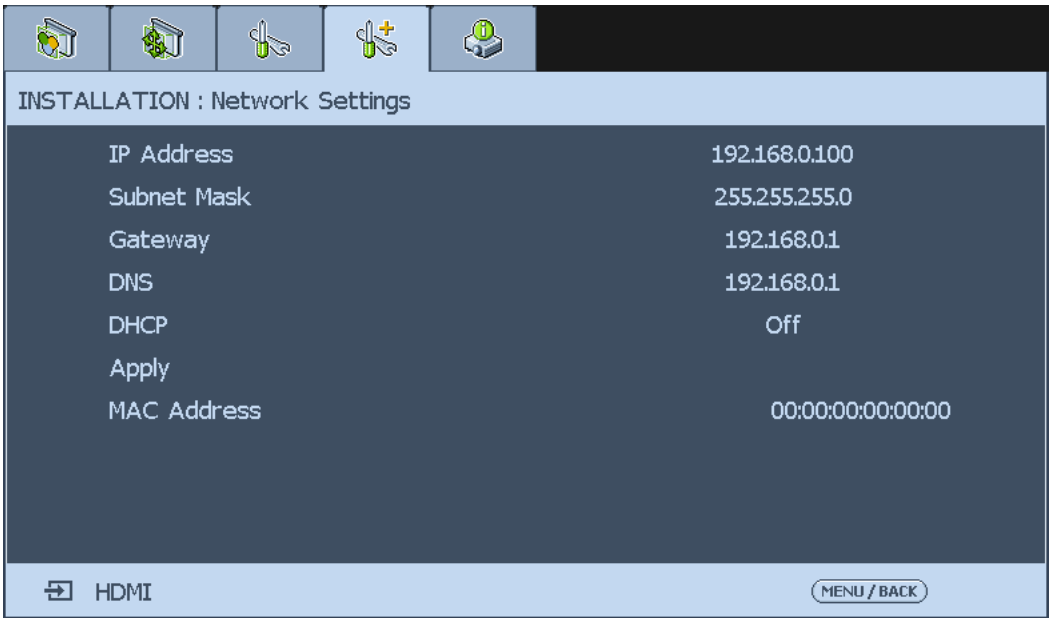
チャンネル：RS-232 ポート、または HDBaseT/LAN ポートに接続した外部 HDBaseT 通信ボックスを介してプロジェクタに RS-232 コントロールコマンドを送ります。コントロールコマンドを送信する前に、次の通信チャンネルを設定してください。

ローカル：プロジェクタの RS-232 ポートを介して RS-232 コントロールコマンドを送信します。まず通信速度を正しく設定しておいてください。

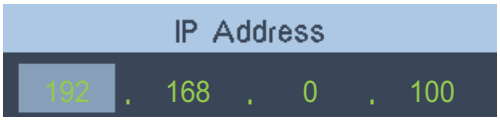
HDBaseT：外部 HDBaseT 通信ボックスを介して、プロジェクタの HDBaseT/LAN ポートに RS-232 コントロールコマンドを送信します。通信速度は自動的に **9600** に設定されます。

RS-232 制御は**待機設定**が**標準**モードに設定されている場合にしかご使用いただけません。**待機設定**が**ネットワーク**または**エコ**モードに設定されている場合はご使用いただけません。

ネットワーク設定



IP アドレス：IP アドレスを指定するには、**Enter** ボタンを押して IP アドレス入力画面を開きます。◄► を使って変更する IP アドレスに代わる番号を選択してください。IP アドレスの数字は、▲▼ ボタンで選択できます。



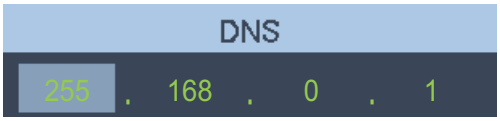
サブネットマスク：サブネットマスクの IP アドレスを設定します。



ゲートウェイ：ゲートウェイの IP アドレスを設定します。



DNS：Domain Name System (DNS) は、インターネットやプライベート ネットワークに接続したコンピュータに、階層的に名前をつけるためのシステムです。▲ ボタンと ▼ ボタンを使って、DNS を設定してください。



DHCP：DHCP を**オン / オフ**にします。これが**オン**に設定されている場合は、ネットワークドメインの DHCP サーバーがプロジェクタに IP アドレスを割り当てます。IP アドレスを手動で入力する代わりに、アドレス画面に表示されます。そうでない場合は、ドメインが IP アドレスを割り当てない、または割り当てられず、ＩＰ アドレス画面に「0.0.0.0」と表示されます。

適用：このボタンを押すと **適用**画面が表示されますので、**Enter** ボタンを選択して変更を確定します。ネットワーク設定に変更が反映されるまでには数秒かかります。反映されると、次のメッセージが消えます。



MAC Address：このプロジェクタの MAC アドレスを表示します。

レンズ制御

この機能を選択するか、またはリモコンの **LENS SHIFT** ボタンを押すと、レンズ制御メニューが開きますのでズーム、焦点、レンズのシフトなどを選択できます。**Enter** キーを押してズーム / 焦点を切り換えたり、レンズ シフトメニューに切り換えたりします。◄► 矢印キーを押すと、投射画像にフォーカスしたり、レンズを水平方向にシフトしたりします。▲▼ を押すと、投射画像にズームしたり、レンズを垂直方向にシフトしたりします。



内部テストパターン

このプロジェクタには設置や調整を行うために、内部テストパターン セットが用意されています。**テストパターン**を選択すると、パターン メニューが表示されます。◄► または ▲▼ を使ってテストパターンを選択し、**RETURN** ボタンを押すとテストパターンを終了します。また、**MENU** ボタンを押すとパターンメニューに戻ります。

HDBaseT / ネットワーク

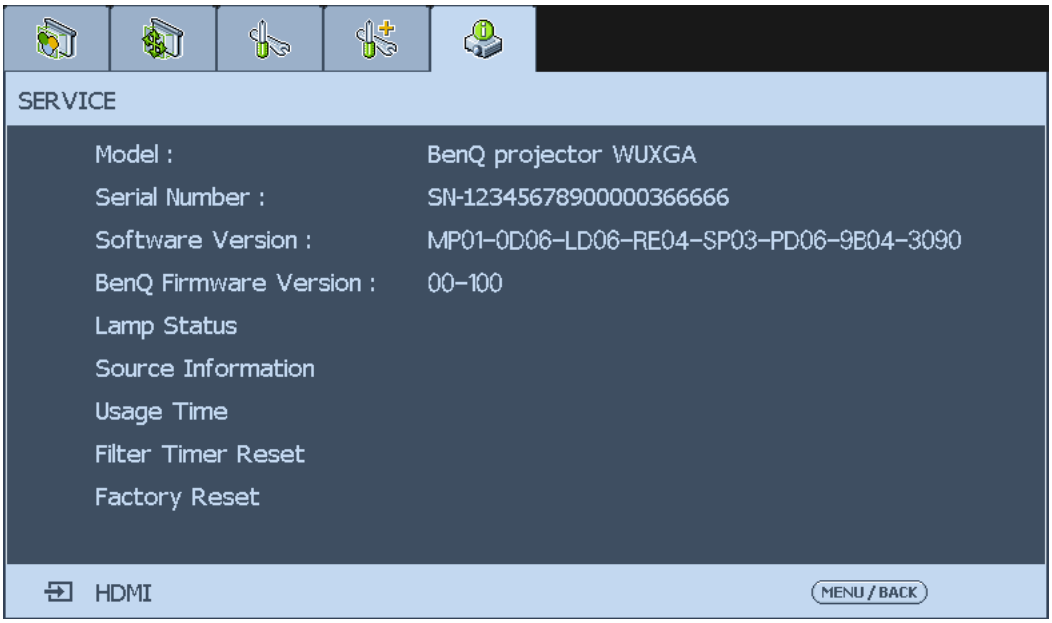
このプロジェクタには HDBaseT 受信機が搭載されていますので、外部の HDBaseT トランスミッターから接続した RJ-45 ケーブルを介してプロジェクタを制御することができます。

自動：プロジェクタは HDBaseT トランスミッターや LAN からの信号を検出し、自動的にそのチャンネルに切り換えます。

HDBaseT：LAN コントロールのチャンネルとして、HDBaseT を選択します。

- HDBaseT を選択すると、LAN 制御チャンネルが HDBaseT トランスミッターに切替わります。LAN 制御信号は HDBaseT トランスミッターを経由して通信されなければなりません。直接 LAN に接続することはできません。
- 接続が中断されると、HDBaseT 機能は省エネモードに入ります。このオプションを自動に設定すると、一部の HDBaseT トランスミッターはアクティブな機能に信号を送信しないかもしれません。LAN 制御を介した電源オン / オフ操作は実行できません。このような場合は、HDBaseT に切り換えてください。

サービス



モデル
このプロジェクタのモデル名を表示します。

シリアル番号
このプロジェクタのシリアル番号を表示します。

ソフトウェアバージョン
プロジェクタにインストールされているソフトウェアのバージョンを表示します。

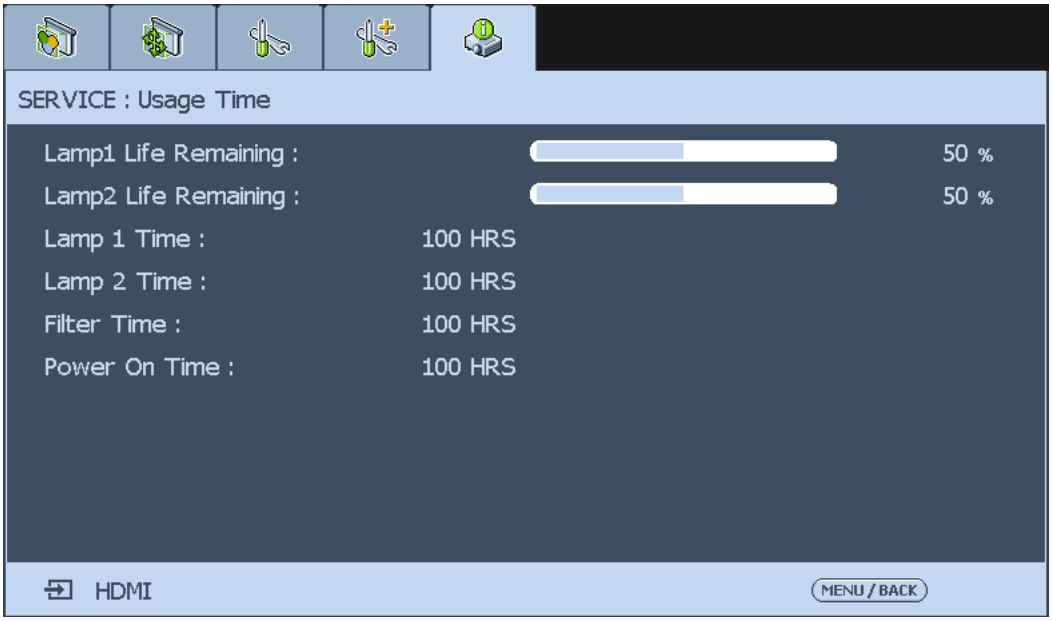
BenQ ファームウェアバージョン
プロジェクタにインストールされているファームウェアのバージョンを表示します。

ランプ ステータス
現在のランプ ステータスを表示すると、現在使用しているランプが表示されます。

Source 本体情報
アクティブなソース、ピクセルクロック、信号形式、水平 / 垂直の更新率、同期タイプ、同期極性、ビデオタイプなどの情報を表示します。

使用時間

ランプの使用時間を表示します。



ランプ 1 残りの時間：ランプ 1 の予想される残り時間を表示します。

ランプ 2 残りの時間：ランプ 2 の予想される残り時間を表示します。

ランプ 1 点灯時間：ランプ 1 の点灯時間を表示します。

ランプ 2 点灯時間：ランプ 2 の点灯時間を表示します。

フィルター使用時間：最後のリセットからカウントしたフィルタ使用回数。

プロジェクタ使用時間：プロジェクタの使用時間です。

- プロジェクタの使用時間とランプの残り寿命は、**ノーマル**モードと**エコ**モードで使用したランプの使用時間を基に予測されます。実際のランプの寿命は、インストールと操作環境によって異なります。
- 新しいランプに交換した後は、ランプの使用時間カウンターをリセットするために販売店にお問い合わせください。

フィルター使用時間初期化

フィルタタイマーをリセットします。ダストフィルタのお手入れ後、または交換後にタイマーをリセットしてください。**Enter** または ► を押すとメッセージ画面が表示されますので、**OK** を選んでフィルタタイマーをリセットしてください。



工場出荷状態

ユーザー指定の値を含め、メニュー設定を工場出荷時の状態に戻します。

工場出荷状態を実行しても、ランプの使用時間または予想される残りの時間はリセットされません。

追加情報

プロジェクタのお手入れ

プロジェクタのお手入れ

ご使用のプロジェクタはほとんどメンテナンスの必要がありません。レンズを清潔に保つために、定期的なレンズのお手入れだけが必要です。ランプ以外は、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。プロジェクタが正常に作動しなくなった場合は、販売店かお近くのカスタマーサービスセンターへお問い合わせください。

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのクリーニングを開始する前に、プロジェクタの電源をオフにして電源コードを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

圧縮空気スプレーを使ってほこりを取り除いてください。（ハードウェア販売店やカメラショップでご購入いただけます。）

汚れやしみが付いた場合は、適切なカメラレンズブラシを使用するか、レンズクリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭いてください。

研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクタの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

レンズは絶対に指で触れたり、研磨剤を使用したり、こすったりしないでください。ペーパータオルでもレンズのコーティングがはがれる場合があります。適切なカメラレンズブラシ、布、クリーニング液だけを使用するようにしてください。プロジェクタがオンのとき、またはまだ熱を持っているときにレンズのクリーニングを行わないでください。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクタをオフにして完全に冷却してください。

プロジェクタ ケースのお手入れ

ケースのクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして電源ケーブルを抜き、完全に冷却されるまでしばらくお待ちください。

ほこりや汚れを取り除くには、乾燥した柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。

落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。

ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合は、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、本マニュアルの 64 ページの「仕様」を参照されるか、販売店にお尋ねください。
- 調整脚をおさめます。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクタを元の梱包または同等の梱包に入れます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

ランプの交換

ランプが切れたら、交換してください。ランプは必ず認定されたパーツに交換してください。詳しくは、お近くの販売店にお尋ねください。

- ランプの設置方向はそれぞれ異なります。ランプを交換する際は、力を入れ過ぎないようにしてください。
- プロジェクタをデュアル ランプモードまたはシングル ランプモードで稼働するためには、両方のランプモジュール（ランプ 1 およびランプ 2）を設置します。1 個のランプモジュールだけを装着すると、プロジェクタのランプが点灯せず、ランプの故障として表示されます。

- ランプには一定量の水銀が含まれていますので、お住まい地域の条例に従って破棄してください。
- 新しいランプのガラス面には手を触れないでください。ランプの寿命が短くなる場合があります。

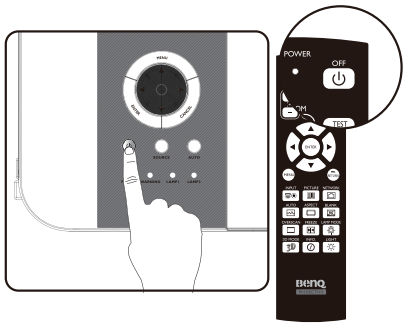
ランプの取り扱いについて

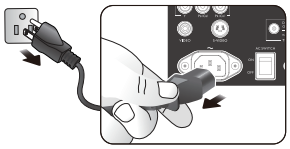
- このプロジェクタには、取り扱いに注意が必要な高圧ランプが使用されています。正しく取り扱わなければ、事故、ケガ、火災の原因となります。
- ランプ毎に、また使用環境によっても寿命は変わります。すべてのランプの寿命が同じであるという保証はありません。一部のランプは他のランプよりも寿命が短く、早く使えなくなってしまう場合があります。
- LAMP 1 または LAMP 2 が点灯してランプを交換するように警告が表示された場合は、冷却後直ちにランプを新しいものに交換してください。（このマニュアルの「ランプの交換」セクションに記載される説明に従ってください。）LAMP 1 または LAMP 2 が点灯した状態で続けてランプを使用すると、ランプが爆発する可能性があります。
- ランプに強い振動や衝撃を与えたり、長時間使用したことにより劣化が生じると、ランプが爆発する場合があります。爆発の危険性は、プロジェクタとランプの使用環境または条件によって変わります。
- ランプが爆発したときには、次の安全のための注意によく従ってください。
- すぐにプロジェクタをコンセントから外してください。本体のチェック、ランプ交換のために、認証されたサービス センターにお問い合わせください。また、プロジェクタの周辺に壊れたランプの破片が落ちていないか、通気口から破片が飛び散っていないかよく確認してください。ガラスの破片が飛び散っているのが見つかったら、しっかりと掃除をしてください。認証され、経験を積んだ技術者で、プロジェクタの補修に慣れている技術者以外は、プロジェクタの内部をチェックすることはできません。特にプロジェクタの補修に詳しくない人が本体を補修しようとすると、事故やケガの原因となります。
- ランプが切れたら、交換してください。ランプは必ず認証されたパーツをお選びください。お近くの販売店でご購入いただけます。

- ランプを交換する前、最低でも 30 分前には、プロジェクタの電源を切り、プラグを抜いてください。そうしなければ、火傷の原因となります。
- 天井に取り付けられたプロジェクタのランプを交換する際は、必ず安全用の保護メガネをかけてください。

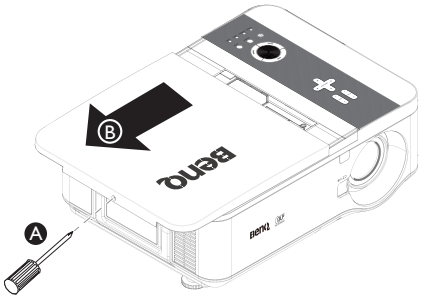
使用済みランプを取り外す

1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。

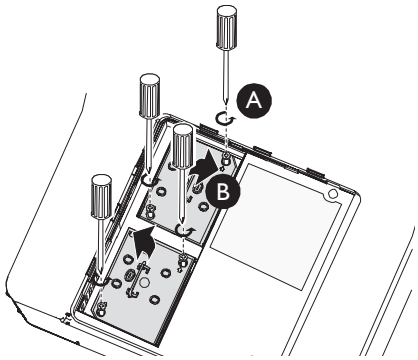




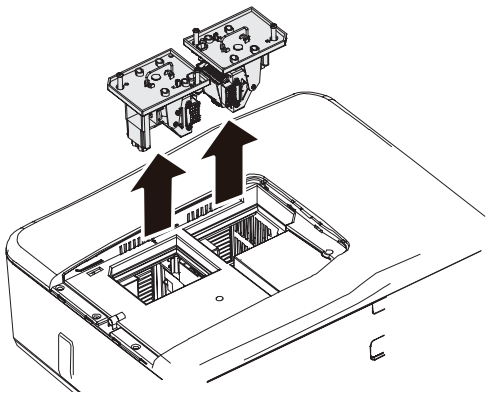
2. ランプカバー (A) のネジを外し、図のようにランプカバーをスライドさせます (B)。



3. ランプモジュール (A) のネジ 2 個を弛めます。図のように、モジュールハンドルを持ち上げます (B)。

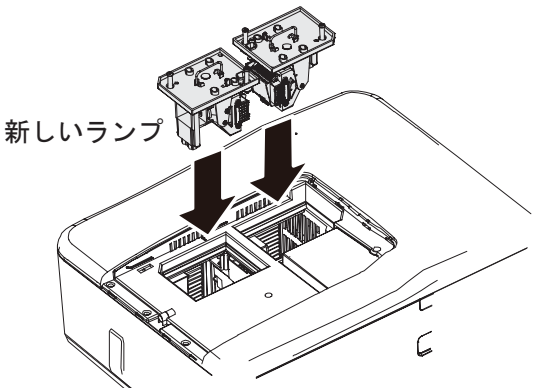


4. 表示されている方向にモジュールハンドルをしっかりと引っ張ると、ランプを取り外せます。



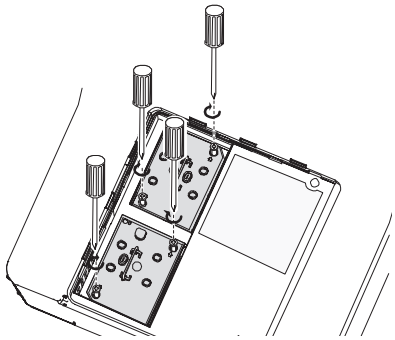
- 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。指にけがをしたり、内部コンポーネントにキズがついたりする場合がありますので、破損したランプガラスを除去するときには特に注意してください。
- 取り出したランプは水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り出した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学コンポーネントに触れると、画像ぼけの原因となります。

5. 1 から 3 までの手順を逆に行い、新しいランプ モジュールを取り付けてください。

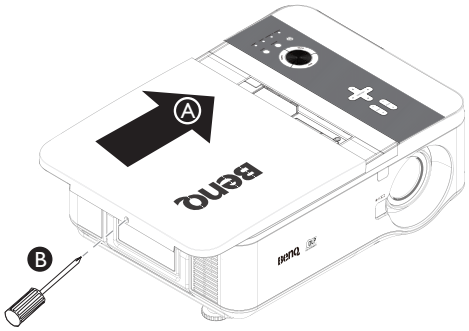


6. ランプボックスを固定するネジを締めます。ランプ コネクタを再度接続します。

7. ハンドルをしっかりとロックしてください。



8. ランプカバーを元に戻します。
ランプカバーを閉じて (A)、付属のネジを元に戻します (B)。



9. ランプカバーのネジを締めます。
10. 電源を再び入れて、プロジェクタのスイッチを入れます。

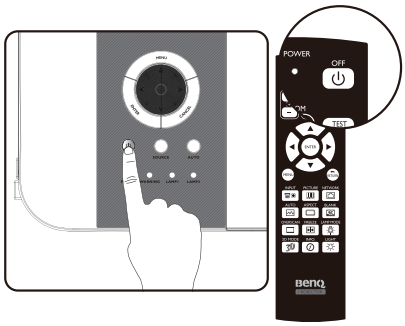
- ネジは締めすぎないでください。
- ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。

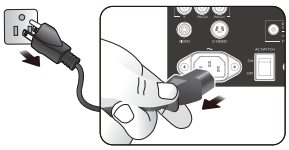
カラーホイール（別売り）のインストール

このプロジェクタには、4 セグメントのカラーホイールが装備されています。追加で 6 セグメントのカラーホイールを装着できます。カラーホイール（ランプ 1 の横のランプカバー下にあります）を交換するには、次の説明をお読みください。

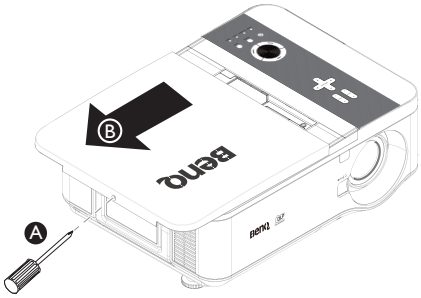
ランプ格納庫とカラーホイールが冷却されるまでお待ちください。

1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。接続されている機器をすべてオフにして、すべてのケーブルを外します。

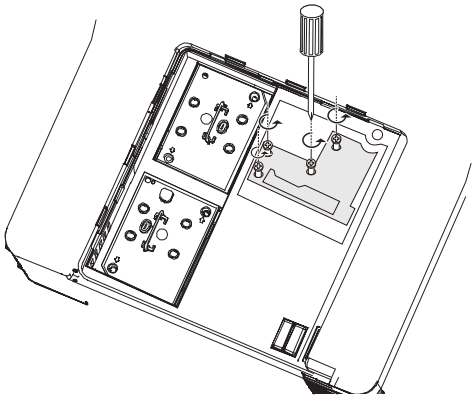




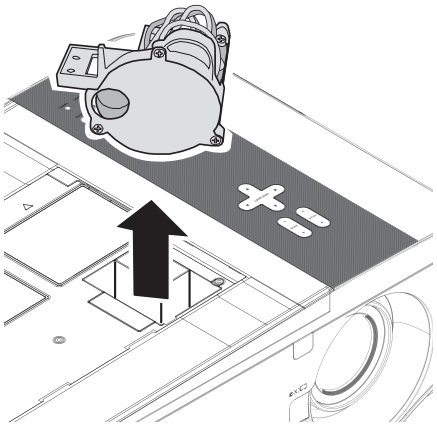
2. ランプカバー (A) のネジを外し、図のようにランプカバーをスライドさせます (B)。



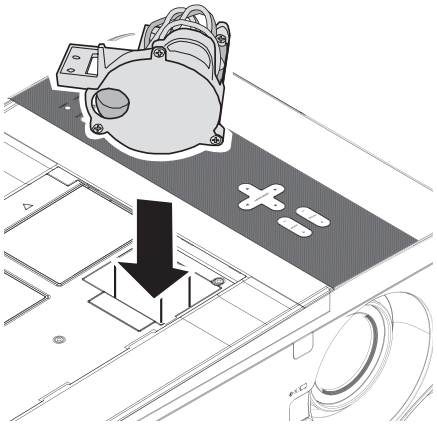
3. 4 セグメント カラーホイールのネジ (x 4) を弛めます。



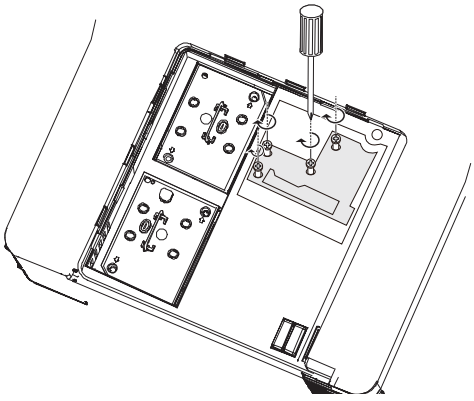
4. 表示方向にカラーホイールを持ち上げます。



5. 6 つのセグメントに分かれたカラーホイールを挿入します。



6. 図のように固定ネジを締めて、ランプカバーを閉じます。



使用しないカラーホイールの保管：使用しないカラーホイールは、6 セグメントのカラーホイール（別売り）が入っていたジッパー付きの袋に入れて保管してください。この袋に入れることで、カラーホイールをほこりから保護します。

フィルタのお手入れ

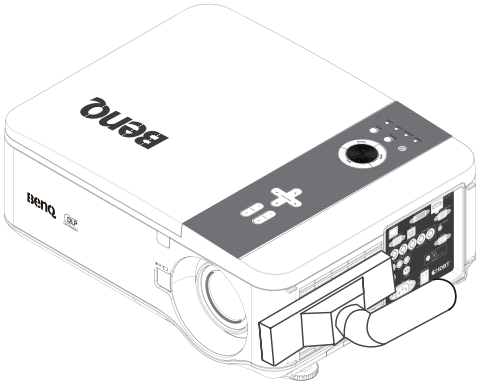
このプロジェクタには、ファンにホコリや粒子が付着しないように、3 つのフィルタが付いています。操作時間が 500 時間を超える毎にお手入れをしてください。ほこりが立ちやすい場所の場合は、さらに頻繁にお手入れを行ってください。フィルタが汚れていたり、目詰まりしたりすると、過熱の原因となります。次のようなメッセージが表示された時には、フィルタのお手入れを行ってください。

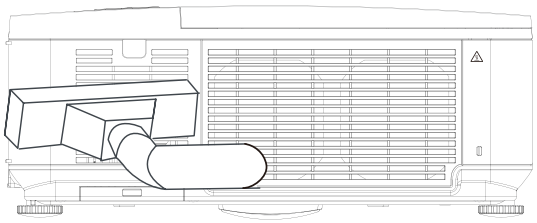
「フィルターを掃除して下さい」というメッセージが表示されたら、3 つのフィルタを同時にお手入れして、フィルタ時間の表示が統一されるようにしてください。**「オプション」**メニューで**「フィルター警告表示」**を有効にしておく必要があります。

フィルタのお手入れを行うには、次の説明をお読みください。

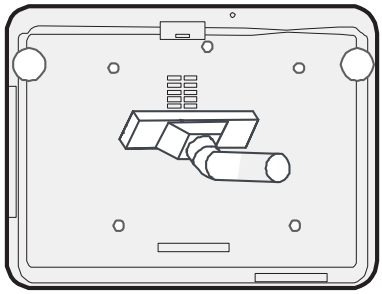
1. 左側と背面のフィルタは、次の図に示す方法でお手入れできます。

排気口の外側だけは、掃除機で掃除することができます。

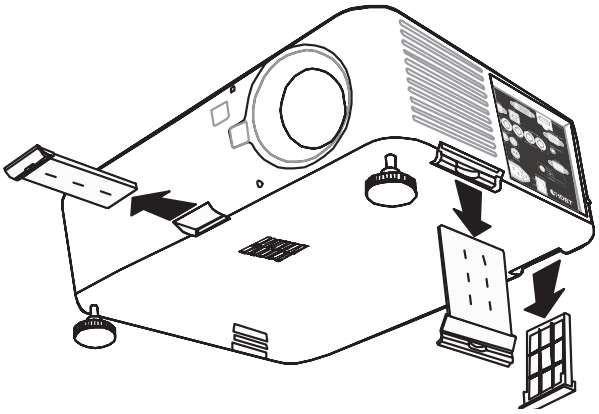




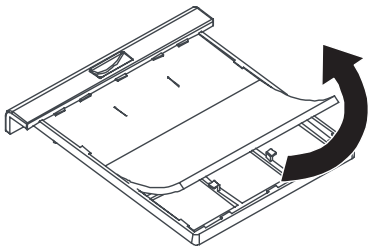
2. 底面の排気口は、図に示す方法でお手入れしてください。



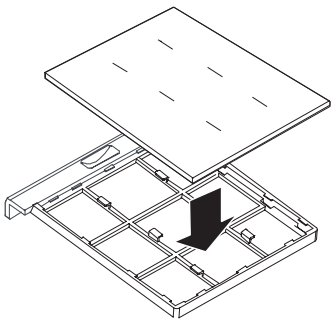
3. フィルタホルダーを表示方向にゆっくりとスライドさせます。



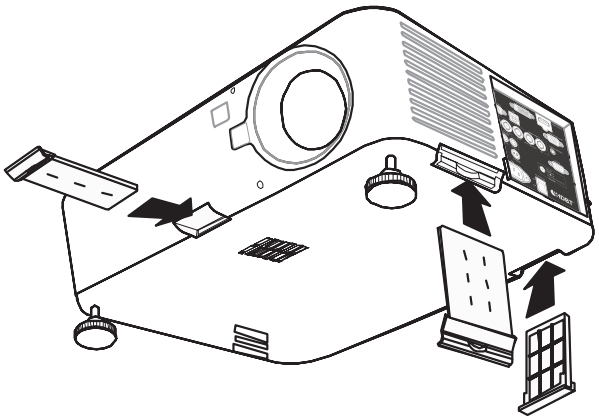
4. 表示される方向に向かって、3 つすべてのフィルタホルダーからフィルタを持ち上げます。フィルタホルダーから完全に取り出して、捨ててください。



5. フィルタを取り換えて、しっかりと取り付けてください。



6. 表示方向にゆっくりとフィルタホルダーを押さえます。



トラブルシューティング

インジケータのメッセージ

セットアップや内部パーツに問題が生じた場合、ユーザーに知らせるためにインジケータ メッセージが用意されています。プロジェクタの上面にある LED は、WARNING およびランプ 1/2 の状態を示すと共に、WARNING LED を通じて一般的な作業手順を知らせます。

4 つの LED の状態は、次の表にまとめてあります。

LED インジケータ	LED の状態	プロジェクタの状態
電源インジケータ	オフ	AC オフ
	赤く点灯	待機状態
	緑色に点灯	電源入
	オレンジ色に点滅	プロジェクタ冷却中
	緑色に点滅	スタートアップ
ランプのインジケータ	緑色に点灯	標準、Lamp Power が標準に設定されています
	オレンジ色に点灯	標準、Lamp Power がエコに設定されています
	緑色に点滅	Lamp Power が標準に設定され、ウォームアップ中
	オレンジ色に点滅	Lamp Power がエコに設定され、ウォームアップ中

LED インジケータ	LED の状態	可能性のある原因
警告表示	赤く点滅	ランプカバーが開いています。
	赤く 2 回点滅	内部温度が異常です。 • プロジェクタ周辺の温度が異常です。 ✓ プロジェクタを 104°F (40°C) 以下の場所に置いてください。
		• 通気口が塞がれています。 ✓ 正しく通気できる状態に設置してください。 • 内部回路が故障した可能性があります。
	オレンジ色に点滅	内部温度が異常です。 • 冷却ファンが故障しています。 • 通気口が塞がれています。 • 内部回路が故障した可能性があります。 お近くの販売店またはサービスセンターにお尋ねください。

LED インジケータ	LED の状態	可能性のある原因
ランプのインジケータ	赤く点滅	ランプが点灯しません • ランプが装着されていないか、交換する必要があります。 ✓ ランプを装着するか、ランプが正しく装着されているか確認してください。
	赤く 2 回点滅 (繰り返し)	ランプが点灯しません • ランプが正常にシャットダウンされませんでした。 • ランプが故障しました。 • ランプの回路が故障しました。 お近くの販売店またはサービスセンターにお尋ねください。

よくある問題とその対処法

プロジェクタをご使用になると、時々問題が生じる場合があります。次の説明を参考にして、解決してみてください。それでも問題を解決できない場合は、販売店にお問い合わせください。

通常は、単に接続が正しく行われていないことが原因です。作業に入る前に、まず次の項目を確認してください。

- コンセントが故障していないか、別の電気製品でお試しください。
- プロジェクタがオンになっていることを確認してください。
- すべての接続が正しく行われているか確認してください。
- 接続されている装置の電源が入っているか確認してください。
- 接続されている PC がサスペンド モードになっていないか確認してください。
- 接続されているノートブック コンピュータが外部ディスプレイに設定されているか確認してください。（通常は、ノートブックの Fn キーと別のキーを合わせて押すことで実行できます。）

トラブルシューティングのためのヒント

問題別セクションに記載される手順に従ってください。この手順に従うと、より速く問題を解決できます。

問題のあるパーツを特定してください。

例えば、電池を交換しても問題を解決できない場合は、元の電池に戻して次のステップに進みます。

行った手順を記録してください。この情報は、テクニカル サポートやサービス担当者に問い合わせるときに役に立ちます。

画像の問題

問題：スクリーンに画像が映し出されません

1. パソコンの設定を確認してください。
2. すべての装置の電源を一度切り、次に正しい順序で再度電源を入れてください。

問題：画像がぼやけます

1. プロジェクタの焦点を調整します。
2. リモコンまたはプロジェクタの **AUTO SYNC** ボタンを押します。
3. プロジェクタとスクリーンの距離が指定範囲以内になるようにします。
4. プロジェクタのレンズに汚れが付着していないか確認します。
5. レンズカバーを外してください。

問題：画像の上部または下部が広がります（トラペゾイド効果）

1. プロジェクタとスクリーンが直角になるように設置してください。
2. OSD の**台形補正**機能を使って修正してください。

問題：画像が逆転または反転します

OSD の**設定**メニューで**天吊りと背面**の設定を確認してください。

問題：画像にすじが走ります

1. OSD の**信号調整**メニューで**水平位相とクロック**を初期値に戻してください。
2. 接続されている PC のビデオカードによる問題ではないか確認するために、別のコンピュータに繋いでみてください。

問題：画像にコントラストがなく平坦になってしまいます

1. OSD の**映像調整**メニューで**コントラスト**を調整してください。
2. OSD の**映像調整**メニューで**輝度**を調整してください。

問題：投映画像の色が入力源の色と一致しません。

色温度と画像設定を調整してください。

ランプの問題

問題：プロジェクタから光線が投写されません

1. 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
2. 別の電子機器を使って電源が正常に使用できるか確認してください。
3. 正しい手順でプロジェクタを再起動し、電源 LED が緑になっているか確認してください。
4. ランプを交換したばかりの時には、ランプの接続をリセットしてみてください。
5. ランプモジュールを交換します。
6. レンズキャップを外します。
7. プロジェクタに古いランプを戻し、プロジェクタを修理に出してください。

問題：ランプが切れます

1. 電力サージによってランプが切れる場合があります。電源ボタンを 2 回押して、プロジェクタの電源を切ってください。電源 LED がオレンジ色になっているときには、電源ボタンを押してください。
2. ランプモジュールを交換します。
3. プロジェクタに古いランプを戻し、プロジェクタを修理に出してください。

リモコンの問題

問題：プロジェクタがリモコンに反応しません

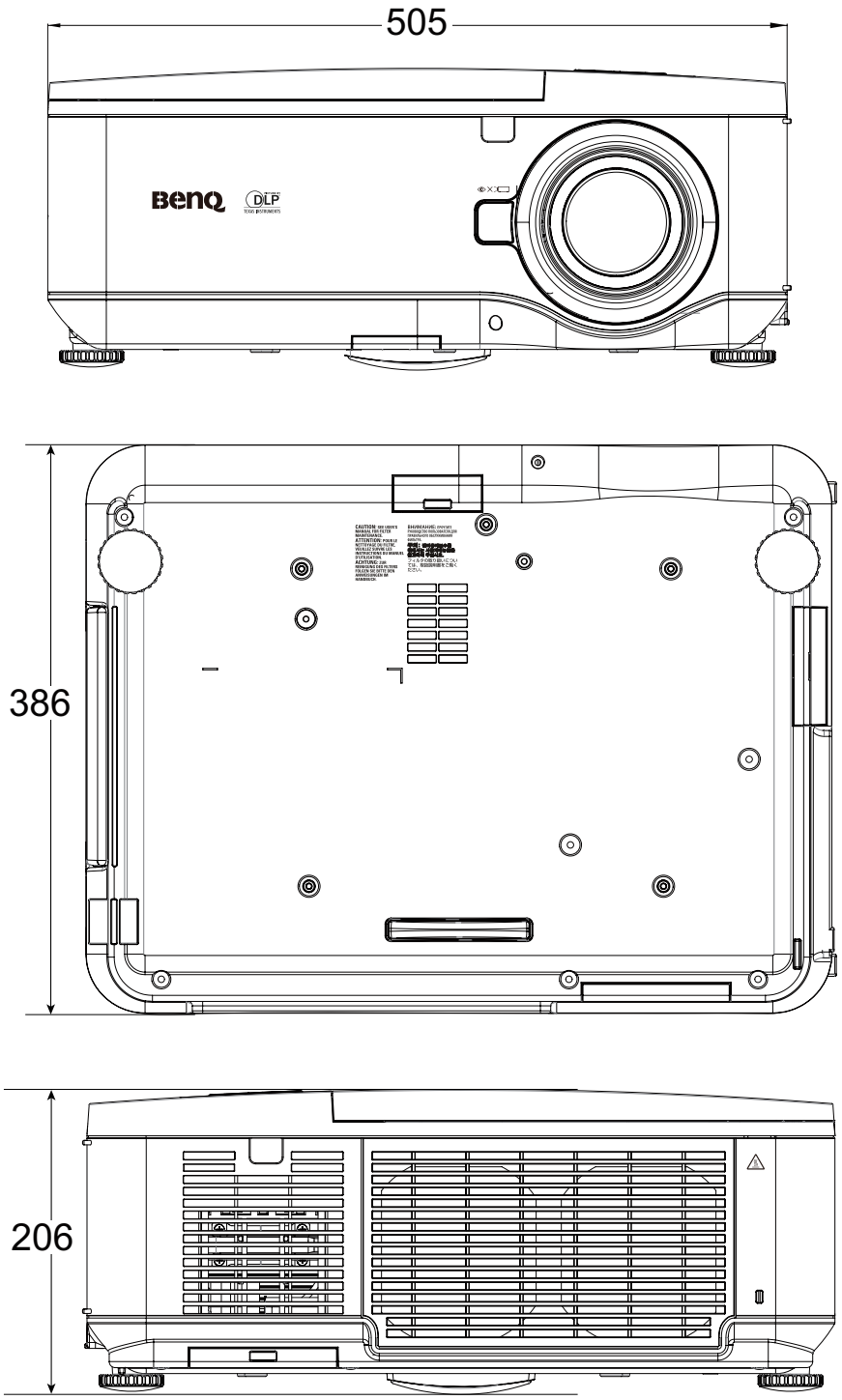
1. リモコンをプロジェクタのリモート受信機に向けてください。
2. リモコンとセンサーの間に物を置かないでください。
3. 部屋の蛍光灯を消してください。
4. 電池の極性を確認してください。
5. 電池を交換してください。
6. 近くにある赤外線が有効になったデバイスの電源を切ってください。
7. リモコンを修理に出してください。
8. リモコンのコードとプロジェクタのコードが対応しているか確認してください。

仕様

仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

モデル		PU9530	PX9510	PW9520
ディスプレイ デバイス		0.67"、1- DLP チップ	0.7"、1- DLP チップ	0.65"、1- DLP チップ
ディスプレイ デバイス		WUXGA (1920x1200)	XGA (1024x768)	WXGA (1280x800)
入力端子	DVI-D（HDCP 対応）	X1		
	HDMI（HDCP 対応）	X1		
	COMPUTER 2 (BNC)	X1		
	COMPUTER 1 (D-sub 15 pin)	X1		
	Component (RCA)	X1、Y/Pb(Cb)/Pr(Cr) x1		
	S-Video (ミニ Din 4 pin)	X1		
	Video (RCA)	X1		
	HDBaseT	X 1、LAN と同一端末を共有		
出力	Monitor Out (D-sub 15 pin)	X1		
	Trigger (φ3.5mm ステレオ ミニ ジャック)	X1 (DC 12V 出力)		
制御	Wired Remote (φ3.5mm ステレオ ミニジャック)	X1		
	LAN	X1、HDBaseT と同一端末を共有		
	RS-232C	X1		
サービス	補修用 USB (Type B)	X1		
電源要件		AC 100 - 240V、50/60Hz		
入力電流		7.30A		
電力消費量 (待機設定：標準 / エコ)		AC 100V 使用で 710W (<24W/<0.5W)		
		AC 240V 使用で 690W (<24W/<0.5W)		
操作温度		41°F から 104°F（5°C から 40°C）		
保管温度		14°F から 140°F（-10°C から 60°C）、湿度 5% から 90%（結露なきこと）		
外形寸法		19.9"（幅）x 15.1"（高さ）x 8.1"（奥行き） 505 mm（幅）x 386 mm（高さ）x 206 mm（奥行き） （突起部分を含まず）		
重量		37.5 lb/17 kg		

外形寸法



単位：mm

タイミング表

次の表は、互換性のある信号タイプ、解像度、周波リフレッシュ レートをまとめたものです。

水平：15kHz、31kHz から 90kHz、垂直：50Hz から 85Hz

PC タイミング

入力信号タイプ	解像度	フレームレート	Computer 2		Computer 1		DVI-D	HDMI		HDBaseT	Video / S-Video
			RGBHV	YUV	RGBHV	YUV		RGB	YUV		
PC	640x480	60	V		V		V	V		V	
	640x480	75	V		V		V	V		V	
	640x480	85	V		V		V	V		V	
	800x600	60	V		V		V	V		V	
	800x600	75	V		V		V	V		V	
	800x600	85	V		V		V	V		V	
	848x480	60	V		V		V	V		V	
	1024x768	60	V		V		V	V		V	
	1024x768	75	V		V		V	V		V	
	1024x768	85	V		V		V	V		V	
	1024x768	120	V		V		V	V		V	
	1024x768 RB	120	V		V		V	V		V	
	1280x720	60	V		V		V	V		V	
	1280x720	120	V		V		V	V		V	
	1280x768	60	V		V		V	V		V	
	1280x800	60	V		V		V	V		V	
	1280x800 RB	120	V		V		V	V		V	
	1280x960	60	V		V		V	V		V	
	1280x1024	60	V		V		V	V		V	
	1280x1024	75	V		V		V	V		V	
	1280x1024	85	V		V		V	V		V	
	1440x900	60	V		V		V	V		V	
	1400X1050	60	V		V		V	V		V	
	1600x1200	60	V		V		V	V		V	
	1680x1050	59.94	V		V		V	V		V	
	1920X1200 RB	60	V		V		V	V		V	
ビデオ	NTSC (M) (3.58, 4.43)	59.94									V
	PAL (B,G,H,I)	50									V
	PAL (N)	50									V
	PAL (M)	60									V
	SECAM (M) (4.25/4.4)	50									V
SDTV	1440x480i	60						V	V	V (HDMI)	
	1440x576i	50						V	V	V (HDMI)	
	480i	59.94		V		V					V
	576i	50		V		V					V
EDTV	480p	59.94	V	V	V	V	V	V	V	V	
	576p	50	V	V	V	V	V	V	V	V	
	1080i	50		V		V	V	V	V	V	
	1080i	60		V		V	V	V	V	V	
	720p	50	V	V	V	V	V	V	V	V	
	720p	60	V	V	V	V	V	V	V	V	
	1080p	24	V	V	V	V	V	V	V	V	
	1080p	25	V	V	V	V	V	V	V	V	
	1080p	29.97	V	V	V	V	V	V	V	V	
	1080p	30	V	V	V	V	V	V	V	V	
	1080p	50	V	V	V	V	V	V	V	V	
	1080p	60	V	V	V	V	V	V	V	V	

3D 対応タイミング

入力信号タイプ	解像度	フレームレート	フレームパッキング	サイドバイサイド	トップ / ボトム	フレームシーケンシャル
PC	640x480	60				V
	800x600	60				V
	848x480	60				V
	1024x768	60				V
	1024x768	120				V
	1024x768 RB	120				V
	1280x720	60				V
	1280x720	120				V
	1280x768	60				V
	1280x800	60				V
	1280x800 RB	120				V
	1280x960	60				V
	1280x1024	60				V
	1440x900	60				V
	1400X1050	60				V
	1600x1200	60				V
	1680x1050	59.94				V
	1920X1200 RB	60				V
	720p	50	V	V	V	V
	720p	60	V	V	V	V
	1080i	50		V		
	1080i	60		V		
	1080p	24	V	V	V	
	1080p	50		V	V	V
	1080p	60		V	V	V

- プロジェクタ本来の解像度よりも低い、または高い解像度の画像は圧縮されます。
- 信号線が減らされた信号の同期は、正しく表示されない場合があります。
- 上記の表に記載されていない信号は、正しく表示されない場合があります。その場合は、PC でリフレッシュレートか解像度を変更してみてください。

RS232 コマンド コントロール

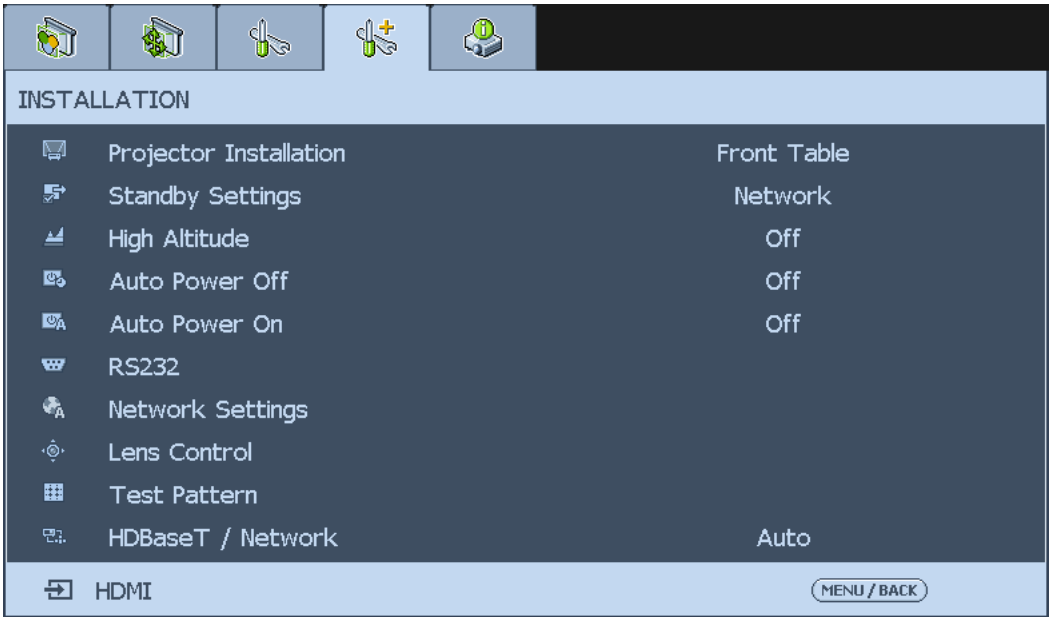
機能	タイプ	説明	ASCII
電源	書き込み	電源オン	<CR>*pow=on#<CR>
	書き込み	電源オフ	<CR>*pow=off#<CR>
	読み込み	電源の状態	<CR>*pow=?#<CR>
ソース選択	書き込み	COMPUTER/YPbPr	<CR>*sour=RGB#<CR>
	書き込み	COMPUTER 2/YPbPr2	<CR>*sour=RGB#<CR>
	書き込み	コンポーネント	<CR>*sour=RGB#<CR>
	書き込み	DVI-D	<CR>*sour=dvid#<CR>
	書き込み	HDMI	<CR>*sour=hdmi#<CR>
	書き込み	コンポジット	<CR>*sour=hdmi#<CR>
	書き込み	S ビデオ	<CR>*sour=dvid#<CR>
	書き込み	HDBaseT	<CR>*sour=hdmi#<CR>
	読み込み	現在のソース	<CR>*sour=?#<CR>
画像設定	書き込み	明るく	<CR>*appmod=cine#<CR>
	書き込み	プレゼンテーション	<CR>*appmod=preser#<CR>
	書き込み	シネマ	<CR>*appmod=cine#<CR>
	読み込み	画像モード	<CR>*appmod=?#<CR>
	書き込み	コントラスト +	<CR>*con=+#<CR>
	書き込み	コントラスト -	<CR>*con=-#<CR>
	読み込み	コントラスト値	<CR>*con=?#<CR>
	書き込み	輝度 +	<CR>*bri=+#<CR>
	書き込み	輝度 -	<CR>*bri=-#<CR>
	読み込み	輝度値	<CR>*bri=?#<CR>
	書き込み	色 +	<CR>*color=+#<CR>
	書き込み	色 -	<CR>*color=-#<CR>
	読み込み	色の値	<CR>*color=?#<CR>
	書き込み	シャープネス +	<CR>*sharp=+#<CR>
	書き込み	シャープネス -	<CR>*sharp=-#<CR>
	読み込み	シャープネス値	<CR>*sharp=?#<CR>
	書き込み	色温度 - 暖色	<CR>*ct=warm#<CR>
	書き込み	色温度 - 標準	<CR>*ct=normal#<CR>
	書き込み	色温度 - 寒色	<CR>*ct=cool#<CR>
	書き込み	色温度 - ランプ ネイティブ	<CR>*ct=native#<CR>
	読み込み	色温度の状態	<CR>*ct=?#<CR>
	書き込み	縦横比 4:3	<CR>*asp=4:3#<CR>
	書き込み	縦横比 16:9	<CR>*asp=16:9#<CR>
	書き込み	縦横比 16:10	<CR>*asp=16:10#<CR>
	書き込み	自動縦横比	<CR>*asp=AUTO#<CR>
画像設定	書き込み	縦横比リアル	<CR>*asp=REAL#<CR>
	書き込み	縦横比 5:4	<CR>*asp=5:4#<CR>
	書き込み	縦横比 1.88	<CR>*asp=1.88:1#<CR>
	書き込み	縦横比 2.35	<CR>*asp=2.35:1#<CR>
	読み込み	縦横比の状態	<CR>*asp=?#<CR>
	書き込み	デジタルズームイン	<CR>*zoomI#<CR>
	書き込み	デジタルズームアウト	<CR>*zoomO#<CR>
	書き込み	自動	<CR>*auto#<CR>

機能	タイプ	説明	ASCII
操作設定	書き込み	プロジェクタの位置 - 前面投写	<CR>*pp=FT#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - 背面投写	<CR>*pp=RE#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - 天井背面投写	<CR>*pp=RC#<CR>
	書き込み	プロジェクタの位置 - 天井前面投写	<CR>*pp=FC#<CR>
	読み込み	プロジェクタの位置の状態	<CR>*pp=?#<CR>
	書き込み	クイック自動ソースオン	<CR>*QAS=on#<CR>
	書き込み	クイック自動ソースオフ	<CR>*QAS=off#<CR>
	読み込み	クイック自動ソースの状態	<CR>*QAS=?#<CR>
	書き込み	ダイレクト電源オン - オン	<CR>*directpower=on#<CR>
	書き込み	ダイレクト電源オン - オフ	<CR>*directpower=off#<CR>
	読み込み	ダイレクト電源オンの状態	<CR>*directpower=?#<CR>
	書き込み	スタンバイ設定 - 標準	<CR>*standbynet=standard#<CR>
	書き込み	スタンバイ設定 - エコモード	<CR>*standbynet=eco#<CR>
	書き込み	スタンバイ設定 - ネットワーク	<CR>*standbynet=network#<CR>
	読み込み	スタンバイ設定 - ネットワーク状態	<CR>*standbynet=?#<CR>
	書き込み	9600	<CR>*baud=9600#<CR>
	書き込み	14400	<CR>*baud=14400#<CR>
	書き込み	19200	<CR>*baud=19200#<CR>
	書き込み	38400	<CR>*baud=38400#<CR>
	書き込み	57600	<CR>*baud=57600#<CR>
	書き込み	115200	<CR>*baud=115200#<CR>
	読み込み	現在のボーレート	<CR>*baud=?#<CR>
ランプ制御	読み込み	ランプ点灯時間	<CR>*ltim=?#<CR>
	読み込み	ランプ 2 点灯時間	<CR>*ltim2=?#<CR>
	書き込み	ランプ点灯時間リセット	<CR>*ltim=reset#<CR>
	書き込み	ランプ 2 点灯時間リセット	<CR>*ltim2=reset#<CR>
	書き込み	ノーマルモード	<CR>*lampm=lnor#<CR>
	書き込み	エコモード	<CR>*lampm=eco#<CR>
	書き込み	デュアルランプ	<CR>*lammd=dual#<CR>
ランプ制御	書き込み	ランプ 1	<CR>*lammd=num1l#<CR>
	書き込み	ランプ 2	<CR>*lammd=num2#<CR>
	書き込み	シングルランプ（最低）	<CR>*lammd=single#<CR>
	読み込み	現在のランプの状態	<CR>*lammd=?#<CR>
	読み込み	ランプモードの状態	<CR>*lampm=?#<CR>

機能	タイプ	説明	ASCII
その他	読み込み	モデル名	<CR>*modelname=?#<CR>
	書き込み	消画入	<CR>*blank=on#<CR>
	書き込み	消画切	<CR>*blank=off#<CR>
	読み込み	消画の状態	<CR>*blank=?#<CR>
	書き込み	一時停止入	<CR>*freeze=on#<CR>
	書き込み	一時停止切	<CR>*freeze=off#<CR>
	読み込み	一時停止の状態	<CR>*freeze=?#<CR>
	書き込み	メニュー入	<CR>*menu=on#<CR>
	書き込み	メニュー切	<CR>*menu=off#<CR>
	読み込み	メニューの状態	<CR>*menu=?#<CR>
	書き込み	上	<CR>*up#<CR>
	書き込み	下	<CR>*down#<CR>
	書き込み	右	<CR>*right#<CR>
	書き込み	左	<CR>*left#<CR>
	書き込み	入力	<CR>*enter#<CR>
	書き込み	3D 同期オフ	<CR>*3d=off#<CR>
	書き込み	3D 自動	<CR>*3d=auto#<CR>
	書き込み	3D 同期トップ / ボトム	<CR>*3d=tb#<CR>
	書き込み	3D 同期フレームシーケンシャル	<CR>*3d=fs#<CR>
	書き込み	3D サイドバイサイド	<CR>*3d=sbs#<CR>
	書き込み	3D インバータ無効	<CR>*3d=da#<CR>
	書き込み	3D インバータ	<CR>*3d=iv#<CR>
	読み込み	3D 同期の状態	<CR>*3d=?#<CR>
	書き込み	トリガー オン	<CR>*trigger=on#<CR>
	書き込み	トリガー オフ	<CR>*trigger=off#<CR>
	読み込み	トリガーの状態	<CR>*trigger=?#<CR>
	書き込み	高地モード入	<CR>*Highaltitude=on#<CR>
	書き込み	高地モード切	<CR>*Highaltitude=on#<CR>
	読み込み	高地モードの状態	<CR>*Highaltitude=?#<CR>
	読み込み	エラーコード	<CR>*error=report#<CR>
	書き込み	レンズシフト 上	<CR>*lst=up#<CR>
	書き込み	レンズシフト 下	<CR>*lst=down#<CR>
	書き込み	レンズシフト 左	<CR>*lst=left#<CR>
	書き込み	レンズシフト 右	<CR>*lst=right#<CR>
その他	書き込み	フォーカス +	<CR>*focus=+#<CR>
	書き込み	フォーカス -	<CR>*focus=-#<CR>
	書き込み	ズーム +	<CR>*zoom=+#<CR>
	書き込み	ズーム -	<CR>*zoom=-#<CR>
	書き込み	台形補正 - 縦縮小	<CR>*keyst=-#<CR>
	書き込み	台形補正 - 縦拡大	<CR>*keyst=+#<CR>
	読み込み	台形補正 - 縦の状態	<CR>*keyst=?#<CR>

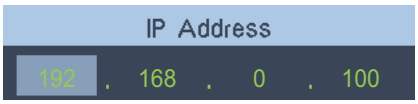
ネットワークを介してプロジェクタを操作する

ネットワーク用にプロジェクタを設定する



DHCP オプションをオフに設定し、適用を選択するとこれがアクティベートされます。DHCP サービスが IP アドレスと設定を割り当てます。**IP アドレス**、**サブネットマスク**、**ゲートウェイ**等のオプションは、非表示になり選択できなくなります。LAN が DHCP サービスに対応していない場合は、▲▼ と **Enter** キーを使ってネットワークとその設定を選択してください。

IP アドレス：IP アドレスを指定するには、**Enter** ボタンを押して IP アドレス入力画面を開きます。◄► を使って変更する IP アドレスに代わる番号を選択してください。IP アドレスの数字は、▲▼ ボタンで選択できます。



サブネットマスク：IP アドレスの設定と同じ方法でサブネットのアドレスも設定できます。

ゲートウェイ：IP アドレスの設定と同じ方法でゲートウェイのアドレスも設定できます。

DHCP：DHCP をオン / オフにします。オンに設定すると、ネットワーク ドメインの DHCP サーバーがプロジェクタに IP アドレスを割り当てます。つまり、IP アドレスがアドレス画面に表示されるため、手動で入力する必要がありません。そうでない場合は、ドメインが IP アドレスを割り当てない、または割り当てられず、IP アドレス画面に「0.0.0.0. 0. 0」と表示されます。

適用：このボタンを選択して、**Enter** を押します。ネットワーク設定の変更内容が反映され、次のメッセージが消えるまでには数秒かかります。



ネットワークに接続されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ウェブブラウザでプロジェクタを操作する

ウェブブラウザを開き、プロジェクタの IP アドレスを入力します。4 つのオプションが表示されたホームページが開きます。

Projector Status（プロジェクタの状態）：プロジェクタの現在の設定。

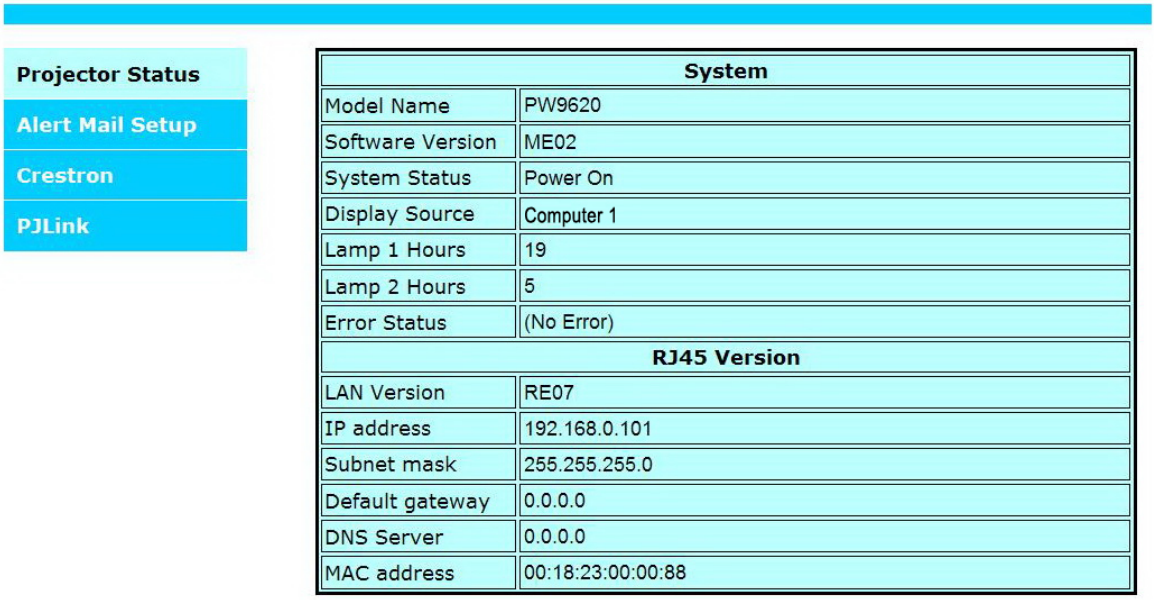
Alert Mail Setup（通信メールの設定）：プロジェクタに不具合が発生した場合、通知メールを受け取るための設定を行います。プロジェクタに不具合が生じたときには、あらかじめ設定されたユーザーに電子メールで知らせます。

Crestron：Crestron 対応ネットワークブラウザのコントロールページです。

PJLink：ここでは、PJLink 接続のセキュリティ パスワードを設定できます。

プロジェクタの状態

次の図は、IP アドレスが「192.168.0.100」に指定されたプロジェクタの例です。



System	
Model Name	PW9620
Software Version	ME02
System Status	Power On
Display Source	Computer 1
Lamp 1 Hours	19
Lamp 2 Hours	5
Error Status	(No Error)
RJ45 Version	
LAN Version	RE07
IP address	192.168.0.101
Subnet mask	255.255.255.0
Default gateway	0.0.0.0
DNS Server	0.0.0.0
MAC address	00:18:23:00:00:88

System（システム）

Model Name（モデル名）：プロジェクタのモデル番号

Software Version（ソフトウェアバージョン）：プロジェクタのシステムソフトウェアのバージョン

System Status（システムの状態）：現在のプロジェクタの電源状態

Display Source（ディスプレイソース）：現在の入力信号

Lamp 1 Hours（ランプ 1 点灯時間）：ランプ 1 の点灯時間

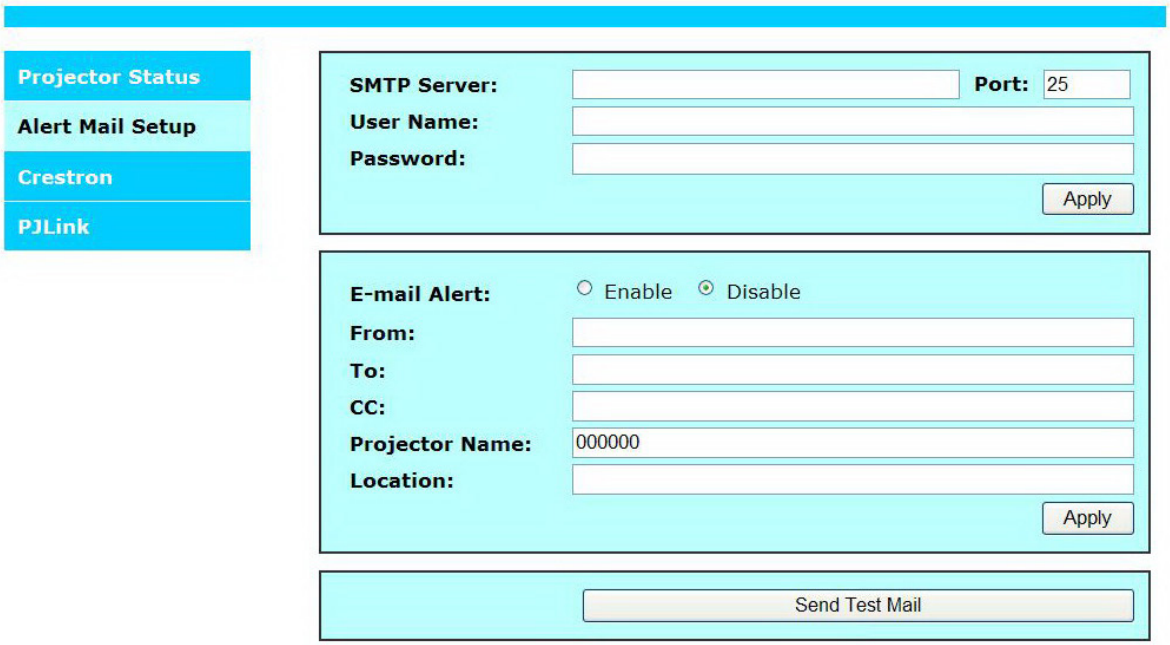
Lamp 2 Hours（ランプ 2 点灯時間）：ランプ 2 の点灯時間

Error Status（エラー状態）：プロジェクタのエラーメッセージを表示

ネットワークコントロールの設定情報（RJ-45 バージョン）

Lan Version（LAN バージョン）：ネットワークコントロールソフトウェアのバージョン
IP address（IP アドレス）：現在の IP アドレス
Subnet mask（サブネットマスク）：現在のサブネット設定
Default gateway（デフォルトのゲートウェイ）：現在のゲートウェイ設定
DNS server（DNS サーバー）：現在の DNS サーバーの設定
MAC address（MAC アドレス）：プリセットの MAC アドレス

Alert mail setup（通知メールの設定）



あらかじめ定義しておいたユーザーに、通知メッセージを Eメールで送信します。この機能を有効にする前に、次の設定を行ってください。

SMTP Server（SMTP サーバー）：プロジェクタがリマインダーを送信できるように、SMTP サーバーの名前を入力します。
Port（ポート）：通信ポートを設定します
User Name（ユーザー名）：プロジェクタが SMTP サーバーを介してリマインダーを送信できるように、ユーザー名を入力します。
Password（パスワード）：ユーザーパスワードを設定します。
E-mail Alert（電子メール通知）：電子メール通知機能を有効または無効にします。
From（送信者）：送信者の電子メール アドレスを設定します。
To（受信者）：受信者の電子メール アドレスを設定します。
CC：CC 受信者の電子メール アドレスを設定します。
Projector Name（プロジェクタ名）：プロジェクタ名または ID を設定します。

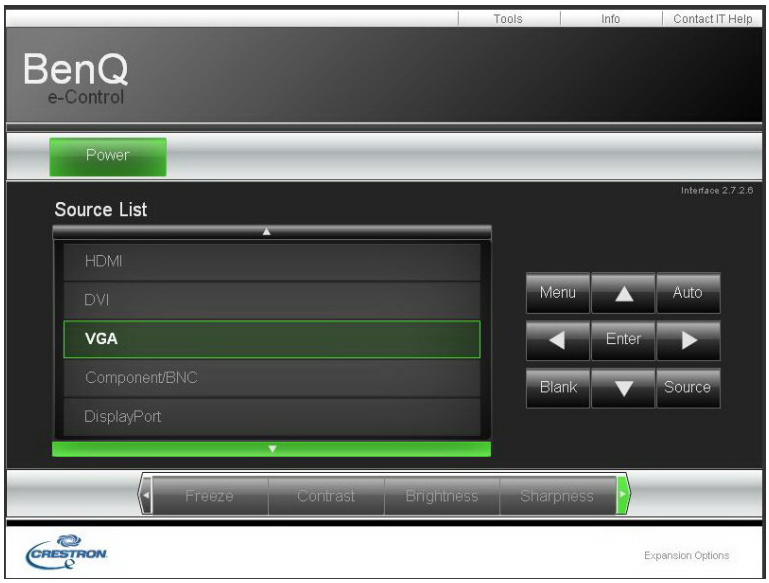
Location（設置場所）：プロジェクタの設置場所を設定します。

Apply（適用）：設定を受け入れます。このボタンを押すと、変更内容が保存されます。

Send Test Mail（テストメールの送信）：正しく設定できているかを確認するために、テストメールを送信します。通知メールは、プロジェクタにエラーが発生した場合にのみ送信されます。このボタンを押すと、設定完了後に電子メール設定を確認できます。

Crestron コントロールページ

プロジェクタのホームページで Crestron オプションをクリックすると、新しいタブにコントロール ページが表示されます。



Power（電源）：プロジェクタのオン / オフを切り替えます。

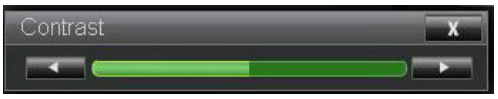
Source List（ソースリスト）：有効な入力信号ソースのリストから切り替えます。矢印キー ▲（画面上部）または ▼（画面下部）を押すと、リストをスクロールできます。

画像調整オプション

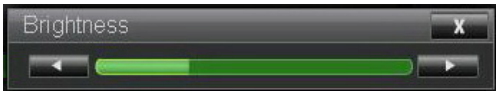
矢印キー ◄（画面左部）または ►（画面右部）を押すと、他の調整オプションをスクロールできます。

Freeze（静止）：現在の投写画面を一時停止します。一時停止機能を有効にすると、投写画面に「**Freeze**」（静止）と言うメッセージが表示されます。再度、**Freeze（静止）**ボタンを押すと一時停止が解除されます。

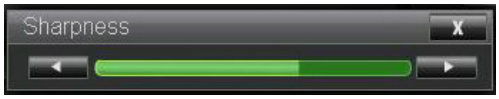
Cntrast（コントラスト）：調整画面が開きます。矢印キー ◄► をクリックして、コントラストを調整してください。



Brightness（輝度）：調整画面が開きます。矢印キー ◄► をマウスでクリックして、輝度を調整してください。



Sharpness（シャープネス）：調整画面が開きます。矢印キー ◄► をマウスでクリックして、シャープネスを調整してください。



Zoom（ズーム）：投写画像にズームインします。「+」キーをクリックするとズームインし、「-」キーを押すとズームアウトします。4 つの矢印キーを使って、ズームした画像を動かします。



コントロールキー画面

リモコンやコントロールパネルのキーをシミュレートします。



Enter（入力）：変更内容を確定し、OSD オプションを選択します。

Menu（メニュー）：OSD メニューが表示されます。再度押すと、メニューを終了します。

Auto（自動）：画像自動調整機能を実行します。

Blank（ブランク）：画像の投写を一時停止します。投写画像はマスクされます。再度押すと、投写に戻ります。

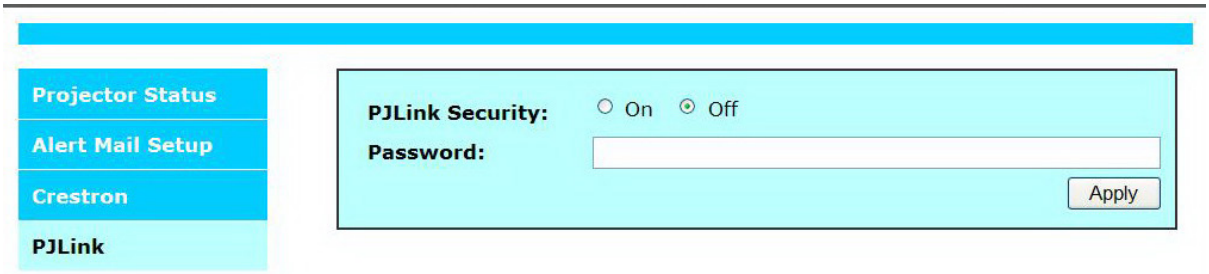
Source（ソース）：信号ソースをリストします。

Tool（ツール）：Crestron 互換機で作動するように、オプションを設定します。詳細は、関連文書をご参照ください。

Info（情報）：プロジェクタの現在の状況と、Crestron の設定を表示します。

PJLink コマンドでプロジェクタを操作する

PJLink は、Japan Business Machine and Information System Industries Association (JBMIA) により制定された規格で、本当のコマンドでプロジェクタを操作するためのものです。PJLink 機能を内蔵したプロジェクタは、誰が制定したかに関係なく標準のコマンドで操作できます。本機は PJLink コントロールコマンドに対応しています。このページで、PJLink 接続のパスワードを設定してください。



PJLink Security（PJLink セキュリティ）：On（オン）を選択すると、PJLink セキュリティパスワードが有効になります。**Off（オフ）**を選択すると、無効になります。

Password（パスワード）：32 文字以内でセキュリティパスワードを設定できます。標準コマンドと接続方式については、PJLink 公式ホームページをご覧ください。

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society.Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products.BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase.Check out BenQ's CSR Website at http://csr.BenQ.com/ for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



著作権

Copyright 2015 BenQ Corporation. 無断複製を禁ず。本書のいかなる部分も、 BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

本書に記載されているその他すべてのロゴ、製品、会社名は、各社の登録商標または商標であり、ここでは参照のみを目的として使用されています。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

この取扱説明書の製作は、最新かつ最も正確な情報を提供するよう努めておりますが、内容は予告なく変更される場合があります。このマニュアルの最新版は、http://www.benq.com からご覧いただけます。

ハイパーリンクおよびサードパーティのウェブサイトに関する宣言

BenQ は、たとえこの製品からリンクされていたとしても、サード—パーティが維持管理するウェブサイトや同様のリソースの内容には一切責任を負いません。これらのウェブサイトや同様のリソースへのリンクが提供されていたとしても、明示または暗示の有無に関わらず、それらの内容について BenQ は一切の保証も責任も負いません。

本製品にプリインストールされているサードパーティのコンテンツやサービスは、「現状のまま」提供されます。BenQ は、明示または暗示の有無に関わらず、サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて一切責任を負いません。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやサービスが正確であること、効果的であること、最新の状態であること、合法または完全であることについて、いかなる責任も負いません。いかなる場合においても、BenQ はサードパーティの当事者の過失を含め、彼らが提供するコンテンツやサービスについて一切責任を負いません。サードパーティが提供するサービスは、一時的または完全に終了する場合があります。BenQ はサードパーティが提供するコンテンツやサービスが常に正常な状態であること、または当該コンテンツやサービスの終了について一切責任を負いません。また、BenQ は、サードパーティが維持管理するコンテンツや同様のリソースでお客様との間で行われた取引については一切関与しません。

ご質問、ご意見は、コンテンツまたはサービス提供会社にお問い合わせください。